

官報

號外

明治三十八年二月十七日

金曜日

印刷局

○第二十二回衆議院議事速記録第十七號

帝國議會

明治三十八年二月十六日(木曜日)午後一時十二分開議

議事日程 第十六號 明治三十八年二月十六日

午後一時開議

第一 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第五 外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第七 國稅徵收法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第九 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案(政府提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十一 明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會

第十三 裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第十四 耕地整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第十五 明治三十年法律第十三號中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十六 船舶法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十七 船舶職員法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十八 佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格審査(委員長報告) 第一讀會

第十九 衆議院議員選舉法中改正法律案(渡邊修外提出) 第一讀會

第二十 衆議院議員選舉法中改正法律案(渡邊修外提出) 第一讀會

第二十一 土地收用法中改正法律案(竹越與三郎外二名提出) 第一讀會

第二十二 農會法改正法律案(藤金作外二名提出) 第一讀會

第二十三 市街宅地地價修正ニ關スル建議案(根本正外十名提出) 第一讀會

第二十四 在韓邦人利權ノ發達ニ關スル建議案(望月小太郎提出) 第一讀會

第二十五 清韓醫事衛生ニ關スル建議案(山根正次外二名提出) 第一讀會

第二十六 國本培養ニ關スル建議案(恒松隆慶外四名提出) 第一讀會

○議長(松田正久君) 開會致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀) 貴族院ヨリ左ノ政府提出案ヲ送付セラレタリ

貴族院ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
日本興業銀行法中改正法律案
議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ
會計法中改正法律案
提出者 小川 平吉君 花井 卓藏君
貴族院ニ於テ本院送付ニ係ル政府提出古物商取締法中改正法律案、質屋取締法中改正法律案、輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案、砂糖消費稅法中改正法律案ヲ可決シ本院提出市制町村制中改正法律案ニ對シ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ
委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
國籍法中改正法律案 委員長 大淵 龍太郎君 理事 花井 卓藏君
登錄稅法中改正法律案 委員長 河原林 義雄君 理事 岩元 信兵衛君
家祿賞典祿處分法中改正法律案 委員長 野尻 邦基君 理事 中村 雄藏君
府縣制中改正法律案外一件 委員長 尾形 兵太郎君 理事 國谷 亨君
衆議院議員選舉法中改正法律案 委員長 根本 正君 理事 阿部 德三郎君
渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案 委員長 石塚 重平君 理事 木暮 武太夫君
傳染病豫防法中改正法律案 委員長 晴 登君 理事 西村 專太郎君
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案外一件 委員長 寺井 純司君 理事 澤田 寧君

屠場法案外一件

委員長 中西光三郎君 理事 大野久次君
民事訴訟法中改正法律案

委員長 栗塚省吾君 理事 富島暢夫君
荒川五郎君ヨリ學制問題ニ關シ、井上甚太郎君ヨリ實業教育ニ關シ質問主意書ヲ提出セラレタリ

學制問題ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十八年二月十四日

提出者 荒川 五郎

贊成者 島田 三郎
外四十一名

學制問題ニ關スル質問趣意書

文部大臣ハ明治三十七年一月二十五日付ヲ以テ教育制度及教育行政改正ノ方針ト題シテ之カ改正ノ要目三十箇條ヲ訓示シ教育學問ノ方法決シテ舊套ニ安スヘキニアラストシテ學制改革ノ必要ヲ説ケリ
然レニ爾來一年有餘ノ今日尙之ニ關シテ更ニ實施行用スル所アラサルノミナラス名ヲ時局ニ藉リ延期セラレタリト聞ク
右要目ニ中ハ時局ノ推移如何ニ因リ之カ行用ヲ決スルノ必要ナルヲ認ムヘキモノアリト雖然レトモ其ノ多クハ時局ニ關係無キノミナラス、時局ニ際シ殊ニ一層ノ急施ヲ要スヘキモノ少カラサルヲ認ム
文部大臣ハ果シテ如何ニ之ヲ處シ且處セムトシツアルカ右三十箇條ノ各項目調査實施ニ關スル成行並一般學制問題ニ關シ明確ナル答辯アラムコトヲ望ム
實業教育ニ關スル質問書
右成規ニ據リ提出候也

明治三十八年二月十六日

提出者 井上 甚太郎

贊成者 重岡 薰五郎
外三十五名

實業教育ニ關スル質問主意書

教育施設ノ目的ハ被教育者ヲシテ偏頗無ク社會ノ各部分ニ適恰ニ配置シテ最モ良好ナル營爲ヲナスニ足ルノ性格ト實力トヲ得セシムルニアリ故ニ是レカ施設ヲ爲スニ當リテハ最モ能ク社會ノ狀況ニ稱ヘテ充分ニ適應スル事ヲ期セサル可カラス然ルニ現今ノ施設ヲ見ルニ頗ル其宜シキヲ失ヘルモノアルカ如シ
就中中等程度ノ教育ニ關スル施設ノ如キハ最モ顯著ナルモノニシテ普通教育及ヒ豫備教育ノ教育場タル中學校ノ就學者數ト實業教育ノ教育場タル各種實業學校ノ就學者數トハ大ニ其ノ權衡ヲ失シ、アリ且ツ其ノ中學校ハ未タ充分ニ豫備教育ノ實ヲ完ウスルニ足ラス次實業學校ハ制度其ノ當ヲ得テ設備亦不完全ナルカ爲メニ實業ノ改善ニ關シテ教フル所尠ク實習ヲ爲サシムル事亦多カラサルノ結果其ノ舉クル所ノ效果見ル可キモノ少シ
是レ皆其施設力能ク社會ノ狀況ニ適應セサルニ因由スルモノニシテ國家ノ經營上非常ノ不利益アリト云ハサル可カラス
政府ハ果シテ現今施設セル所ヲ以テ當ヲ得タルモノト爲シ能ク生産能力アルモノヲ養

成得可シト爲シ社會ニ於ケル各部分ノ業務ハ充分ニ緊張シ充實シ得可シトスルカ右明晰ナル答辯ヲ望ム是レ之ヲ提出スル所以ナリ

(參考)

維新以降茲ニ四十年、百物革新ノ日ニ際シテ産業ノ狀況ハ他ノ發展ニ伴フ能ハス、今日尙殆ント其ノ舊態ヲ改メサルノ觀アリ、歲幣益々多キヲ加ヘテ、而モ生産ハ未タ是ニ副ハス、若シ今後尙斯クノ如クニシテ推移スルモノアラシカ、是ヲ帝國發展ノ上ヨリ見ルモ、國民生計ノ上ヨリ見ルモ、頗ル悲觀セサルヲ得サルモノアルナリ

本員茲ニ見ル所アリ、第十八議會以來常ニ實業刷新ノ必要ヲ唱ヘテ主務省ノ反省ヲ促シ、是ニ因リテ幾分ナリ共振興奨掖ノ施設ヲ見ルヲ得シ事ヲ企圖シタリキ、而モ主務省ノ實情ヲ缺ケル、本員ノ要求ハ今日ニ至リテ尙些少ノ満足ヲ得ル事能ハサルナリ

實業振興ノ必要ヲ唱フルト同時ニ、本員ハ又、此ノ維新以降一新生面ヲ開キタル所ノ教育事業ニ就イテ其ノ施設ト舉グル所ノ效果トニ向テ注目スル所アリキ、是レ教育ハ實ニ社會國家ノ幸福ヲ増進シ、發展ヲ得セシムルノ源泉ニシテ、實業ノ振興亦大ニ是ニ資ラサル可カラサルモノアルヲ以テナリ、而シテ漸ク其ノ觀察ヲ重ヌルニ從ヒ、文部當局ノ施設頗ル其ノ法ヲ愆ル所アリ到底充分ノ效果ヲ收ム可カラサルモノアルヲ發見スルニ及ヒテ、茲ニ其ノ施設ヲ改革スルノ必要ナルヲ認メ、本質問ヲ提出スルニ至レリ

今教育ノ目的トスル所ヲ見ルニ、普通教育ニアリテハ人格ヲ完成セシムルニアリ、專門教育ニ於イテハ、或ハ學理ノ滋養ヲ極メシメ、或ハ生産ノ途ヲ明確ニ會得セシムルニアルモ、其ノ歸スル所ハ人生ニ於ケル最大活動ヲ得セシムルニアリトスルニ於イテ一致ス、從テ教育ノ作業ハ、被教育者ヲシテ其ノ授クル所ノ教育ノ程度ニ應ジテ、人生ニ於ケル活動ヲナスニ足ルノ能力ヲ得セシムレハ、既ニ其ノ目的ヲ達シタルモノト云フヲ得ルカ如シ

然レトモ社會國家ノ見地ヨリシテ教育ヲ解釋セントスル時ハ、如上ノ所述トハ大ニ其ノ趣キヲ異ニスルモノアリ、即チ其ノ所謂人生ニ於ケル最大活動トハ社會國家ノ爲メノ活動ノ意ニシテ、是ヲ措イテ他ニ活動ナルモノアルナシ、既ニ社會國家ノ爲メニ最大ノ活動ヲナサシメント欲セハ必スヤ現社會ノ狀況ニ鑒ミ其ノ要求ニ適應セシメサル可カラス、是即チ國家力學制ヲ施クニ當リテ根本精神トナサ、ル可カラサル所ニシテ、若シ其ノ學制ニシテ此ノ點ニ缺クルモノアラシカ、能ク教育ノ最終目的ヲ達シテ其ノ效果ヲ舉グル事能ハサル可ク、實ニ其ノ效果ヲ舉グル事能ハサルノミナラス、多數ノ被教育者ヲシテ、生涯徒ラニ其ノ方途ニ迷ハシムルノ慘禍ヲ致スト同時ニ、其ノ社會國家ノ爲メニ有爲ノ一員タル可カリシ是等被教育者ハ却テ國家ノ贅物タルニ過キサルニ至ル可シ

帝國現在ノ教育施設ハ實ニ此ノ缺陷ヲ有スルモノニシテ、此ノ缺陷ハ教育施設ノ全般ニ亘リテ大ナル弊害ヲ醸成シタリ、之レニ加フルニ主務省カ、其ノ諸般ノ設備ニ力ヲ盡サ、ルノ結果ハ被教育者ノ實力ヲシテ倍々微弱ナラシムルヲ致セリ、是レ本員ノ學制意見ノ因リテ起ラサルヲ得サル所ニシテ、此處ニ論述スル所ノ意見ニ依リテ、其ノ施設ヲ改ムルニ至ラハ、如上ノ弊害ハ根本ヨリ一洗セラレ、充分教育ノ效果ヲ舉ゲ得可キヲ信スルナリ

以下本員ハ稍詳細ニ涉リテ改革ノ要旨ヲ説明セントス

本員ハ小學校ニ對シテ、其ノ改革ノ望ム所定ニ少シ、是レ現在ノ小學教育ハ比較的二成功ノ域ニアルモノニシテ、特ニ近キ數年來ハ進歩ノ階段ニ入レルモノ著シキヲ認ムルヲ以テナリ、只種々ノ方面ヨリ考察シテ、國民教育、即チ尋常小學校ノ教育ニ於テハ、一箇年ヲ増シテ五箇年ト爲シ、尙少シク常識ノ養成ヲ圖ラント欲ス、此ノ場合ニ於ケル一箇年ノ増加ハ、一般國民ノ智力其ノ他ニ、大ナル進展ヲ與ヘ得可キモノニシテ、國民一般ノ品位ヲ高ムルニ必要ノ措置トス

尋常小學校ヲ五箇年トスル時ハ、小學校ノ修業年限ハ、通計九箇年トナル可シ、此ノ九箇年ノ課程ヲ了レハ、既ニ社會國家ノ大體ニ通シ日常交際ノ用ハ略スルヲ辨スル事ヲ得可ク、且ツ幾分カ其ノ興味多面的ニシテ圓滿ナル人格ヲ形成スルニ足ルノ基礎ヲ作ル事ヲ得可シ

次ニ中等教育ニ就テハ、從來ノ施設頗ル其ノ方針ヲ誤リ、拙陋ヲ極ムルモノアルカ故ニ、是ニ就テハ本員ハ、根本的改革ヲ斷行スルノ切要ヲ認ム

從來ノ狀態ハ、高等教育ノ豫備教育場タル中學校ノ數非常ニ多クシテ、直接生産ノ途ヲ教フル所、實業學校ノ數少シ、是カ爲メニ彼ノ中産ノ家ニシテ、小學校ヲ畢ヘタル後ニ、尙少シク其ノ家業上ニ於ケル新知識ヲ得セシメント欲スルモノモ、殆ント皆中學校ニ收容セラレツ、アリ、然ルニ此ノ中學校ハ、力メテ其ノ就學ヲ勸誘スル事ト、其ノ教授ハ知識趣味ノ全般ニ涉リテ普通ナラサル可カラストスルノ結果トハ、相俟テ常識ナク實力ナキ卒業生ヲ養成シ、アルモノニシテ、是等常識ナク實力ナキ卒業生ハ、或ハ帝國大學ニ入り早稲田ニ趨キ明治大學ニ來ルモノ鮮キニアラサレトモ、中學校ヲ卒業シタル儘ニシテ廢學スルモノ頗ル多シ、而モ其ノ修得セル所ハ淺薄ナル智識ニ過キスシテ、多クハ是レヲ實業上ニ應用シ得可キモノニアラサルヲ以テ、銅鑼ヲ執リテ農ノ事ニ從ヒ、度衡ヲ執リテ工商ノ事ニ從フニ適セス、且ツ猥リニ空想ニ驅ラレテ實業ヲ賤ムノ結果、遂ニ或ハ縣廳下級ノ雇トナリ或ハ郡衙又ハ市町村役場ノ吏員トナリテ、悲ム可キ生活ヲ營ムニ至ルモノ多クシテ、所謂父祖ノ財產ヲ糜シテ徒食ヲナスヲ得レトモ、社會ノ爲メニ有利ノ一員トシテ働作スル能ハサルモノ尠カラス、其ノ高等教育ヲ受クルモノ亦此ノ弊ニ陷ルモノ多ク、彼ノ法律ヲ修メテ衣食ノ途ヲ得ントスルモノ、即チ中學校ヲ畢リタルモノニテハ衣食ノ途ヲ得難キカ故ニ、寧ロ更ニ進ニテ法律ヲ修メント志シタルモノ、如キハ、皆相率テ或ハ判檢事登庸試験ヲ受ケ、或ハ辯護士ノ資格ヲ得ントス、實際ニ疎キ空論ヲ行ルニ巧ミナルモノ、更ニ生産者トシテ立ツ事能ハサルモノニシテ、彼ノ幼稚ナル辯護士カ近來頻リニ増加シ來リ、所謂供給過多ノ狀ニ陷レルモノアルカ如キハ、社會國家トシテ非常ノ損失ナリト云ハサル可カラス、而シテ斯クノ如キノ損失ヲ招致セル根源ハ皆豫備教育ヲナスノ中學校非常ニ多キニ過キテ、是レニ反シテ實業教育ノ狀況ノ不振ヲ極メタルニ因レリ

故ニ本員ハ、此ノ中等教育ノ制度ヲ全然一變シテ、現今存在セル中學校ノ數ヲ削リテ、一府縣一校或ハ二校ニ限リ、且ツ入學試験ノ程度ヲ高上シテ、力メテ其ノ就學ヲ制限シ、彼ノ天稟ノ才敏精力無クシテ、法律家經世家ヲ志シ、快樂ノ生活ヲ得ンコトヲ望ムカ如キモノヲ抑制スルノ英斷ヲ下ス事ノ必要ナルヲ唱ヘサル能ハス、而シテ此ノ中學校ノ就學ヲ制限スル同時ニ大ニ實業學校ヲ振興シ、其ノ就學ヲ奨掖シテ活潑ナル生産活動ヲ營ム事ヲ得セシムルヲ要ス

從來實業教育ニ關シテ施設セル所ヲ見ルニ、農學校ノ數ハ一府縣纔ニ一二校ニ限リ、工業學校商業學校亦之レニ同シク而シテ其ノ舉グル所ノ效果ハ各學校ヲ通シテ定ニ鮮少ナリトス、是蓋シ當初ニ於テ文部當局カ、實業學校ノ如何ナルモノタル可

キカラ解セス、是ヲ以テ眞ニ實業ヲ振興スルノ具トハナサスシテ、自己ノ便宜ニ從ヒテ濫用シタルノ致ス所ナリ

二十七八年戰役ノ後、國民ノ思想ニ一轉化ヲ來セ、忽チニシテ中學校濫設ノ弊害ヲ惹起シ、其ノ卒業生ノ漸ク増加スルニ及ヒテ、是レヲ收容ス可キ高等教育機關ノ設備ナキヲ批難スルモノアルニ至レリ、茲ニ於テ文部當局ハ漸ク其ノ弊ヲ覺知シ、應急策ヲシテ實業教育ノ獎勵ヲ爲シ、以テ高等教育機關増設ノ責任ヲ逡レシム事ヲ企圖セリ、既ニ實業教育ヲ施クノ動機カ如上ノ苟端策ニ因由セルモノナルヲ以テ、此ノ教育施設カ果シテ實業ノ振興ヲ期待スルヲ得可キヤ否ヤハ其ノ問フ所ニアラス、不完備拙陋ヲ極メテ以テ今日ニ至レリ、今是レカ例證ヲ引カンカ、試ミニ兵役ニ關シテ、實業教育ノ施設スル所ヲ見ヨ

就學者ヲシテ實業教育ニ向ハシメンカ爲メニハ、兵役延期ヲ認可セサル可カラス、更ニ一年志願兵ヲ志願スル事ヲ得シメサル可カラス、而モ是等兵役ノ事ニ關シテハ少クトモ中學校ト相近似セル普通學ノ知識ヲ授クルニ非サレハ陸軍省ノ承認ヲ得ル事能ハスト、茲ニ於テ是等實業學校ニ於テモ主トシテ、普通學ノ知識ヲ授クルノ制ヲ立テ、視學官ヲ派シテ力メテ是レニ違ハサラシメン事ヲ期シ、斯クノ如クニテ專門教育ヲ施ス可キ所ノ實業學校ハ、殆ント純然タル普通教育ノ學校ニシテ、只少シク其ノ普通學ニ附帶スルニ實業ノ科目ヲ以テスルノ差アルノミナルヲ致セリ、夫レ然リ、單ニ一年志願兵ノ事ノ理由ヲ以テ、全然其ノ目的トス可キ所ヲ放棄シテ顧ミス、是即チ本員カ、從來ノ實業教育施設ヲ以テ、眞ニ實業振興ノ精神ニ出テタルモノニ非ストナスノ要因ナリ、一年志願兵ノ事ノ如キハ陸軍省ニ於テ承認ヲ與ヘストナラハ與ヘサルニシテ可ナリ、曷ソ強イテ其ノ主要目的ヲ變更スルモ尙、是レニ合ハセシムル事ヲ要センヤ、若シ夫レ其ノ兵役延期ノ認可ノ場合ニ於テハ、本員ハ陸軍省力ヲ認可セサルノ理由アルヲ認メサルナリ

實業教育ノ振興上第一ニ著目ス可キハ農學校ノ擴張充實ト改革トナリ、本員ノ見ル所ヲ以テズレハ、農學校ノ數ハ一府縣ニ於テ少クトモ二校或ハ三校ヲ要シ、一校ノ收容ス可キ生徒員數ハ百名或ハ百五十名ヲ限リ、其ノ設備ノ最モ大ナルモノト雖モ二百名ヲ超過セサル可ク、其ノ修業年限ヲ三箇年トナシ且ツ此ノ三箇年間ニハ勉メテ實際上ニ應用スルノ時限ヲ多カラシムルノ目的ヲ以テ、其ノ學校附屬地トシテ、十町歩十五町歩或ハ二十町歩ノ田園ヲ給スルモノトス、蓋シ從來ノ農學校ノ如ク、其ノ實習ノ時限頗ル少ク、是ニ加フルニ其ノ狹小ナル農園ニ於テ種々雜多ノ農藝作物ヲ試作スルヨリシテ、實習ニ因リテ得ル所ノ修養ハ至ッテ少ナカラサルヲ得ス、是其ノ繁冗ヲ増スニ從テ生産ノ要ヲ會得セシムルノ機會愈減スルニ因ルモノニシテ、寧ロ比較的單純ナラシムルノ方針ヲ執リテ、而モ其ノ要點ヲ看取セシムルヲ企圖スル方、大ナル效果ヲ得可キモノタル事ヲ知ラサル可カラ、是等ノ點ニ於テ能ク注意スル所無クシテ、就學者ノ實力ノ進歩ハ遂ニ期待スル事能ハスシテ、其ノ結果ハ亦、生産能力無キ卒業生ヲ養成スルニ過キサルニ至ル可シ

要スルニ、此ノ農學校ノ組織ハ普通ノ中學校トハ全然其ノ目的ヲ異ニセルモノナル事ヲ記憶セサル可カラスシテ、其ノ三箇年ノ養成ハ、能ク其ノ父祖ノ業ヲ繼承シテ、益々之ヲ擴充スルニ足ルノ實力ト、農業ヲ尊貴シ、其ノ營爲ニ趣味ヲ有スルノ觀念ヲ慣ラシムルニ至ラサル可カラス、實際農藝ノ上ニ緊密ノ關係ヲ有スル知識技能ヲ授ク可キハ勿論ナルモ、彼ノ徒ニ多面的ノ知識趣味ヲ得シメントスルカ如キハ、斷シテ是ヲ避ケサル可カラス、蓋シ小學校九箇年ノ教育ハ、既ニ一般社會生活ニ必須ナル知識趣味ヲ得セシムル事ニ力メラル可キカ故ニ、此處ニハ單ニ實力修養ヲナサシム

ルヲ以テ當然トナスナリ

上述ノ精神ニ因リテ、其ノ主要ナル教科目ヲ撰擇スルニ
第一 氣候ト植物トノ關係、地質ト植物トノ關係、及ヒ植物ニ對スル肥料ノ適否
等ヲ了得セシムルカ爲メニ、作物ニ關スル是等諸般ノ學理ト實際トヲ授ク

第二 農産製造ノ要ヲ授ケ、且ツ是レ同時ニ農學校ヲ以テ其ノ他農産製造ノ振
興ノ中心ヲシムヘシ

現在農界ノ狀況ヲ按ズルニ、農産物中未成ノ儘ヲ以テ販賣セラルモノ多シ、例ヘハ
米穀ノ如キ、初又ハ玄米ノ儘ヲ以テ他方ニ輸出セラレ、精製ノ際生スル糠ノ如
キモノハ、肥料トシテ更ニ販賣先ヨリ輸入セラレ、事實リトス。若シ自家ノ産出ハ是
ヲ協同事業ニ依リ、或ハ單獨ノ作業ニ因リテ、必ス製造シ加工シテ賣リ出スモノト
スレバ、其ノ勞力ノ報酬ヲ自家ノ手ニ收ムルヲ得ルト同時ニ、其ノ副産物ヲモ利シ
得可キハ明ニシテ、農産製造ノ振興ハ實ニ現農界須急ノ事ニ屬セリ、此ノ農産製
造ニ關シテ本員ハ、我カ帝國産業界ノ一般ニ鑒ミ、其ノ原動力トシテ水力ヲ利用
スル事ノ切要ナルヲ認ム、即チ其ノ水力利用ニ依リテ生スル所ノ利潤ハ、是ヲ其ノ
水利ニ關係セル耕地ノ人民一般ニ頒ツカ如キ組織ノ成立ヲ望ミツ、アルモノニシテ、
而シテ農學校カ、其ノ農産製造ヲ教フルト同時ニ、此ノ水力利用ノ好模範ヲ示
スヲ得ハ、農學校ノ作業トシテ稍、遺憾ナキヲ得可キヲ信ス、蓋シ農學校ニ於テ是
等ノ施設ヲナスハ容易ノ事ニシテ其ノ實際上ノ庶務ヲ辨スルカ如キ事ハ必スシモ生
徒ヲ使役スルヲ要セス

第三 家禽畜ノ飼養法ノ實際ヲ教ヘ、且ツ是モ亦其ノ地方ノ飼養振興ノ中心タ
ル可シ、從來ノ農學校ハ家禽畜飼養ノ點ニ於テ最モ缺點所アリ、蓋シ必スシ
モ其ノ飼養ヲ試ミサルニ非サルモ、是レモ亦、所謂一種ノ玩具トナスニ過キサルカ如キ
モノニシテ、或ハ改良ノ法ヲ講シ或ハ收益ノ實際ヲ示スカ如キ事ハ全ク無シト云フ
モ可ナリ、隨テ其ノ卒業生ニシテ、眞ニ副業トシテ家禽畜飼養ヲ勉ムルモノ
少シ農産上、此ノ家禽畜飼養ハ眞ニ輕々ニ看ル可カラサルモノニシテ、其ノ國
土カ假令ハ大農組織ナルニセヨ、將亦小農組織ナルニセヨ、必ス是レカ飼養ヲ兼
スル事ニヨリテ收益ヲ圖ルヲ可トスルナリ、今少シ此處ニ海外産業狀況ノ一斑ヲ
摘述セン

海外ニ於ケル畜産業上、農家ノ副産トシテ最モ注意ス可キハ山羊羊豚ノ類トス、殊
ニ羊毛ノ如キハ毛織物ノ原料タルカ故ニ、其ノ飼養業ノ發達ハ頗ル見ル可キモノ
アリ、羊ハ馴養スル事ニ因リテ寒地及ヒ暖地ノ何レニモ適ス、又其ノ寒地ニ産スル
モノハ稍、劣等ナルヲ免レサルノミ、世界第一第二ノ牧羊地トシテ濠洲及ヒ露國
ニ指ヲ屈スル事ハ、能ク此ノ適羊地ノ性質ヲ説明スルモノト云フ可ク、露國ニ於ケ
ル此ノ牧羊及ヒ棉作ノ業ニ於ケル成功ハ、其ノ國人勤勞ノ狀ヲ想見スルニ足ルモ
トス

次ニ彼ノ支那ハ、人或ハ是ヲ以テ生業不振ノ野蠻國ナリトナスモ、其ノ農産ノ狀
況ハ種々ノ場合ニ於テ寧ロ我カ帝國ノ上ニ在リ、特ニ畜家畜ノ飼養ノ如キ、
野菜及ヒ果樹ノ栽培ノ如キハ、頗ル發達セルモノニシテ、其ノ畜家畜ハ牛馬豚ヲ
始メ山羊雞家鴨等三互リ、而シテ彼等農民ハ此ノ盛ナル副業ニ依リテ、大ナル利益ヲ
收得シツ、アリ野菜ノ如キモ、適地ノ撰擇施肥耕耘ノ注意等頗ル周到ニシテ、是
ニ因リテ有爲ノ生産ヲナシ、アル事ハ、彼ノ濠洲人カ支那勞役者ヲ讚シテ、吾
人ハ支那人ノ力ニ因リテ、此ノ良好ナル野菜ヲ食フ事ヲ得ト云ヘルニヨリテモ推知
スルニ難カラズ

此ノ他尙堆肥ニ對スル處理、人糞尿ノ貯蓄法等、一々學理ニ適合セルモノアリ、
現時ノ我カ帝國ニテハ空シク遺棄セラレ、所ノ犬豚牛馬ノ排泄物ノ如キモ、皆老
幼兒女ノ手ニヨリテ農家ノ貯蓄場ニ致サル、モノニシテ、其ノ天物ヲ暴殄セサルノ
途モ盡セリト云フ可シ

第四 以上ヲ綜フルニ簡單ナル農業經濟ヲ授ケテ、以テ徹頭徹尾農家ノ主人トシテ
立ツニ遺憾ナキヲ期ス可シ

第五 土地ノ情況ニヨリ、殖林ノ科目ヲ加ヘ、以テ殖林ノ實際ヲ學ハシム可シ
普通農學校三箇年ノ課程ハ略、斯クノ如クニシテ畢ル可キモノナルカ、此ノ他尙特
殊ノ一技術ニ就イテ專攻ヲ要スルモノアラハ、特ニ二箇年ヲ延ヘテ之ニ關スル研究
ノ途ニ就カシムルヲ要ス、要スルニ本員ハ、彼ノ濠洲ニ於ケル學制ノ略、宜シキニ協
ルヲ信スルモノニシテ、只之レニ附加スルニ我カ帝國ハ小農組織ノ國ナルカ故ニ、能ク其
ノ實際ニ適合セシムルノ注意ヲ以テス可ク、即チ農家ノ副業トス可キ畜家畜ノ如キ
モ、農學校カ撰種傳播ノ中心トナル可キ事ヲ希望スルモノナリ

農學校ノ效果ヲ完全ナラシムルカ爲メニ、農商務省所屬農事試驗場及ヒ其ノ支場
ハ勿論、同省ニ於ケル園藝試驗場ハ凡ヘテ其ノ事業ヲ擴充シ、必要ノ場合ニ於テ
其ノ技術家ヲ歐米ニ求メテ、以テ其ノ研究成績ヲ舉グルノ法ヲ立ツル事ニ一段ノ
改革ヲ加ヘ、之レニ因リテ、全國農學校指導ノ任ヲ兼ネシムル事ハ亦眞ニ事宜ニ投ス
ルノ措置トナス

蓋シ帝國ノ如ク耕牧ノ地少ク農産多カラスシテ而モ農事ニ從フモノ多キ國土ニ於テ
テハ、現在ノ農事上ニ充分ノ改善ヲ加ヘテ、最モ巧妙ナル集約農業ヲシムルト同時
ニ、新種ノ農産ヲ傳播ヲ圖ル事、寔ニ急務ナリトスル所ナルカ故ニ、政府當局ハ努メテ、
農事試驗場園藝試驗場ノ事業ヲ盛大ニシテ、遺憾ナク是等ノ研究ヲ成サシメ、是ヲ
經濟上ノ實際ニ照シテ應用ノ方策ヲ立テ以テ全國農界ニ傳播セシムルノ途ヲ講セサ
ル可カラス、本員ハ先キニ、地方農學校ヲ以テ農事ニ關スル教育ヲナスト同時ニ農産
製造及ヒ畜飼養ノ獎掖傳播ノ中心トナスノ必要ヲ認メタルカ、更ニ本源ノ中心タ
ル可キモノハ、固ヨリ中央ニ於ケル農事試驗場及ヒ園藝試驗場ニシテ、是等試驗場
カ農學校ニ對シテ充分指導干渉ヲ與ヘ、其ノ教授材料ヲ供給シ其ノ種苗ヲ頒ツニ至ラ
ハ、教育及ヒ傳播ノ作業ハ頗ル確實ト速トヲ得ヘキモノト信ス、中央農事試驗場
及ヒ支場、園藝試驗場ヲ以テ幹流トナシ、全國農學校ヲ以テ流域ヲ潤ホス所ノ分流
トナシテ、教育及ヒ農事改良ノ作業ヲ執ラシムルニ至ラハ、從來各府縣ニ於ケル農事
試驗場ハ全ク是ヲ閉鎖ス可ク、耕地其ノ他ニシテ農學校ニ適用セラル可キモノハ總ヘ
テ之レヲ農學校ノ設備中ニ轉スルヲ可トス

縣農學校トシテ全國中最モ卓越セルモノハ熊本縣農學校ニシテ是レニ次クモノヲ
福岡縣農學校トス、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ、熊本縣農學校ノ如キハ、其ノ施
設略、宜シキヲ得タルトナス可キモノニシテ、舉クル所ノ效果亦渺シトセス、元來此
ノ縣ニ於テハ農學校ノ施設ニ力ヲ致シテ、而シテ縣農事試驗場ナルモノヲ置カ
ス、農學校ハ即チ農事試驗場ノ作業ヲ兼ヌルノ觀アリ、是實ニ本員ノ意ヲ得タルモ
ノニシテ、本員ハ此ノ教育施設意見ヲ斷行スル場合ニ於テハ、府縣農事試驗場
ヲ閉鎖スルモ、何等ノ痛痒ヲ感セサル可キヲ信ス、彼ノ府縣農事試驗場ノ如キハ、
固ト其ノ規模狹小ニシテ施設亦頗ル宜シキヲ失ヒ、遂ニ其ノ研究成績ノ見ルニ足
ルモノナカリシノミナラス、其ノ府縣農家ニ教フルノ途亦遂ニ立タサリシカ爲メニ農
事改良上何等ノ效果ヲ奏スル事能ハサリシト云フモ必スシモ謬言ニ非サレハナリ
工業學校ヲ擴充改革スル事、亦目今ノ要務ナリ、現今朝野ノ有志口ヲ開ケハ必ス

工業立國論ヲ稱フルモ、而モ單ニ一ノ聲ヲナセルモノニ過キサルノ觀有リ、工業學校ノ現狀ト工業界ノ形勢トヲ目賭セハ、眞ニ悽愴ノ感ニ堪エサルモノアルナリ、現今我カ工業ノ首位ニ立ツモノハ製絲業ナルモ、其ノ產出スル所ノ生絲ハ粗製濫造ヲ極メツ、アリテ、到底彼ノ以テ利等ノ製品ニ拮抗スヘカサルモノアリ、機業ノ如キモ亦甚シク幼稚ノ境涯ニアリ、固ヨリ一概ニ諸外國ノ作業者其ノ儘我ニ採用シ得可キニハ非サレトモ、聞ク所ニ因レハ米國其ノ他ノ邦國ニ於ケル大工場ニテハ、一機毎ニ三十俵乃至五十俵ノ生絲ヲ用ヒツ、アリ、然ルニ我ニ於テハ一機毎ニ僅ニ十俵ニシテ、アルモノニシテ、其ノ成品ノ不整一ト勞役上ノ不利益トハ實ニ云フ可カラサルモノアリ、大機械ノ缺乏ニ次キ染色術ノ幼稚ナル事モ亦默視ス可カラサル所トス、東京高等工業學校ノ如キ、其ノ機織科ニ於テハ、小仕掛ナカモ尙歐米ノ機械ヲ用フル無キニ非サルモ、其ノ染色科ニ於テハ單ニ机上ノ技術タルニ過キサルモノニシテ到底我カ産業ノ興隆ヲ指導スルニ足ルモノナシ

其ノ他工業ニ關スル百般ノ施設皆此ノ小規模ニ限ラレテ、一モ改良ノ緒ニ就クノ目途アルモノ無シト云フモ可ナリ、本員ハ陸海軍ニ於ケル教育及ヒ其ノ他ノ施設カ、能ク其ノ力ヲ盡セル事ニ因リテ今日ノ隆昌ヲ致セルヲ見テ、實業ノ振興上、國家ハ亦陸海軍ニ施設シタル所ト略同一ノ施設ヲ爲ス可キモノナル事ヲ唱道セサルヲ得ス、蓋シ富國ト強兵トハ國家ノ存立上決シテ其ノ一ヲ缺ク事能ハサルモノナレハナリ、從來陸海軍ニ於テハ、鉅額ノ經費モ惜ム所ナクシテ、將校或ハ技術官ヲ海外ニ派遣シ、又軍艦ヲ海外ニ注文スル場合ニハ特約ヲ設ケテ、若干ノ職工ヲ遣ハシ其ノ製作ヲ見習ハシムル事アリテ、以テ軍事上ノ研究ヲナシムル事ニ勉メツ、アリ、實業上ニ於テハ從來未タ決シテ斯クノ如クナル事能ハサルナリ、但シ實業上ノ研究ヲナスカ爲メニ派遣シタル技師或ハ留學生ノ如キモ、其ノ數決シテ微ナルニハ非サルモ、元來彼ノ工業ノ如キモノハ、單ニ學理上ノ智識ヲ以テ満足セラル可キモノニ非ス、而モ海外ニ於ケル實際技術ノ模倣ハ各營業者ノ秘密トスル所ナルカ故ニ到底是ヲ窺知スル事ヲ得ス、派遣ニ派遣ヲ重ネテ、遂ニ其ノ目的ヲ達スル事能ハサルナリ

彼ノ樺村氏カ京都府知事タリシ時、氏ハ京都産業ノ振興ニ意アリ、職工ヲ撰擇シテ佛蘭西ニ送り、實際ニ就キ其ノ機械ノ術ヲ學ハシメタルカ、其ノ業成リテ歸朝スルノ途次、乗船覆没ノ厄ニ遭ヒテ、其ノ有爲ナル職工ノ大部分ヲ失ヒ、空シク氏ノ施設ノ懇切ナル事ヲノミ傳ヘタルニ過キサルハ、我カ機業界ノ一痕事トナス

實業ノ研究ニ於ケル此ノ缺點ヲ補ハシカ爲メニハ、幾分高貴ノ俸給モ是レヲ惜ム所ナクシテ外國ヨリ良教師ヲ招聘スルニアリ、黃色煙草ノ研究ノ際ニ於テ農商務省ハ特ニ農務局長ヲ米國及ヒ獨逸ニ派遣シ、老巧ナル一技術者ヲ索メ來リテ、是レヲ實地ニ耕作製造セシムル所アリ、忽チニ悉ク其ノ技術ノ我ニ了得スル事ヲ得タリキ、彼ノ染色ノ技術ノ如キ、亦豈然ラサルノ理アラヤ、東京高等工業學校ニ於テハ其ノ染色科ニハ只一人ノ外國教師アルノミ、而モ其ノ教フル所ハ毛織物ニ色澤ヲ附スル事ニシテ、絹布ノ部ニ於テハ、地質用途ニ因リテ染色法ヲ異ニスルカ如キ、或ハ特殊ノ光澤ヲ附スルカ如キ事ニ於テハ、非常ノ缺乏アルニ拘ハラス、一人ノ外國教師アル無シ、帝國産業ノ狀況ヨリスレハ、其ノ最モ須急ナルモノハ絹布ノ染色ニシテ毛織物ノ色澤ノ如キハ寧ろ第二位ニ置カサル可カラサルニ於テハ、工業學校ノ施設ニシテ尙斯クノ如ク順序本末ヲ轉倒シ、アルヲ見ルハ何等ノ不體裁ヲヤ

本員ハ工業學校トシテハ、先ツ第三東京及ヒ京都ノ兩地ニ、完全ニシテ且ツ大規模ナル

高等機械學校及ヒ之レニ附帶シテ染色意匠ノ學校ヲ置クノ必要ヲ認ム、而シテ是カ教員トシテハ經費ノ多少ヲ論スル事ナク、歐米第一等ノ教師ヲ僱聘シ、相當ノ資格アルモノヲ收容シテ是ヲ學ハシム可シ、若シ能ク斯クノ如クシハ我カ機織業ハ忽チニシテ其ノ面目ヲ一變スル事ヲ得可ク、此ノ場合ニ於テ兩校ノ經費カ、一箇年四十萬或ハ五十萬ニ及フ事アルモ毫モ顧慮スルニ足ラサルナリ、要ハ歐米ノ實業界ニ對抗シテ讓ル事無キヲ期スルニアリ、陸海軍ノ將校技術官ガ、能ク歐米ノ粹ヲ拔イテ其ノ士卒技術手ヲ指導訓練セルカ如クニ、實業界ニ於ケル將校技術官ヲ作リテ、能ク實業界ヲ指導スルニ至ラシムルニアルノミ

今例ヲ紡績業ニシテ、我カ紡績業ハ明治二十三年ノ頃ニ於テ、最モ銷沈ノ極ニ陥リ、將ニ廢絶セントスルノ止ム可カラサルニ至レリ、茲ニ於テ紡績業者ハ技術員ヲ印度ニ派遣シテ、印度紡績業ノ實際ヲ觀察セシメ、其ノ得タル處ヲ應用シテ大改革ヲ行フニ至リ、翕然トシテ勃興ノ機運ニ向ヒテ今日ノ盛大ヲ致セリ是即チ紡績業カ適當ノ指導ヲ得テ成功シタルノ事實ニシテ、各般ノ業モ指導其ノ宜シキヲ得ハ、蓋シ今日ノ如キ不振ニ止マルモノニ非サル可シ

因ニ紡績業者ノ成功ハ前掲ノ如クナルモ、惜ムラクハ彼等ノ不明ナル、其ノ原料タル外棉カ、我カ國土ニ生産シ得ヘキヤ否ヤヲ考察スル所無クシテ直チニ我カ國土ハ棉作ニ適セスト斷案ヲ下シ、有利ノ農產物ヲシテ徒ラニ泯滅ニ歸セシメテ而シテ其ノ根本ノ不安定トナレルモノアルヲ覺ラス、國際上又ハ營業ノ競争上、一日原作地カ棉花ノ輸出ヲ拒ムノ日ニ際會セハ、何ヲ原料トシテ其ノ營業ヲ繼續セントスルカ、近時濠洲聯邦ニ於テハ棉作獎勵ノ議アルヤニ聞ケリ、彼等カ文明ノ技術ト大ナル資カトヲ以テシテ、牧畜ニ製粉ニ麥酒釀造ニ果樹栽培ニ、其ノ他砂糖煙草ノ生産ニ至ル迄、比類鮮キ盛況ヲ極メツ、アルノ日、更ニ其ノ宏大ノ土地ヲ利用シテ棉作業ノ保護獎勵ヲ圖ルニ至ラハ、其ノ隆昌ヲ見ル可キ事、實ニ期年ノ間ニシテ、本員ノ如キハ眞ニ羨望ニ堪エサルモノアルナリ

高等機械染色學校ヲ東西兩京ニ設置スルノ外、尙各地ニ機械染色ノ中等學校ヲ起シ、其ノ他或ハ機械學校造船學校木工學校ノ如キ、或ハ鍛工學校冶金學校陶器學校漆工學校ノ類ヲ、各地産業ノ狀況ニ鑒ミテ、一縣ニ二校或ハ三校ヲ配置ス可シ何レモ皆其ノ實習ノ主眼トス可キハ勿論ニシテ、一校ノ人員ハ約百人ヲ限リトシ、其ノ實習ニ關スル充分ノ設備ヲ有セシメ三箇年ヲ以テ卒業ト爲スコト、及ヒ二箇年ノ研究科ヲ置ク事、農學校ニ同シ

此ノ他工業學校ノ效果ヲ充全ナラシムルカ爲メニ、農商務省所屬工業試驗所ノ制ヲ擴充シ、工業試驗所ヲシテ全國工業學校指導ノ任ヲ兼ネシムル事ハ頗ル適切ノ企畫タルヲ信ス、蓋シ從來ノ地方工業學校カ其ノ效果ヲ舉ゲル事ノ微々タリシモノハ、彼ノ主務省ニ於ケル方針確立セセ、一年志願兵等ノ關係ヨリシテ、工業學校タルノ本領ヲ沒セシメタル同時ニ、其ノ設立ノ方法経路カ、各府縣ニ於テ工業學校設置ノ認可ヲ乞フモノアレハ、當局ハ、其ノ設備又ハ經費等ニ就イテ適恰ノ指導干渉ヲ與フル所ナク、形式ニ因リテ直チニ之レヲ認可シ、僅少ノ補助ヲ爲シテ其ノ不完全ナル學校ノ成立ヲ獎掖シタルニ因ルモノ多キニ居ルハ勿論ナレトモ、是ニ加フルニ其ノ經費少額ナルト一般工業ノ進マサルトニヨリテ工業教員其ノ人ヲ得ル能ハス、且ツ其ノ教授事項等ニ就イテ指導ノ任ニ當ルモノ無カリシカ爲メ、實際上適切快利ノ教練ヲ與フル事能ハスシテ、迂遠拙漏ノ技術ヲ傳フルニ過キサルモノ多ク、以テ今日ニ至リテ其ノ舉クル所何等ノ見ル可キ無キヲ致セルモノトス

東京帝國大學ニ工科大學アリ、更ニ本員ノ意見ヲ實施スルノ期ニハ東西兩京ニ高等機械及染色學校ノ設置アル可ク、其ノ他工業關スル高等教育機關ノ作業益ヲ發達スルニ至ル可キモ、是等ハ尙學者技術家養成ノ機關ニシテ、現工業界ヲ改善スルノ急務ヲ處理セシメシカ爲メニハ、此ノ他一二ノ完全ナル工業試驗機關ヲ具ヘテ、充分實業家ノ指導開發ニ力メシメサル可カラズ

東京ニ於ケル工業試驗所カ、其ノ規模狹小ニ其ノ設備不完全ニシテ其ノ經費亦至シテ少キモ、創立以降少數ノ年月間ニ於テ我カ工業界ニ與ヘタル裨益ノ大ナル事ハ、是ヲ諸他ノ事業ニ比較シテ一頭地ヲ抽シタルモノアル事ハ、本員ノ確信ニ疑ハサル所ニシテ既往ノ成績ハ、眞ニ能ク工業試驗所カ一般工業界ニ對シテ必須ノ機關タル事ヲ證明シテ餘アリ、若シ夫レ一旦其ノ規模設備ヲ擴充シテ、充分ノ活動ヲナスニ足ルノ動力ヲ與フルニ至ランカ、必スヤ全國工業界ノ主腦トナリ指導者ト爲リテ以テ工業界ノ發展ヲ速カラシムルヲ得可キ事明ニシテ、此ノ工業界ノ主腦タルモノヲシテ全國工業學校指導ノ任ヲ兼テシムルニ至ラハ、工業學校ノ效果ノ益、大ナラントスル事必然ナリトス

此ノ故ニ本員ハ、工業試驗所ノ制ヲ擴充シテ、東京大阪ノ兩地ニ一大工業試驗所ヲ置キテ、其ノ設備規模ヲ大ニシ、斯道ノ碩學及技術家ヲ此處ニ集メ、且ツ其ノ足ラサルモノハ、歐米ヨリ知名ノ技術家ヲ招聘スル事トシテ、以テ學理上ノ解決ヲ求ムルト事ト、技術上ノ攻究ヲ積ム事トニ從ハシメ、以テ百般工業者ノ質問ニ應ジ工業界ノ改良指導ヲ爲サシムルト同時ニ全國工業學校ヲ指導シ、其ノ施設ニ干涉ヲ與ヘ、適切ナル教授材料ヲ供給シ、且ツ是等工業學校及ヒ是カ卒業業者、其ノ他一般實業家ノ發明ノ緒ヲ得タルモノヲ取リテ是レカ完成ヲ圖ラシムルノ法ヲ立ツル事ノ必要ヲ認メ、是カ成立ニ就イテノ主張ヲ爲スモノナリ、彼ノ試驗料鑑定料ノ未タ必スシモ低昂ナルヲ得サルカ如キハ、亦工業獎勵ノ途ニ非ス

商業學校ニアリテハ、其ノ數必スシモ多キヲ要セス、從來ノ一府縣一校或ハ二校ハ略シ其ノ宜シキニ適ヘルカ如シ、但シ商業教育ノ精神ニ至リテハ、又其ノ當ヲ失ヘルモノ多クシテ是モ亦普通教育授受ノ所タルノ觀アリキ、內國ニ於テ其ノ近邊ノ顧客ヲ目的トスル所ノ商業ニアリテハ必スシモ、特ニ商業教育ヲ受クルヲ要セス、故ニ既ニ商業教育ヲ施サントスル場合ニ於テハ、勿論世界の商略ヲ了得セシメサル可カラズ、今試ミ其ノ教科ノ大要ヲ摘述センカ

第一 全世界ニ於ケル需要供給ノ實況ヲ知ラシメ、更ニ其ノ變動ヲ看取スルノ能力ヲ養フヲ要ス

第二 農工業ト商業トノ相關聯スル所ノ大勢ニ通セシムルヲ要ス

第三 算術特ニ胸算ノ練習ヲ努メシム可シ

第四 充分ノ時限ヲ給シテ外國語ヲ課シ、特ニ其ノ日用文及ヒ會話ノ習熟ニ力メシム可シ

第五 商法ノ大要ヲ授ク可シ

第一項ノ智能ノ商業者ニ切要ナル事ハ論スル迄モ無シ、是ニ就イテ頗ル興味アル一場ノ談話アリ、明治十九年ノ頃本員ハ一夕中江兆民ト共ニ時ノ銀行局長加藤濟氏ヲ訪ヘリ、席上氏ノ歐洲ニ於ケル失敗談ヲ聞ク、曰ク、其ノ佛蘭西ニ在ルノ日、一日舊同窓ニシテ舊鏡ノ聞エリシモノニ逢フ、彼レ問ウテ曰ク、子何ノ爲メニ來ル、氏曰ク銀行局長トシテ用務ヲ帶ヒテ來レリ、氏問ウテ曰ク子今何ヲ營爲シツ、アリヤ、彼レ曰ク雜穀ノ仲次ニ從事シツ、アリ、氏曰ク子ノ才敏ヲ以テ纔ニ仲次ノ事ニ從フハ惜

ム可シトナス、彼レ曰ク、予ハ寧ロ銀行局長ノ重地位ニアルノ子ニシテ、未タ世情ニ通セサルモノアルヲ憾ミトス、蓋シ國家ノ施設上或ハ其ノ計ヲ失スルモノナキヲ保スルヲ得ンヤ、明夕希クハ我カ居ヲ訪テヨト、明夕到レハ即チ世界各國農產ノ豐凶ヨリ、其ノ分配ノ現況ハ勿論或ル方面ニ於ケル國際上ノ變動ヨリ生スル、穀物運搬ノ滯滯疏通等、コレヲ掌ニ指スカ如キ詳悉ヲ致シ、而シテ電報通信頻リニ來リテ常ニ机上ニ堆積スルノ狀況ニテ、寔ニ其ノ壯觀ニ驚カサルヲ得サリキト

次ニ第二項ノ知識ニ至リテハ、產業上頗ル重要ノ事ニ屬セリ、元來農業ハ工業ノ原料ヲ供給シ、工業ハ商業者カ運用スル所ノ物品ヲ製作スルモノニシテ、農工者ノ生産ハ常ニ工商者ノ方針ニヨリテ左右セラル、モノナルカ故ニ、商業者ニシテ一國ノ產業經濟ヲ慮ルニ非サレハ、漸次其ノ國土ノ萎靡沈滞ヲ免レサルヲ致シ、延イテ自家ノ營業ニ累ヲ及ボスニ至ル可シ、此ノ適例トス可キモノハ即チ、先ニ工業教育ノ條下ニ於テ論及シタル所ノ、我ガ紡績業者ノ執リ來リタル方針ノ如キ是レナリ、現今我ノ棉花輸入ノ爲メニ仕拂フ所年々約七千萬圓ニ達ス、彼ノ國際云々ノ事ノ如キハ永久ニ互リテ是ナシトスルモ、七千萬圓ノ巨額ヲ空シク海外ニ放出スルハ不利ノ大ナルモノニシテ、若シ其ノ幾分ナリトモ内地製產ニ仰ク所アラシメハ、此ノ有利ノ農產ニ因リテ生スル所ノ富ハ必ス我カ內國ニ止マル可ク、而シテ是ヨリ來ル所ノ一般經濟界ノ圓滑ハ更ニ紡績業ノ上ニ酬ニル所アリシナラン、是等ノ事ハ今後益シテ是レニ遭遇スルノ機會多カル可ク、從テ商業者カ工業農業ノ生産ニ關スル大體ノ知識ヲ有スルハ緊要ノ事ニ屬セリ

歐米商人カ胸算ニ熟達セルハ驚ク可キモノアリ、我カ商業者ノ宜シク倣ハサル可カラサル所ノモノナリ、之レニ附帶シテ帳簿記載ニ習熟セシムルヲ圖ルノ必要ハ云フ迄モ無シトス

外國語習熟ノ事ニ就イテハ、特ニ茲ニ云ハサル可カラサルモノアリ、即チ從來ノ實業教育ニ於ケルカ如ク、一週二時間或ハ三時間ノ教授ハ、何等ノ實用ヲ辨ス可キニ非ス、故ニ本員ハ比較的必要少キ農學校及ヒ工業學校ノ兩者ニ於テハ是レヲ省略シ、商業學校ニ於テ其ノ時限ヲ少クトモ一週六七時間トナシ、能ク實用ニ適セシメン事ヲ圖ラント欲スルモノナリ

商業學校ノ修學年限ハ、亦三箇年トスヘシ、而シテ此ノモノニ於テハ特ニ研究科ヲ置クノ必要ヲ認メス、蓋シ高等商業學校ニ特別ノ聯絡ヲ通シテ之レニ進ムヲ得シムルヲ以テ良策トナセハナリ

農工商三業ト相關ヒテ、其ノ振興ヲ圖ラサル可カラサルモノハ水產業トナス、帝國ノ如ク海岸線ノ延長三千里ニ互リ、且ツ世界海洋上有數ナル寒暖二大潮流ノ、其ノ周邊ニ於テ相會スル邦國ニテハ、水產ハ正ニ其ノ重要物產ノ一タル可ク、輸出品トシテモ亦主要ノ位置ヲ占ムルモノナラサル可カラズシテ、水產振興ノ必要ハ既ニ早クヨリ有識者ノ稱道ニ堪メタル所ナルモ、今日ニ至リテ尙微々トシテ振ハス、徒ラニ此ノ大富源ヲ放棄シツ、アルハ、是亦政府當局ノ一大遺漏ナリト云ハサル可カラズ

嘗テ我カ水產物カ米ノ博覽會ニ出陳セラレタル時、審査員ハ我カ農商務省出品ノ鹽鱈ヲ指シ、嘲笑シテ曰ク、米國ニ於テハ魚肉ノ下劑ヲ需要スル事ナシ、瀕利鹽トシテハ固ヨリ別ニ、精製セラレタル藥劑ノアルアリト、是レ我カ水產ノ途ニ海外ニ聲價ヲ博スル能ハサル所以ニシテ、製造ノ拙漏ハ、當ニ高貴ノ價格ヲ有ス可キ水產物ヲシテ、空シク内地市場ニ低價ヲ以テ取引セラレツ、アリ、水產製造ノ改良ハ眞ニ國家ノ急務タルヲ知ル可シ

次ニ彼ノ遠洋漁業ノ如キ、我カ漁民ノ勇敢ハ眞ニ宇内ニ冠絶シタル所ニシテ、彼レ等カ身ヲ葉大ノ漁舟ニ委シテ怒濤ノ内ニ馳騁スルハ、決シテ他ニ於テ見得可カラサル事トス、若シ夫レ是等ノ漁民ノ爲メニ船舶ヲ供ヘ漁具ヲ給シテ以テ其ノ全力ヲ伸フル事ヲ得シメンカ、其ノ舉クル所ノ利益ハ眞ニ測ラレサルモノアル可キナリ、然ルニ政府ハ是等ニ就キテ何等ノ施設ヲ講スル事無ク、敢爲ノ漁民ヲシテ空シク劇浪ノ内ニ葬リ去ラシムルモノ多キハ、帝國ノ一大恨事ニ非スハアラズ

更ニ養殖ノ事業ノ如キ、河川湖沼ニ富メルノ帝國ニ於テハ、鮭鱒鯉鰻又ハ介殼類海藻ノ如キモノ、少シク其ノ施設ニ意ヲ用フルモノアレハ、直チニ帝國ノ一大生産トナス事ヲ得ヘシ

凡ソ是等ノ事ヲ充分ニスルニ至ラハ、彼ノ瑞典那威ノ如ク、單ニ水産ノミヲ以テスルモ一國ノ經濟ヲ維持シ得可キヤモ知ル可カラス、養殖業ニ於テハ支那ノ如キハ、其ノ規模尙小ナリト雖モ、頗ル巧妙ヲ極メタルモノアリ、實ニ我カ爲政者ノ三省ヲ促スニ足ル可キモノトス

水産ノ振興ヲ企圖スルノ策トシテハ、遠洋航漁ニ關スルノ施設ヲナスト同時ニ、養殖及ヒ製造ニ就テ教育傳習ノ途ヲ講ス可シ、蓋シ遠洋漁業ノ如キハ、固ヨリ大船舶ヲ俟タサル可カラサルモノナルカ故ニ、遠ニ各地方ニ是カ教育ノ施設ヲナス事ハ困難ナルモ、養殖及ヒ製造ノ法ヲ教フルコトノ如キハ、其ノ施設ニシテ宜シキニ適ハ、充分其ノ效果ヲ舉クルヲ得ヘケレハナリ

本員ハ、沿海府縣及ヒ、大ナル河川湖沼ヲ有スルノ地方ニ於テハ、適宜水産學校ヲ興シ各地ノ情況ニ適應シタル教養ヲナスノ必要ヲ認ム、而シテ其ノ各校ハ皆、實習ニ關スル充分ノ設備ヲ有ス可キハ勿論ニシテ、一校ノ收容人員ヲ制限シテ百名以內トナシ、約三箇年ノ修業年限中常ニ實習ノ機會ヲ與ヘテ實地ノ營爲ニ堪ユルモノヲ養成ス可ク、其ノ他尙一般漁業者ノ爲メニ適宜ノ季節ヲ擇ヒテ短期ノ講習會ヲ開設シ、簡單ナル製造、又ハ養殖上改善ノ急ヲ要スルモノニ就キテ講習ヲナシ或ハ漁具製作等ノ傳習ヲナスコトアル可シ

地方水産學校ノ效果ノ充分ナラシメンカ爲メニ、農商務省所屬水産講習所ノ設備ヲ充實擴張シ、養殖及ヒ製造ニ關スル設備ヲ充分ナラシムルト同時ニ、是ヲ以テ地方水産學校ヲ指導シテ、能ク其ノ土地ノ情況ニ應スル事ヲ得シム可シ蓋シ從來ノ地方水産教育カ其ノ效果ヲ舉クル事能ハサリシモノハ先ニ論シタル三實業教育ノ經路ト略シ其ノ規ヲ一ニセルモノニシテ適當ノ指導ヲ缺キタルカ爲メニ其ノ土地ノ狀況ニ應スル事能ハサリシモノ、是レカ一因ヲナセリ、是レ本員カ、彼ノ農工業ノ試驗機關ヲシテ、農學校又ハ工業學校ノ指導機關ヲ兼ネシメントスルカ如クニ、此ノ水産講習所ヲシテ地方水産學校ヲ指導干渉ノ任ヲ兼ネシメント欲スル所以ナリ、然レトモ同所現在ノ設備ハ未タ充分ナリト云フ事ヲ得ス、故ニ其ノ效果ヲ完全ニシ、兼ネテ全國水産學校ノ指導機關タラシメント欲セハ、尙幾多ノ擴張充實ヲ要スルモノアルナリ、彼ノ漁撈ニ關スル設備ノ如キモ、現今所屬ノ漁船ハ纔ニ一隻ニ過キス、帝國唯一ノ漁撈船乗組員ヲ養成スルノ機關トシテハ、振ハサルモノナリト云フヲ得可ク、此ノ漁船ヲ増加シ其ノ設備ヲ充實シテ速ニ其ノ效果ヲ舉ゲシメン事ヲ圖ルハ、亦眞ニ今日ノ急務ナリト信ス

次ニ商船學校及ヒ航海學校ニ於テハ、其ノ目的トスル所固ヨリ亦、實際ノ用ニ堪ユルノ海員ヲ養成スルニアルカ故ニ、實地ノ練習ヲ首位ニ置カサル可カラサル事勿論ナリトス、然ルニ是レカ要求ノ満足セシカ爲メニハ、必ス一隻又ハ一隻以上ノ船舶ヲ具

ヘサル可カラス、而モ帝國ノ現況ニ照スニ、教育ノ爲メニ幾多ノ船舶ヲ流用センコトハ頗ル困難ナルカ故ニ、例ヘハ茲ニ遠カニ中等程度ノ商船學校ヲ施設セントスルモ、遂ニ其ノ效果ヲ完全ナラシムル事能ハサル可キハ明ナリ、此ノ故ニ海員教育ノ事ニ於テハ、寧ロ徐々ニ發達セシムルノ方針ヲ取リ、其ノ施設ヲ爲スニ當リテハ必ス一隻又ハ二隻ノ船舶ヲ具フルヲ圖ル可キモノトス

海員養成ハ亦帝國須急事業ノ一ナリ、政府ハ宜シク老朽ノ船舶ヲ得ル毎ニ、必ス是レヲ海員教育ニ利用スルノ方針ヲ取リ、以テ海國民タルノ實ヲ舉ゲシメントスルヲ圖ル可シ、彼ノ南洋ニ於テ濠洲聯邦カ、其ノ幾多ノ港灣ニ老朽船舶ヲ繫キ、船内ヲ以テ家屋トナシ教室トナシテ、是レニ孤兒其ノ他ノモノヲ收容シ、少弱ノ頃ヨリ夙ク既ニ海上生活ニ馴致スルノ策ヲ取リツ、アル事ハ、眞ニ感服セサルヲ得サル所ニシテ、本員ハ帝國ノ港灣亦早ク此ノ種ノ船舶ヲ見ルニ至ランコトヲ切望スルモノナリ、實業教育ニ關スル施設ヲ論述ヲ了ラントスルニ望ミ、尙彼ノ實業補習學校ニ就テハ、一言セサルヲ得サルモノナリ

凡ソ教育ノ效果ハ、實習ヲ積ムニ從テ漸ク其ノ成績ヲ現ハシ來ルモノニシテ、此ノ事實ハ生産業ノ教育ニ於テ特ニ甚シキモノアルヲ覺ユ、故ニ彼ノ文化普ネケレハ、從ツテ生産業ノ改善ヲ得可シト稱ヘ、或ハ口ニ實業ノ教科書ヲ講述シ實業ノ尊貴ス可キ所以ヲ説ケハ、以テ生産的國民ヲ作り得可シトナスモノハ何レモ皆甚シキ謬見ニ陷レルモノナリ

現今ノ實業補習學校ナルモノニ於テハ稍、見ルニ足ルモノモ無キニ非サレトモ、其ノ多クハ設備不完全ニシテ經費亦至ッテ少ク、能ク完全ナル實習ヲ行フニ適セス、隨ッテ其ノ眞實ノ效果タルヤ極メテ微ナルモノニシテ、其ノ結果就學者ヲシテ不生産的ニ時間歲月ヲ空費セシムルニ似タルモノト渺カラス、彼ノ政府當局カ力メテ是等補習學校ノ開設ヲ奨掖シ、少額ノ補習金ヲ與ヘテ其ノ弊害ヲ助長シツ、アル事ハ、全ク本員ノ贊成スル能ハサル所ナリ、管ニ贊成スル能ハサルモノナラス、長ク此ノ姑息策ヲ維持センヨリハ、寧ロ斷然補助金ノ支給ヲ廢シ、是レ等補習學校ノ簇出ヲ禁遏スルノ至當ナルヲ信ス、要スルニ本員ハ此ノ補習學校改善ノ事ニ就テハ是レカ論辯ヲ要セストスルモノニシテ、本員ノ此ノ教育施設意見ヲ斷行スル場合ニ於テハ、是等不完全ノ實業補習學校ハ、當然是ニ閉鎖シ去ラント欲スルモノナリ

以上述フル所ニ因リテ略、實業教育ノ要領ヲ明ニシ得タリト信ス、而シテ本員ハ、若シ能ク此ノ所見ニヨリテ從來ノ實業教育ヲ改革擴充スルノ運ニ至ラハ、帝國產業界ノ狀態亦忽チニシテ光明ヲ見出スヲ得可シ、彼ノ所謂國費濫用ノ博覽會ヲ開キ、以テ勸業ノ實ヲ舉ゲ得可シト思惟シテ、更ニ其ノ他ノ施設ヲ力メサルモノ、如キハ、識者ノ常ニ憂懼ニ堪エサル所ニシテ、本員ノ希望カ幸ヒ帝國ノ教育施設ノ上ニ實現セラル、ヲ得ハ、是獨リ本員カ安慰ヲ得ルノモノニ非サルナリ

因ニ博覽會ヲ以テ國費濫用トナス所以ノモノハ、其ノ陳列品ト農田工場又ハ市場ノ物品トカ相一致セサルモノナラス、非常ノ懸隔ヲ有シテ偶、陳列品ト同一種ノ物品ヲ望ムモノアルモ、到底是カ需メニ應スル事能ハサルカ如キ、現況ナルカ故ナリ、博覽會ヲシテ效果アラシムルカ爲メニ、本員ハ嘗テ主務省ニ就キテ、市場品カ陳列品ト同質ノモノナラサル場合ニハ、其ノ賞牌又ハ賞狀ハ是レヲ剝奪ス可シト説キタルモ、主務省ハ遂ニ是レヲ用フル能ハサリキ

以下中學校及ヒ高等教育機關、女子教育等ノ施設ニ就テ一言スル所アル可シ中學校ノ入學程度ハ是ヲ高上ス可キ事前ニ述フル所ノ如シ、是レハ其ノ就學ヲ制

限セントスルノ趣意ニ出ツルモ尙一ハ、是ニ因リテ中學校ノ卒業生ニ實力ヲ附セント欲スルモノニシテ、入學程度高上ノ結果ハ、或ハ幾分天稟ノオラ有スルモノ、又ハ精力ノ他ニ超出スルモノヲ採擇スル事ヲ得可ク、隨テ是レカ高等學校帝國大學其ノ他ヲ卒業スルノ場合ニ於テ其ノ實力ハ一段ノ進歩ヲ加フ可シ、從來ノ如ク高等小學ニ簡年ノ課程ヲ卒ヘタルモノハ試驗ノ結果中學校ニ編入セラル、場合ニ於テハ、小學全科ノ畢リタルモノハ、才敏精力無キモ尙是レカ入學ヲ得可ク、其ノ實力無キノ結果ハ大學ニ入ルニ及ヒテモ尙充分ノ實力ヲ養フ事能ハス、本員ハ敢テ彼ノ天才教育ヲ云々スルモノニ非サルモ、苟クモ高等教育ヲ授ケントスル場合ニ於テハ、智識趣味ヲ同化スルノ力強キモノヲ擇ブ事ノ、頗ル人才經濟ノ上ニ利アル可キ事ヲ信セサル能ハス、蓋シ中學校ニ於テ優秀ヲ擇ブノ結果ハ、智識趣味ノ同化力強キモノヲ擇ブ事ヲ得ルカ故ニ、其ノ實力ノ進歩ハ從來ニ幾層ヲ加ヘシムル事ヲ得可ク、從テ是等カ大學其ノ他ヲ卒業スル場合ニハ、充分發明發見ヲ爲シ又ハ學理ノ蘊奧ヲ開拓シ、事業ニ成功スルモノヲ出ス事ヲ得可シ

是ヲ要スルニ本員ノ改革意見ニ因レバ、高等教育ヲ受クルモノ、修學年限ハ、從來ニ比スレハ幾分増加スルヲ免レス、即チ尋常小學ニ於テ一箇年ヲ増シ、且ツ中學校入學ノ爲メニハ大低小學全科ノ卒業ヲ了シタル後ナラサル可カラサルヲ以テ、從來ノ高等小學ノ二年ヨリ入り得タルモノニ比スレハ斯ニ又二箇年ノ日子ヲ要ス可シ但シ入學進級ハ凡ヘテ、學歴ニ據ラスシテ、實力試驗ニ據リテ採ルヲ可トスルカ故ニ特ニ英後ノモノニアリテハ其ノ就學年限ヲ短縮スル事ヲ得可キトス

然ルニ從來ニ於ケル一般改革論者ノ說ハ寧ロ此ノ修學年限ヲ外部ヨリ短縮セントスルモノニシテ、或ハ小學校ヲ通計六年ナラシメントシ、或ハ高等學校ヲ廢ス可キ事ヲ唱フ、然レトモ是等ハ皆本員ノ贊同スル能ハサル所ニシテ、彼等ハ歐米ノ大學中學校、其ノ程度ノ頗ル低卑ナルモノアルヲ引例スレトモ、本員ハ帝國カ何故ニ是ニ倣ハサル可カラサルカヲ恠ム、或ハ曰ク帝國ノ大學卒業生ハ其ノ卒業後ニ於テ銳意研究ヲ繼續スルモノ少シ、寧ロ卒業ノ期ヲ早クシテ卒業後ニ於ケル研究ヲ獎勵シ大發見大發明ヲ完成スルニ至ラシム可シト、然レトモ修學年限ノ短キ必スシモ卒業後ノ研鑽ヲ獎勵シ得ルモノニ非ス、却テ其ノ淺薄ナル知識趣味ヲ以テスル所ノ獨斷ノ弊ヲ致スニ過キサルナリ、蓋シ現今ニ於ケル大學卒業生ノ活動ニ置シキ原因ハ、一ニ其ノ實力無キト進取大成ノ氣少キトニ因ルモノニシテ修學年限ノ是カ累ヲナセルモノニ非ス、諸系ノ全ク異リタル歐文ヲ研究セサル可カラサルノ國土ニ於テハ、其ノ就學年限ノ延長ハ固ヨリ止ムヲ得サル所ニシテ、高等學校ナリ、外國語カ其ノ主要課目タルモノニ於テハ、猥リニ之ヲ廢シ去ルカ如キハ策ノ得タルモノニ非ス

本員ノ改革意見ヲ實施スル場合ニハ、各府縣現在ノ數箇ノ中學校中、閉鎖ス可ヘキモノ、或ハ一二校又ハ三四校ヲ生ス可キカ故ニ、是等ノ校舎ハ是レヲ農學校又ハ各種ノ工業學校ニ流用スルヲ便トス、只是ヲ農學校ニ適用スル場合ニハ充分其ノ所屬田園トノ關係ヲ考査ス可キモノトス

尙、彼ノ私立ノ中學校又ハ實業學校ハ、其ノ設備及ヒ程度等、凡ヘテ府縣立ノ中學校又ハ實業學校ニ準セシメ、其ノ監督ヲ嚴密ナルヲ要ス

帝國大國及ヒ諸他ノ高等教育機關ノ施設中、其ノ農業工業及ヒ商業ニ關スルモノニ就テハ、本員ハ其ノ設備ノ尙擴充セサル可カラサルモノアルヲ認ム、從來ノ如キ小規模ト不設備トヲ以テシテハ到底其ノ目的ヲ達シ得可キニ非ス

本員ノ改革意見中、尙特ニ注意ヲ要ス可キハ、就學者ノ實力ニ應シテ、其ノ相當ノ

學級ニ編入セラル、ノ便ヲ得シム可キ事ナリ、發明發見ヲ完成シ、或ハ學理ノ蘊奧ヲ闡カカ如キ人ニアリテハ、或ハ初メヨリ驚ク可キ天稟ノ才識ヲ有スルモノアリ、或ハ所謂大器晚成ノモノアリ、學資ノ關係上正則ノ教育ヲ受クル事能ハサルモノモ無キニ非ス、是等ハ其ノ實力ニ於テヨク或ル程度ノ教育ヲ受クルニ足ルモノアラハ、是ヲ其ノ程度ノ學級ニ編入スルノ便ヲ與フルハ、眞ニ人才ヲ遇スルノ途ナリ、正則ノ階段ヲ經過セサルカ故ニ、中學校高等學校帝國大學其ノ他ニ入學スル事ヲ得ストスルノ陋習ハ、何等ノ理由根據ヲ有セサルモノニシテ、國家カ國民ヲ教育スルノ目的ニ背反ス尙、中學校ノ入學資格ノ高上ニ就テハ、或ハ入學資格ノ高上ハ、自然ニ就學者ノ年齡ヲ増加スルニ至ル可ク、是レカ爲メニ外國語習得上ノ不利益ヲ伴フ可シト說クモノアルモ、本員ハ實際ノ事實ニ徴シテ、是レカ格別ノ弊害ヲ認メサルモノナリ

上來續述セル所ノ男子ノ教育ニ關スルモノナルカ女子ノ教育ニ關シテハ尙一言ヲ要スルモノナクンハアラス、女子教育ノ目的トスル所ハ固ヨリ良妻賢母ヲ作ルニアリ、然レトモ從來施設スル所ヲ見ルニ、徒ラニ普通ノ學識ヲ授ケテ空事ヲ談スルニ便ナラシムル職業ヲ重シシ生產ニ努ムルノ風ヲ養フ事ナシ、彼ノ課スル所ノ家政ノ如キモ、或ハ收入ヲ有スル富裕ナル家庭ヲ假設スルニ止マリ、其ノ弊ハ輕跳ニシテ空想ニ驅ラル、ノ見識ヲ與フルモ、眞ニ一家ノ妻母トシテ内助ノ實ヲ舉クルニ足ルノ性格ヲ養成スルニ至ラス、是等ノ點ニ就テハ慎重ノ矯正ヲ企畫スルニアラサレハ、教育却テ人ヲ損フノ誅ヲ免ル、能ハサルニ至ル可シ

男子ノ中學校就學ヲ制限シテ、實業學校ヲ擴張充實スルノ要アルカ如クニ、本員ハ亦女子教育ニ於テハ、其ノ高等女學校ニ對シテ技藝學校ヲ起シ、高尚ナル手工的職業ヲ得シムルノ途ヲ開クノ必要ヲ認ム、從來ト雖モ裁縫專習科及ヒ一二ノ女子職業學校ノ設ケナキニ非サルモ裁縫又ハ編物ノ如キモノハ、今日帝國一般ノ需要供給ノ狀況ニ徴スルニ職業トシテ成立セシムルニ足ラスシテ、單ニ技能トシテ被教育者ノ一身ニ遺ルニ過キサルノ憾ミナキ能ハス、故ニ裁縫編物ノ外ニ尙美術工藝ニ關スル技能ヲ授ケテ生產ノ道ヲ立ツルニ至ラシムルノ學校ヲ増加セサル可カラサルナリ

普通技藝學校ヲ振興スル同時ニ、高等技藝學校ヲ起シ、高等ナル美術的職業ヲ修ムルノ途ヲ開クハ、亦肝要ノ事ニ屬ス、而シテ此處ニ收容ス可キモノハ高等女學校ノ卒業生又ハ之レト同等以上ノ學識才力ヲ有スルモノタル可ク、高等女學校ノ入學程度ハ尙少シク之レヲ高上シテ、高等ナル技藝教育ヲ受クルニ足ルノ才識ヲ修得シ得ラル、モノヲ就學セシムルノ方針ヲ取り、家庭ヲ治ムルノ道ヲ教フルト同時ニ幾分豫備教育ヲ爲スノ注意アル可シ

是ヲ要スルニ本員ハ、女子カ良妻賢母タルト同時ニ、能ク生產ノ途ニ從フ事ノ可能ナルヲ認ムルモノニシテ、彼ノ男性女性ニヨリテ其ノ精力ニ差等ヲ附シ延イテ女子ヲシテ徒ニ安逸ナル生活ヲ營ムル弊害ニ陷ラシメツ、アルヲ默視スル能ハサルモノナリ

高等女學校ノ就學ヲ制限スル場合ニ於テハ、或ハ是ヲ閉鎖シ或ハ是ヲ縮小スルニ至ルモノアル可キカ故ニ、是等ノ校舎ハ勿論是レヲ技藝學校ニ適用スルヲ可トス

學制ノ完備ハ、眞ノ教育者ヲ俟チテ始メテ其ノ效果ヲ奏スル事ヲ得可シ、學制完備セリト雖モ、教育者其ノ人ヲ得サレハ、遂ニ亦徒ニ外觀ヲ裝フノミニシテ教育ノ實ヲ舉グル事能ハサル可シ、茲ニ於テ教育ノ養成策ヲ講スルノ必要ヲ見ルナリ

普通教育ニ於ケル教員ノ資格トシテ最重要ナルモノハ其ノ德操ニシテ、是ニ次クモノハ時勢ノ趨向社會ノ情況ヲ達觀スルノ明ニアリ、而シテ是ニ兼ヌルニ、其ノ教育ヲ

授クルニ必須ナル科學的知識ト技能トヲ要ス、是ヲ要スルニ教育者ノ任務ハ、一ニ被教育者ヲシテ國家社會ノ爲メニ其ノ天賦ニ從ウテ活動セシムルヲ得シカ爲メニ、其ノ適恰ノ地位ヲ撰擇シ、且ツ之レト同時ニ其ノ地位ニ向ヒ得ルノ品性智能ヲ附與スルニ在ルモノナルカ故ニ如何ナル程度ニ於テ其ノ教養ニ從事スルモノモ均シク皆前掲ノ資格ニ合スルモノナラサル可カラズ

此クノ如キ理想的ナル教育者ヲ撰擇養成スル事ハ固ヨリ困難ノ事業ニシテ、遽ニ是ヲ得ントスルモ必スシモ得ル可キモノニ非ス、只其ノ手段方法ヲ盡シテ一步ニシテモ此ノ理想ニ近ツカシムル企圖セサル可カラズ

從來ノ教員養成上、其ノ最モ振ハサルモノハ中等教員ノ養成トス、本員ノ見ル所ヲ以テスレバ彼ノ殆ント唯一ノ中等教員養成所タル高等師範學校ノ如キ、其ノ卒業生ノ中等教員トシテ遺憾ナキモノ定ニ少ク、其ノ多クハ比々トシテ皆學識淺薄ニシテ明知ナク、遂ニ中等ノ教育ヲ怠ルモノ無キニ非ス、從來ノ中等學校師範學校カ、實力無ク常識無キ卒業生ヲ出スニ過キサリシモノハ、學制ノ不備ナルニ基因スルモノ多シト雖モ、其ノ一半ハ是カ教育ノ任ニ當ルモノ、其ノ人ニ置シカリシニ由ラシムハアラサルナリ

高等師範學校カ、斯クノ如ク遂ニ良好ノ結果ヲ擧グル事能ハサルモノハ、其ノ就學者ヲ撰擇スル事未タ精シカラサルニ因ル、二箇年或ハ四箇年ノ教養カ、到底其ノ目的ヲ達スル事能ハサル以上ハ、宜シク其ノ初メニ當リテ撰擇ヲ嚴シシ、其ノ素質實力ノ業ニ已ニ俊秀ナルモノヲ取ラサル可カラズ、例ヘハ之レカ爲メニ合格者ノ數大ニ減シ、隨テ卒業生ノ數ノ減スルモノアリトスルモ、決シテ憂フ可キニ非ス眞ニ憂フ可キモノハ徒ラニ實力無キ多數ノ卒業生ヲ出スニアリ

今其ノ撰擇ニ關シテ注意ス可キモノヲ擧グレハ次ノ如シ
一 普通學ノ知識ニ關スル試問ハ、應用的知識ヲ主トシテ、且ツ少シク其ノ程度ヲ高上シ、試問ノ時限ヲ増ス可シ

二 口答試問ノ時限ヲ増加シ、人格才能ノ鑑識ヲ精密ニス可シ
次ニ是カ養成ニ就イテ現制中改革ヲ要スルモノハ

一 豫科ヲ廢シテ直チニ本科ニ入ラシム可ク、本科ニ於テハ現制ノ三箇年ニ更ニ一箇年ヲ加フ可シ、蓋シ現制ニ於テ豫科ヲ置ク所以ノモノハ、其ノ普通學ノ素養ニ乏シキヲ愛ヘテ是カ溫習ヲ爲サシメントスルモノニシテ、上述ノ試驗法ニ依リテ充分ノ採擇ヲ經タルモノハ其ノ必要ヲ認メサルナリ

二 研究科ノ外ハ總ヘテ給費生トナシ、其ノ給費額ハ制服食料及ヒ必須品ヲ辨スルヲ度トス可シ

女子高等師範學校ニ於テモ其ノ撰擇及ヒ養成法ハ略シテ是レニ準ス可キモノトス
次ニ實業教育ニ關スル教員ノ養成法ヲ述ブレハ、從來實業教員ヲ養成スルモノ、農科大學內ニ農業教員養成所アリ東京高等工業學校及ヒ高等商業學校內ニ、工業教員養成所及ヒ商業教員養成所アリ

農業教員養成所ニ於テ教養スル所ハ多クハ、府縣師範學校ノ卒業生ニシテ、一箇年ヲ以テ修了セシムルノ制ニテ、農業補習學校ニ赴任セシムル目的トス、農學校ノ制ヲ改革擴充スルニ當リテハ、頗ル多數ノ教員ヲ要ス可ク、隨ツテ是カ養成ヲ圖ラサル可カラズ、而シテ從來ノ農業教員養成所ノ如キ組織ニテハ、能ク良好ノ教員ヲ養成シ得可カラサル事論ヲ俟タル所ニシテ、教員志願者ノ撰擇養成ニ就イテハ、是レニ充分ノ改革ヲ加ヘサル可カラズ、今之レカ撰擇養成上注意ス可キ點ヲ擧グレハ

一 普通學ノ知識ハ略シ高等師範學校ノ入學試驗ニ準スヘシ
二 志願者ノ地方農事及ヒ農家經濟ノ實況ニ通セルモノヲ採ル可シ
三 口答試驗ニ因リ性格才能ヲ精密ニ考察シテ農業教員タルニ適スルモノヲ取ル可シ
四 修學年限ヲ三箇年トナシ必要ノ學識ヲ授クルト同時ニ、實地ノ施設經營ニ習熟セシム可シ

五 各專攻ノ科目ヲ置イテ是レニ關スル研究ヲナサシム可シ
六 學資支給ハ高等師範學校ニ準ス可シ

工業教員商業教員水產業教員ノ養成法モ亦、略シテ同一ノ精神ヲ以テ、是カ改革ヲ講スルヲ要ス、只商業教員ニ於テハ、カメテ商業ニ關スル興味ト才幹トヲ有スルモノヲ採ル可ク、工業教員及ヒ水產業教員ニアリテハ、其ノ特殊ノ技術ニ向ツテ攷究ノ興味ヲ有スルモノヲ取リ、其ノ教養モ亦實地ノ鍛練ヲ期ス可シ、是レヲ要スルニ實業教育ニ於テ、其ノ教員ノ必須ノ資格トス可キ處ハ、德性ノ圓滿ヲ求ム可キハ固ヨリナリト雖モ、實業的生產ニ趣味ヲ有シ且ツ實業的營爲ニ對シテ明晰ナル觀念ヲ有スルニアリトス

中等教員ノ養成法ハ略シ上述ノ如シ、次ニ是カ任用上一二ノ注意ヲ述ヘントス
一 高等師範學校及ヒ教員養成所ヲ卒業シタルモノ、服務年限ヲ延長シ、初メヨリ教育ニ身ヲ委ヌルノ精神アルモノヲ採擇ス可シ

二 前項ノ卒業生ニ非スシテ教員ヲ志望スルモノニ對シテハ、帝國大學ノ卒業生ト雖モ其ノ性格ノ適否、知識技能ニ關シテ政府當局ノ充分ノ考察ヲナシ其ノ適切ナルモノヲ取ルヲ要ス

三 轉任ヲ制限シテ教養薰化ノ實ヲ擧ゲシムル事ヲ企圖ス可シ
四 政府當局ハ其ノ實績ノ良否ニ就キ精密ナル觀察ヲ下シ保護獎掖ノ途ヲ開クヘシ

小學教育ノ教員養成所タル師範學校ノ制モ亦上來所述ノ精神ニ因ル可ク、特ニ常識ノ養成ニ重キヲ置キ應用ノ才能ヲ發展セシムルヲ要ス、彼ノ歴史及ヒ地理ノ如キモノ、短時限中ニ於ケル指示カ徒ラニ記載ノニ流レテ、延イテ小學校教育ノ上ニモ亦記載ノ注入的ノ弊ニ陷レルモノアルハ遺憾ナリトス可キ所ニシテ、其ノ根源ニ溯リテ特ニ矯正スル所アルハ、眞ニ緊要ノ事ニ屬セリ

以上ハ本員ノ教育施設意見ノ大要ニシテ、此ノ他尙、音樂美術等ノ技藝教育ニ關シテ云ハント欲スルモノナキニ非サルモ、今ハ爰ニ是レヲ論セサル可シ

如上ノ施設ヲ爲スニ當リテハ、國庫及ヒ府縣ハ鉅大ノ支出ヲ要スルモノアラシモ、然レトモ是固ヨリ當然ノ事ニ屬スルカ故ニ、決シテ躊躇ス可キモノニ非ス、文部省ハ充分ニ是レニ關スル調査ヲ遂ケテ議會ノ協贊ヲ求メラル、所アル可ク、而シテ本員ノ我カ議會力能ク是レニ協贊ヲ與フルニ吝ナラサル可キヲ信セントスルモノナリ

終リニ茲ニ本員ハ、我カ行政機關ノ內治ニ關スルモノニ就イテ概評ヲ試ミ、爲政者ノ注意ヲ促ス所アラントス

第一ニ本員ハ現時ニ於ケル監獄ヲ觀察シテ、其ノ施設カ頗ル本員ノ意ヲ得タルモノアル事ヲ告白スルニ憚ラス、其ノ囚徒ノ爲メニ職業ヲ撰擇シ指導スルノ懇切ナル事ニ於テ、規律ノ嚴正ニシテ而モ苛酷ニ陷ラサルノ點ニ於テ、教誨誘導ノ略、其ノ道ヲ盡セル事ニ於テ、頗ル成功ニ近キモノアルカ如シ

本員ハ其ノ規律嚴正ニシテ能ク秩序ヲ保テルモノアルノ點ハ、是レヲ我カ一般生產界

ニ移シ、我カ生産界ヲシテ其ノ生産ノ實績ヲ舉クル事ニ一段ノ進歩ヲ得シメシ事ヲ望マサルヲ得ス、濠洲ニ於ケル生産業カ今日ノ隆昌ヲ致セルモノハ、皆規律秩序ノ整齊ニアリ、彼ノ喫煙雜談等ニ貴重ノ時間ヲ空費シテ、アルハ我カ一般生産界ノ通弊ニシテ是レカ監督ヲ嚴ニスルハ目今ノ急務ナリ、但シ茲ニ少シク注意ス可キハ、彼ノ工場主カ其ノ女工等ニ對スル管理徒ラニ苛酷ニ流レテ同情無キモノアル事ニシテ、斯クノ如クハ其ノ生産ハ却テ漸次衰微ヲ免レサルニ至ル可キ事ヲ記憶セサル可カラス、規律ノ紊亂ト工場管理者ノ苛酷トハ、其ノ生産物ノ粗製濫造ヲ來スノ原因トナルコト多シ、因ニ本員ノ視察シタルハ、香川岡山大阪東京栃木機手青森秋田ノ諸監獄ナルカ、此ノ内青森監獄ハ農ヲ以テ專業ト爲スモノニシテ其田園ハ整然トシテ一般ノ模範ニ供シテ可ナリ殊ニ廢物利用ノ點ニ於テ毫モ間然スル所無ク本員ノ最モ賞賛措ク能ハサルモノニ屬ス又機手秋田ハ工業ニ農業ヲ兼ヌ其工業及ヒ農業亦本員ノ意ヲ得タルモノニ屬ス其ノ他各監獄ハ何レモ一般農界又ハ工界ノ作業ニ比シテハ大ニ進歩シタルモノアリ、是レ一ハ規律ノ整齊ナル事ト、一ハ當局者カ其ノ施設經營ニ力ヲ用ヒテ改善ヲ圖レルトニ因ルモノニシテ、典獄及ヒ所屬吏員ハ必スシモ其ノ農業工業ヲ知レルニ非サルモ、常ニ適宜ノ指導者ヲ備ヘル事、及ヒ業務依頼者カ、或ハ發明ノ機械ヲ齎ラシ或ハ熟練ノ技術者ヲ派シテ其ノ技術ヲ傳ヘツ、アルニ因ルモノニシテ、是レカ爲メニ囚徒中、其ノ作業ニ競争的勸勉ヲナスモノアルヲ目撃スル事アルハ、本員ノ喜ハサルヲ得サル所ナリ

只憾ム可キハ一般企業家資本家ナルモノ、此ノ良好ノ勞役者タル囚徒ニ著眼スルモノ少ク隨テ此ノ囚徒ヲ利用スルモノ少キ事ニシテ、若シ大資本ヲ投シテ或ハ一監獄又ハ數監獄ノ囚徒ヲ一工業ノ爲メニ使役シ正當ノ勞力賃銀ヲ支出スルモノアルニ至ランカ、其ノ工業製作物ハ毫モ粗製濫造ニ陥ルノ憂ナク、能ク整一ノ物品ヲ得可キト同時ニ囚徒モ亦其ノ賃銀ノ増スニ從テ漸ク生産ヲ營ム事ヲ好ムニ至リ、以テ正業ヲ樂ムノ人トナルモノアルヲ得可ク、直接間接ニ社會ニ貢獻スル所渺カラザル可キヲ信ス

第二ニ本員ハ、我カ警察制度ノ整備ト第三ニ郵便事務ノ發達セルモノ有ル事ヲ認ム、是等ハ皆歐米ノ現況ニ比較スルニ敢テ遜色ナカル可ク、當局全般ハ其ノ勤勞ヲ矜ルニ足ル可シト信ス

翻テ文部省及ヒ農商務省ノ施設ヲ見シカ、一般國民カ其ノ市町村稅ニ因リテ非常ノ負擔ヲ爲シテ經營シツ、アル所ノ小學教育ノ如キハ稍其ノ面目ヲ見ル可キモ、其ノ他ノ施設ニ至リテハ、本員ノ満足シ得ルモノ定ニ少シ、文部ト農商務トノ如キハ其ノ振作ト振ハサルトニ因リ直ニ國民ノ休戚ニ關スルモノニシテ、延イテ國家ノ盛否ヲ來スモノナルカ故ニ、必スシモ陸海軍ニ比シテ輕重ヲ附ス可キニ非ス、共ニ堂堂タル一省ヲ構ヘテ而シテ遂ニ無能ニ畢ラントスルノ誹リヲ受クルモノアルハ何ゾヤ本員ハ我カ文部及ヒ農商務ノ當局者カ尙少シク奮フ所アリテ、悔ヲ千載ニ遺スカ如キ事無キヲ得シ事ヲ望マサル能ハサルナリ

○議長(松田正久君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、田口卯吉君ヨリ病氣ノため、昨十五日ヨリ十二日間請假ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、許可致シマス、尙御諮リ致シマスガ、栗原宜太郎君ハ病氣ノ故ヲ以テ、市町村會議員ノ選舉ニ關スル法律案ノ委員ノ辭任ヲ申出ラレマシタ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス、而シテ此委員ハ議長ノ指名デアリマシタカラ、其補闕トシテ横田虎彦君ヲ指名致シマス——井上甚太郎君ハ米作ノ改善增收ニ關スル件、及實業教育ニ關スル件ニ付イテ、質問演說ヲ致サレマス、井上甚太郎君

(井上甚太郎君登壇)

○井上甚太郎君(五十二番) 私ハ米作ノ改善增收ニ關スル質問書ヲ提出致シマシタ、此質問ハ今回ニ始マリマシタノデハゴザイマセヌ、私ガ議員ニナリマシテ、初メ十八議會ノトキニモ、之ヲ述ベマシタノデハゴザイマス、ソレカラ又十九議會ハ、御承知ノ通り議會ニ至ラズシテ解散ニナリマシテ、已ムヲ得マセヌカラ、二十議會ニ於キマシテモ、此建議ヲ致シタノデハゴザイマス、サウ致シマシテ、私ガ此質問書ヲ提出致シマシタ事柄ニ於キマシテハ、本員ハ何時モ議會閉會ノ後ハ、全國ヲ周遊致シマシテ、十分此米作ノ作況ニ就キマシテ、十分ノ調査ヲ遂ゲテ居ルノデハゴザイマス、十九議會ニ於キマシテ、即チ建議ヲ致シマシタノモ、先ヅ米作ノ改良ト申シマスルコトハ、非常ニ重大ナモノナルカラ、是ニ對シマシテハ、先ヅ種ヲ選ル——鹽水種ヲ選ル、ソレカラ共同苗代ヲ作ル、サウシテ共同ノ力ヲ以テ、サウシテ害蟲ヲ驅除シナケレバナラヌノデアルハ、是ハナカク唯論達ヤ或ハ訓令ナドト云フモノデ、遂行シ得ベキモノデナインノデアル、故ニ農商務大臣ハ宜シク省令ヲ發シテ、全國一般ニ、此害蟲ノ驅除ヲ行ハルコトヲ、ヤラナケレバナラヌノデアルト云フコトヲ、建議致シマシテ、十九議會ニ——二十議會ニ於キマシテ、私ハ建議ヲ致シマシタ、委員會モ設ケラレマシテ、ソレデ私ハ委員長ニナリマシタ、委員會ガ滿場一致ヲ以テ、此建議ヲ容レマシタノデハゴザイマス、而シテ其委員長ハ、報告ヲ本場ニ致シマシタ、所ガ滿場一致ヲ以テ、御容レニナリマシタノデアル、取モ直サズ滿場一致ヲ以テ建議ヲ致シタノデハゴザイマス、然ルニ農商務大臣ハ、省令ヲ發シマシタノデハゴザイマス、即チ院議ヲ重シナイン、院議ヲ覆視シタノデハゴザイマス、併ナガラ私ハ必ヤ農商務大臣ハ、農會ニ訓示ヲシタトカ、農事大會ニ諮問ヲシタトカ云フコトハゴザイマスカラ、幾分出來テ居ルデアラウト存ジマシテ、閉會ノ後ハ全國ヲ周遊致シマシタノデハゴザイマス、所ガ豈圖ラン何ニモ出來居マセヌノデハゴザイマス、是ハ私ハ熊本カラ奥州マデスト參リマシタノデハゴザイマス、サウシテ昨年來時局々々ト云フコトヲ、農商務省ノ口實ニシテ、吏員ヲ即チ派出ヲ致シテ居ルノデアリマス、其吏員タルモノガ、ドウ云フ限ヲ以テ、即チ苗代ヲ視テ居ルカト云フコトヲ、今日茲デ質サンケレバナラヌノデアル、先ヅ共同苗代ト云フモノガ出來テ居ル所ハ、誠ニ少ナインノデアル、殆ト全般ハ其制裁ハ付イテ居ナイノデハゴザイマス、デアルカラ農商務大臣ガ、農會ニ訓示ヲシタトカ、諮問ヲシタトカ云フコトハ、何ニモ效ハナイノデアル、皆無ナノデアリマス、サウシテ即チ之ヲ考ヘテ見マセバ、共同苗代ヲ設ケテ、共同害蟲ヲ驅除スレバ、一段歩ニ付イテ、害蟲ノ害ヲ免ゲルモノガ、一斗ト見マシタトコロガ、少ナク見積テ二百七十萬石ノ米ガ、今日出來ルノデアリマス、況ヤ此共同苗代ヲ作リマシテ、共同害蟲ヲ驅除致シマセバ、何ゾ一斗ノ增收ノミナランヤデハゴザイマス、是等ノ大利益ト云フモノハ、實ニ唯農商務省ノ省令ノ下ニ、是ハ得ラレルノデハゴザイマス、然ルニ其職ヲ農商務省ニ奉ジナガラ、議院ガ滿場一致ヲ以テ建議ヲ致シタコトヲ、容レナイト云フノハ、ドウ云フ譯デアラカ、全體時局々々ト云フコトヲゴザイマス、何等ノ事實デアル、先ヅ實際ヲ私ガ申上ゲマセバ、先ヅ出來テ居ナイノデハゴザイマス、出來テ居ル所ハ、九州デ幾部分ハ共同苗代ト申シマス、ドウカト申シマスルコトハ、十分申サレマセヌケレドモ、餘程其出來テ居ルト云フ所ハ、幾ラカアルデハゴザイマスガ、先ヅ出來テ居

ナイデゴザイマス、ソレカラ東海道ヲ通テ歸リマシテモ、總テ諸君ハ御承知デゴザイマセウ
ガ、農商務省ノ御熱心ナル短冊形ナルモノハ、殆ド出來テ居ルケレドモ、短冊形短冊ト
云フモノハ、密接致シテ居リマシテ、殊ニ其中ニ草が生ヘテ居ルデアリマス、短冊形ヲ
作ルト云フモノハ、即チ短冊形短冊ト間ニ、人ガ通入シテ、手デスウヤセテ取ルノハ、即
チ短冊形ノ效用デアアル、農商務省ノ唯形式ノ唯書面デアルコトヲ以テ、時局ト名
ヅケテ居ルデハナカト、私ハ思フデアアル、現ニ出來テ居ナイ、ソレカラ昨年季節モ宜シ
ウゴザイマシタカラ、我同僚中ノ近江谷榮次君ト、私ハ御料牧場ニ同行致シマシタ、其時
ニ兩國カラ成田マデノ間ニ於テ、苗床ヲ見セテ參ッ、一向苗床ノ效用、短冊形ノ效
用ハナイ、斯ノ通、實ニ農商務省ノ眼下ノ所ハ、一向出來テ居ナイ、ソレカラ上野カラ
巖手縣マデノ間ハ、ヤハリ同様デゴザイマス、ソレデ其農商務省ハ時局ト名ヅケテ、國庫
カラ支出シタコロノ旅費ヲ費シテ、吏員ヲ派出シテ、吏員ハ之ヲ何ト見タデアアル、今
日ハドウデアアル、非常サドウモ現政府ハ、人民ノ懷ニハ金ヲナンボデアアル、取上ゲルト云
フコトハ、一方ニ努メテ居ル、民力ノ養成ハ農商務省ハ任ジナケレバナラヌハ拘ハラズ、
少シモ是等ニ注意ラシナイ、ソコデ我輩ハ疑フデアアル、農商務大臣ハ高位高官ノ地位ヲ
得テ、實地ハ少シモ見ナイ、サウシテ時局ヲ救済シ得ラレモト見テ居ルデアラウト、私
ハ思フ、ソコデ私ハドウツ農商務大臣自ラガ、地方ニ出テ往ッ、サウシテ其實際ヲ見ル
ガ宜イデアアル、斯ノ如キコトデアッ、實ニドウモ遺憾千萬ノコトナンデゴザイマス、私ハ
決シテ之ヲ長ク申スデアリマセウガ、此日本ノ國ヲドウスルデアアラウカ、近ク申シマス
レバ、農商務省ノ舉動ヲ見ルト云フト、私ハ實ニ怪シニ堪ヘナイデアアル、何故カト云ヘ
バ、本年アタリモ豫算ニドウ出シタ、日本ノ農會ニ十五萬圓ノ金ヲ出シタコト云フトハ、
前ニアル、十四萬五千圓ノ金ヲ出シタデアアルモノヲ、五萬圓ヲ削減シテ九萬五千圓デ
ヤッテ居ル、九萬五千圓ノ節儉シタハ何事デアアル、農會ハ無用ナラ廢シテシマフガ宜シ
イ、益今日ノ農會ヲ利用スルナラバ、其費用ハ之ヲ倍從シテモ宜イデアアル、凡ソ農
商務省ノヤルコトハ、斯ノ如キモノデアアル、ノミナラズ、農商務省ハ全國各府縣ノ狀況ヲ
知ラヌデアアル、(簡單ト呼フ者アリ)マア少シク、簡單ト云ウテモ暫時ハヤランナ
ラヌデス、先ニ鹿兒島縣ノ知事ヲシテ居タコロノ加納久宜君、其人ハドウデアアル、鹿
兒島縣下ニ於テハ、石灰ト云フモノヲ用非ルコトハ出來ナイ、斯リ云フ即チ行政上ノ處
分ヲシタ、其時ニ鹿兒島縣ハ非常ニ激昂シタデアアルケレドモ、行政官ハ行政官ノ權
能ヲ以テ、見ル所ヲ以テヤッタカラ、毫毛意ニ介セズ、ヤリ遂ゲタノデ、鹿兒島縣人ハ、
今日其德ヲ稱シテ止マヌデアアル、ソレカラ次ニハドウデアアル、熊本縣ハドウデアアル、
ノ實ニ蕃殖ノ甚シイ所デアアル、然レニ德久知事ハ、害蟲驅除委員會ト云フモノヲ置
イテ、郡長ヲ以テ即チ害蟲驅除委員長トシ、警察官或ハ駐在巡査ヲ以テ、即チ委員ト
致シマシテ、サウシテ即チ害蟲驅除シタ、固ヨリ縣令ヲ發シテヤッタデアアル、是ニ背
モノガアレバ縛タノデアアル、數人ヲ縛上ゲテ、サウシテ即チ之ヲ遂行シタデアアル、爲ニ今
日熊本縣ニハ蟬蟲ト云フモノハ、撲滅スルニ盡シテ居ルノデアリマス、斯ル事柄ハ、
地方官ニ於テ斷行シ得ラレモノハ、撲滅スルニ盡シテ居ルノデアリマス、斯ル事柄ハ、
シテ、何トシテ即チ全國ニ對シテ、此位ノコトガ出來ヌデアリマス、世ノ或人ハ謂
フ、農商務大臣ハ無能ナリト、我輩ハ之ヲ信ゼヌケレドモ、我輩ハ之ガ辯疏ニ苦シム
デアアル、實ニ今日ノ農商務大臣ハ、其職權ヲ十分ニ企畫シテ、而シテ此民力ヲ養成セ
ンケレバ、此政費ノ多端ノ時ニ、人民ハ持テヌデアリマス、唯空位ヲ守ッ、此空位
ト云フノハ取消シマス、高位高官ト云フ地位ヲ擁シテ、而シテ爲スコトナイト云フナラバ、
彼ノ無能大臣ト云ハレドモ、我輩ハ辯疏ガ出來ヌデアリマス、デゴザイマス、我輩

ハドウシテモ、農商務大臣ハ院議ヲ輕シテ、滿場一致ノ建議ヲ容レルト云フトノ趣
意ヲ、茲デ辯明シテ貰ハナケレバナラヌ、若モ彼ノ大臣ガ何トカカントカ、口實ヲ以テ、之
ヲ避クルトキニ於テハ、滿場一致ノ決議ヲ以テ、農商務大臣ヲシテ、此院議ヲ執行セシ
ムルト云フトコトハ、私ハヤランケレバナラヌデアアル、又是ハ今日平和ノ時デアラナラバ宜
イケレドモ、此一舉ニ於テ五千萬乃至七千萬圓ノ利益ヲ生ズルコトヲ、眼前ニ見ナ
ラ、之ヲ見通スコトハ、私ハ出來ヌデアリマス、(簡單タケト呼フ者アリ)ドウカ諸
君ハ長イト仰シヤイマスケレドモ、私ガ即チ此報告ヲ申上ゲマスニハ、決シテ机上デハナイ
ノデ、數十日ノ間、東西ヲ奔走シテ、即チ目ニ血ヲ入レテ見テ參ッタノデアリマス、
農商務省ノ役人ト、私ハ對論致シテモ差支ナイ、農商務省ノ役人ハ、或ハ盲目カモ知
レヌ、ト云フモノハ、ドウ云フ譯カト云フト、一例ヲ舉ゲマス、元來農商務大臣ノ農會
ヘノ訓示トカ何トカ云フ中ニ、麥ノ黑穗ト云フモノヲ、去ラナケレバナラヌトアル、拔取
ナケレバナラヌト云フトコトヲ言ヒナガラ、農商務省カラ派遣シタコロノ役人ノ通ッテ
ヲ見マスレバ、黑穗ハ澤山デアアル、是ハ即チ香川縣ニ、加納農會幹事長ガ來ラレテ、其
時ニ眼前デ私ハ申シマシタ、ソレカラ又或時ハ東北ニ於テ、通ッテ苗代ト云フノガゴザイ
マス、一旦苗ヲ作リマシタトキニハ、其歲抛テ置ク、何デモ作ラヌ、是ハ明治二十六年ニ
視察ヲ致シマシタ其時ニ、農事ノ改良論ト云フ書物ヲ書キマシテ、甚ダ謂ハレナイコトヲ
論破致シマシタ、政府ニモ差上ゲ、又諸君ニモ差上ゲマシタ、其時ノ議員諸君ニ差上
ゲマシタ所ガ、十年ヲ經テ、一昨年參ッテ見タコロガ、ヤハリ通ッテ苗代ガアル、是モ即チ
十九議會ニ於テ、茲デ私ハ論シタ、是モ農商務大臣ハ、廢センケレバナラヌト云フト
ヲ、農會ナリ何ナリ、訓令トカ訓諭トカヲ、致シタデアリマス、昨年參ッテ見
マスレバ、依然トシテ通ッテ苗代ガアル、果シテ如何デアアル、農商務大臣ノ威信ガ農會ニ行
ハレテ居ルカト云フト、行ハレテ居ラヌ、農商務大臣ノ威信ノ行ハレラヌヤ否ヤト云フト
ハ、我輩ハ關セズ、唯我邦ノ國力ヲ失フコトヲ恐ルニ於テハ、一步モ許スコトハ出來ヌ
デアアル、宜シク農商務大臣ハ考ヘテ、大ニ責任ヲ以テ答辯ヲセラレンコトヲ望ムデアリ
マス、ソレカラ實業ニ關スル教育ノコトニ就キマシテ、私ハ質問書ヲ提出致シマシタ、ソレ
ハ諸君ガ御承知デラウト思ヒマス、ソレニ付イテハ十分意見ガゴザイマシタ、茲デ長ク辯
ズル積デゴザイマシタケレドモ、私モ辯ズルニ堪ヘマセズ、諸君ハ尙堪ヘラレマイト思ヒマス
カラ、是ハ速記録ニ其儘載セマスカラ、是モ即チ實際申シマスレバ、現文部省ト云フ
モノハ、頗ル迂闊ナモノダ、何故カト云ヘバ、大體ダケ申上ゲマス、全國ノ中學校ト云
フモノハ、實ニ夥シイ數デアアル、其卒業者ノ多クガ、實業ハドウカト云フト、實ニ偏頗ニ
シテ、其事ハ十分ニ私ハ認メタモノヲ、速記録ニ載セマスカラ、政府モ之ヲ十分御覽
下サイマシテ、御答辯ヲ願ヒ、又諸君モ十分ニ之ヲ御閱讀下サルコトヲ、偏ニ願ヒマス、
モウ是デ相濟ミマシタ

○議長(松田正久君) 是ヨリ議事日程ニ付イテ會議ヲ開キマス、日程第一北海道
拓殖銀行法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス

第一 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

北海道拓殖銀行法中改正法律案

第六條ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七條第一項第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 爲替、荷爲替及北海道ノ產物ヲ擔保トスル貸付
同條第一項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

六 手形ノ割引
同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

拓殖銀行ハ前項第四號ニ依ルノ外仍北海道ノ產物ノ貯藏ヲ主タル目的ト
スル倉庫内ニ貯藏スル產業上必要ノ貨物ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ
得

第一項第六號ノ手形ハ割引依頼人ヨリ北海道ノ產物又ハ北海道ノ拓殖ヲ
目的トスル株式會社ノ株券債券ヲ擔保ニ供スルモノニ限ル

第一項第三號第四號第六號及第二項ノ事業ニ使用スヘキ金額ハ第一項第
一號及第二號ニ依ル貸付金總額ヲ超過スルコトヲ得ス

第八條ニ左ノ二項ヲ加フ
二十人以上ノ農業者又ハ工業者申合セ連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出デタル
トキハ其ノ信用ノ確實ナルモノニ限り五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法
ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

產業組合法ニ依リ設立シタル無限責任ノ信用組合販賣組合購買組合及生
產組合ニハ五箇年以内ニ於テ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコ
トヲ得

第九條ノ二 北海道拓殖銀行ハ日本銀行、日本勸業銀行及日本興業銀行ノ
代理店トナルコトヲ得

第十二條ニ左ノ一項ヲ加フ
商法第九十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用セス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ハ北海道ノ拓殖上ニ就キマシテ、金融ノ便宜ヲ圖
リマシメ、提出致シマシタ案デゴザイマス、此事柄ハ皆左程大シタコトデハゴザイマセ
ス、數條ガゴザイマスガ、其中テ手形ノ割引ノコト、ツレカラ爲替ノ便宜ヲ開キマスコト、其
外「北海道ノ產物ノ貯藏ヲ主タル目的トスル倉庫内ニ貯藏スル產業上必要ノ貨物ヲ
擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フモノヲ加ヘマシタ、此北海道ニ於キマシテ、今日
ハ倉庫ガ缺乏シテ居ルノデゴザイマス、農民ガ收穫致シマシタコトノ貨物ガ、ツレカラ倉
庫ニ入レテ、十分ナ便宜ヲ得ルト云フ途ガ開ケマセヌノデ、此倉庫ノ發達致シマスルコト
ヲ期スルガタメニ、此條ヲ加ヘマシタノデゴザイマス、尙委細ノコトハ、委員會ニ於テ説明
致シマス

○議長(松田正久君) 發言者ガナケレバ、日程第二右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委
員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ數ハ九名、議長指名
ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、本案ヲ議長指名ノ九名ノ委員ニ附託
スルコトニ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ其通決定ヲ致シマス、日程第三日本勸業
銀行法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

第三 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出、貴族 第一讀會
院送付)

日本勸業銀行法中改正法律案
日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第二十一條ニ左ノ一項ヲ加フ
前項ノ據置年限ハ相手方ノ希望ニ因リ之ヲ定メサルコトヲ得

第二十八條第一項中「之ヲ拂込マサルトキ」ノ下ニ「又ハ期限前ノ償還要求
ニ對シ其ノ拂込ヲ爲ササルトキ」ヲ加フ

第三十一條ノ二 日本勸業銀行ハ其ノ業務ニ附帶シテ委託金ヲ受領シ又ハ
地金銀若ハ有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得

第三十二條第一項中「營業上餘裕金」ヲ「前條ノ委託金又ハ營業上ノ餘裕金」
ニ改メ第二項中「前項ニ依ルノ外」ノ下ニ「前條ノ委託金又ハ」ヲ加フ

第三十六條ノ二 日本勸業銀行ハ第二十三條ニ依リ期限前ノ償還ヲ受ケタ
ル場合ニ於テハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ金額ヲ限度トシ勸業債券ノ買
入消却ヲ爲スコトヲ得

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
○政府委員(阪谷芳郎君) 本案モ至ッテ簡單ナ法律案デゴザイマスガ、是ハ今日ノ
勸業銀行法中ノ取扱ノ上ニ於キマシテ、登記ヲ致シマス場合ニ、現金ヲ授受スルニ、少
シ不便ガゴザイマス、ツレカラ期限前ニ償還ヲ受ケマシタ場合ニ、勸業債券ノ處分方ニ
就キマシテノ取扱ニ、少シ便宜ヲ缺キマスノデ、ツレ等ノ點ニ付イテノ修正デゴザイマス、
是モ委員會ニ於キマシテ、尙詳細ニ辯明ヲ致シマス

○議長(松田正久君) 發言者ガナケレバ、日程第四右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委
員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ九名ノ委員ヲ、議長指名ニ願ヒマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)
○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ
委員ニ付託スルコトニ決シマス、議事日程第五外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案
ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス

第五 外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案(政府提
出、貴族院送付) 第一讀會

外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案
外國ニ於テ銀行業ヲ營ムモノニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規程ヲ設ケ之ニ準
據セシムルコトヲ得

(政府委員阪谷芳郎君登壇)
○政府委員(阪谷芳郎君) 本案ハ極メテ簡單ナル法律デゴザイマスガ、是ハ此滿
韓地方及支那地方ニ於キマスル銀行業ニ對シマシテ、現行ノ法律デハ、多少ノ不便ヲ
感シマスル場合ガゴザイマスルノデ、其場合ニ於キマシテ、勅令ヲ以チマシテ、特別ノ規
定ヲ設ケタイト、斯ウ云フ趣意デゴザイマスル、是ハ差向キノトコロハ、此度ノ朝鮮國ニ於
キマスル、第一銀行ノ業務ガ、彼國ノ金庫事務ヲ取扱ヒ、尙紙幣ノ發行ヲ致スト云フ

ヤウナコトカラ、多少取締ノ規定ヲ設ケル必要モゴザリマスルシ、又軍用切符ノ處分ニ就キマシテハ、之ヲ整理致シマスル場合ニ、相當ナル銀行ニ、之ヲ托サナケレバナラヌ、其場合ニ於キマシテハ、又相當ナ取締ヲ要スルト云フヤウナ、種々ナルコトガゴザリマスルノデ、ソレニ就キマシテハ、現行ノ法律ノ内デハ、多少不備ヲ感シマスル場合ガゴザリマスルノデ、其場合ニ於キマシテハ、勅令ヲ以チマシテ、相當ノ規定ヲ設ケテ、處理上差支ナイヤウニ致シタイト云フ考デゴザリマス

○武藤金吉君(九十一番) 政府委員ニ質問、唯今阪谷政府委員ノ御話ニ依リマスルト、此軍用手票ニ付テ、整理ニ云フコトガゴザリマシタガ、整理ト云フコトハ、確ニ紛雜ガ出來テ居ルトカ、若クハ不整理デアルト云フ御言葉デアラウト思フノデアリマス、ソレカラ一時ハ、大藏大臣カラ答辯ニナタ軍用手票ノ事ニ就キマシテハ、好良ニ實行サレテ居ルト云フ答辯デゴザリマスルガ、一昨日ノ大藏大臣ノ答辯ト、唯今阪谷政府委員ノ説明トハ、矛盾致シテ居ルヤウニ考ヘマスガ、其軍用手票ニ付テノ概要デ宜シウゴザリマスカラ、御答辯ヲ願ヒマス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯今ノ答辯ハ、別ニ抵觸ハ致シテ居ラヌ考デゴザリマスガ、軍用切符ノ概要ト申シマスルノハ、ドウ云フ御趣意デゴザリマス

○武藤金吉君(九十一番) 滿洲ニ於ケル軍用手票ハ、非常ニ割引ノ上ニ於テ、我國ノ不利益ヲ來シテ居ル、ソレカラ交換基金ノ事ニ付テ、非常ニ不足ヲ告ゲテ居ル、ソレガ露西亞ノ兌換銀券ト比ベテモ、非常ニ差アル、又現在牛莊ノ正金銀行ノ支店ニ於テノ取付ケノ有様等ハ、先日私が質問ノ趣意ヲ説明シタ通デアリマス、是等ノ點ニ付テハ、唯政府デモ整理ノ必要ヲ認メルノデアラウト思フノデス、ソレデ大藏大臣ノ説明ハ、一説明デハナイ、答辯ハ好良ノ結果ヲ來シテ居ル、實ニ事實ニ反スルノガ、甚シイノデ、實際政府ハ是等ノ不都合ヲ整理スルト云フコトハ、自らモ認メテ置イテ、其答辯ニ對シテハ、シラトシクモ好成績デアル、好良デアル、差支ハナイ、ソレカラ割引ハ時々高低ガアルト云フコトハ、之ハ勿論ノ話デアリマスケレドモ、之ハドウシテモ、軍用手票ニ付テハ、整理ノ方法、ソレカラ唯今出テ居ルノハ四千万、殆ド四千万圓ノ軍用手票ガ出テ居ルニ拘ハラズ、是等ヲ如何ニ處分スルカ、整理スルカト云フコトハ、答辯ニ言ハズシテ、此法律デ整理スル積リデアリマス否ヤト云フコトハ、御答ヲ願ヒタイノデアリマス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 滿洲ニ今日發行致シテ居リマス軍用切符ハ、七千餘万ノ多キニ達シテ居リマス、尤モ出納官吏ノ手ニ保管致シテ居ルモノモゴザリマスルカラ、實際市場ニ流通致シテ居リマス高ハ、三千乃至四千万ノ間デアラウト考ヘテ居リマス、此軍用手票ハソレト云フコトヲ期シテ居リマス、其一時幅湊致シテ居ルノデゴザリマス、又漸次此交換シ終ルト云フコトヲ期シテ居リマス、其一時幅湊致シテ居ルノデゴザリマス、ソレハ多少ゴザリマセウ、ソレハ同地ガ未ダ戰時ノ狀態ニアル上カラ、手ノ行届カヌ所モゴザリマスカラ、ソレハ多少免レマセウケレドモ、大體ノ上カラ御觀察ニナリマシテ、此軍用手票ト云フモノガ、此度ノ戰時財政ノ上ニ、如何ナル利益ヲ與ヘタカト云フコトハ、御推察ニ餘リアルト考ヘマス、ソレデ唯今申シマシタ、此法案ト多少ノ關係アルカノ如ク申シマシタノハ、結局ノ交換致シマスル場合ニ、政府ガ何時マデモ交換スルト云フコトハ、必要ガナカラウト、政府ハ考ヘテ居リマス、相當ナル金融機關、例ヘバ正金銀行ガ、既ニ彼處ヘ交換機關トシテ、今從事致シテ居リマス、是等ヲ一ツ擴張致シマスト云フコ

トモ、一ノ手段デゴザリマス、即チ正金銀行ヲ擴張致シテ、ソレニ交換ノ事務ヲ托シ、併セテ將來滿洲ニ於ケル、我國ノ商工業ノ金融上ノ便宜ヲ圖ルト云フ手段モ、アルト考ヘマス、ソレ故ニ軍用切符ヲ歲末ニ處分致シマスル場合ニ於テ、此法案ガ多少ノ關係ヲ持ツト云フコトヲ、併セテ申上ゲマシタ次第デゴザリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○武藤金吉君(九十一番) 續イテモウ一ツ御尋ヲ致シタイ、此軍用手票ガ軍用ノタメニ仕拂バカリデナク、私が聞ク所ニ據リマスルト、此正金銀行ノ方ヘ、取扱フ方ヘ、此軍用手票一々使ハナイトコロノ人ガ、唯交換ヲ致シタ

○政府委員(阪谷芳郎君) 唯交換ヲ致シタ

○武藤金吉君(九十一番) 續イテモウ一ツ御尋ヲ致シタイ、此正金銀行ノ方ヘ、取扱フ方ヘ、此軍用手票一々使ハナイトコロノ人ガ、唯交換ヲ致シタ

○政府委員(阪谷芳郎君) 此軍用切符ハ、陸軍省ガ經費ヲ仕拂ヒマス場合ニ、戰地デ、使ヒマスルノデスカラ、使ヒマシタトキニハ、別段ニ此札ニ下落ハナイノデ、ソレヲ交換致シマスルノニ、今日ハ戰時ノ狀態ニアルカラ、十分手が届カヌカラ、差ヲ生ジマス、其差ヲ生ジタノハ、或ハ商人、若クハ支那人カラ廉價買集メテ、交換ニ持ッテ來ルト云フコトモ、固ヨリ限ラレマセウ、併ナガラサウ云フ分ニ對シテハ、政府ハ成ベク交換ヲシナイ、善良ナル所持者ニ對シテハ、交換ヲ、主シテ力メテ居リマス、何分戰時ノ狀態ニ於テ、多數ノ人ノコトデゴザリマスカラ、行届カヌ場合モナイトハ限リマセウ

○武藤金吉君(九十一番) ソレデハ政府モサウ云フ交換ヲシタ人ガアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居リマス

(政府委員阪谷芳郎君登壇)

○政府委員(阪谷芳郎君) 此軍用切符ハ、陸軍省ガ經費ヲ仕拂ヒマス場合ニ、戰地デ、使ヒマスルノデスカラ、使ヒマシタトキニハ、別段ニ此札ニ下落ハナイノデ、ソレヲ交換致シマスルノニ、今日ハ戰時ノ狀態ニアルカラ、十分手が届カヌカラ、差ヲ生ジマス、其差ヲ生ジタノハ、或ハ商人、若クハ支那人カラ廉價買集メテ、交換ニ持ッテ來ルト云フコトモ、固ヨリ限ラレマセウ、併ナガラサウ云フ分ニ對シテハ、政府ハ成ベク交換ヲシナイ、善良ナル所持者ニ對シテハ、交換ヲ、主シテ力メテ居リマス、何分戰時ノ狀態ニ於テ、多數ノ人ノコトデゴザリマスカラ、行届カヌ場合モナイトハ限リマセウ

○武藤金吉君(九十一番) ソレデハ政府モサウ云フ交換ヲシタ人ガアルト云フコトヲ、御認メニナッテ居リマス

○政府委員(阪谷芳郎君) アルデアラウト想像致シマス

○武藤金吉君(九十一番) 宜シウゴザリマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、議事日程第六、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ十八名ノ委員、議長指名

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、本案ハ議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルコトニ決シマス、議事日程第七國稅徵收法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス 若槻政府委員

第七 國稅徵收法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

國稅徵收法中改正法律案

第四條ノ八中「書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ」ノ下ニ「又ハ帝國内ニ住所、居所アラサルトキ」ヲ加フ

第二十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

差押物件ノ保管證ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

第二十三條ノ二 債權及所有權以外ノ財產權ノ差押ヲ爲ストキハ收稅官吏ハ之ヲ其ノ權利者ニ通知スヘシ

前項ノ財産權ニシテ其ノ移轉ニ付登記又ハ登録ヲ要スルモノニ在リテハ
差押ノ登記又ハ登録ヲ關係官廳ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ニ付テモ
亦同シ

第二十三條ノ三 不動産又ハ船舶ヲ差押ヘタルトキハ收稅官吏ハ差押ノ登
記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ
差押ノ爲不動産ヲ分割又ハ區分シタルトキハ收稅官吏ハ分割又ハ區分ノ
登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ合併又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ
第二十三條ノ四 差押ノ解除ニ關シテハ登録稅ヲ納ムルコトヲ要セス
第二十四條ニ左ノ一項ヲ加フ
債權及所有權以外ノ財産權ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ハ國稅徵收法ノ中デ、書類ノ調達、差押物件
ノ印稅ノ事、債權所有權以外ノ財産權ノ差押等ニ關シマシテ、現行法ノ不備ノ所ヲ
補ヒマシル法律デゴザイマス、極ク簡單ナ法律デゴザイマスカラ、ドウカ御審査ノ上ニ、御
協贊ヲ與ヘラレニコトラ希望致シマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、日程第八、右議案ノ審査ヲ付託スベキ委
員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ議長指名 九名ノ委員ニ付託セラレニコト
トニ、御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコ
トニ、御異議ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ其通決定致シマス——日程第九在外指定
學校職員退隱料及遺族扶助料法案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ヲ省略致シ
マス——澤柳政府委員

第九 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案 第一讀會

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案

第一條 本法ニ於テ在外指定學校ト稱スルハ在韓國本邦人ノ爲ニ設置シタ
ル學校ニシテ外務大臣及文部大臣ノ指定シタルモノヲ謂フ

在外指定學校ノ數ハ二十校ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條 府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法ハ第
一條、第八條、第十條第二項、第四項、第十六條、第十七條第一項、第二
十條及第二十一條ヲ除クノ外在外指定學校ノ職員及其ノ遺族ニ關シ之ヲ
準用ス但シ同法ニ規定スル府縣知事ノ職務ハ領事官之ヲ行フ
在外指定學校ノ職員ノ資格並其ノ就職及退職ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ
之ヲ定ム

第三條 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法、府縣立師範學校校長俸
給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法、明治二十九年法律第十三號、

明治三十三年法律第七十七號又ハ本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者在外指定
學校ノ職員ト爲リ退職現時ノ俸給額ト同額以上ノ俸給ヲ受クルトキハ其
ノ間退隱料ノ支給ヲ停止ス

第四條 在外指定學校ノ職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退隱料ヲ受ク
ル資格ヲ失フ

一 年齡六十歲ニ至ラスシテ自己ノ便宜ニ因リ退職シタルトキ

二 服務上ノ義務ニ違背シ若ハ服務ヲ怠リ又ハ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリ
タル爲其ノ職ヲ解カレタルトキ

三 教員免許狀被奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

四 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

五 信用若ハ風俗ヲ害スル罪ヲ犯シ罰金ノ刑ニ處セラレ又ハ監視ニ付セ
ラレタルトキ

六 破産若ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケタルトキ

第五條 本法ニ依リ退隱料ヲ受クル者及前條各號ノ一ニ該當スル者ニハ退
職給與金ヲ給セス

第六條 明治二十九年法律第十三號ハ第一條、第三條、第四條及第五條ヲ
除クノ外在外指定學校ノ職員ニ關シ之ヲ準用ス

在外指定學校ノ職員ノ在職年月數ト公立學校ノ學校長、正教員、舍監及
書記ノ在職年月數トハ退隱料、扶助料及扶助金ノ支給ニ關シ相互通算ス

第七條 本法ニ依リ支給スヘキ退隱料、退職給與金、扶助料及扶助金並其
ノ支給ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス

附則
本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(政府委員澤柳政太郎君登壇)
○政府委員(澤柳政太郎君) 本案ハ、韓國ニ於テ日本人ノタメニ設ケタ學校ノ職
員並ニ其遺族ニ對シテ、恩給及遺族扶助法ノ恩典ヲ與ヘタイト云フ案デアリマス

○議長(松田正久君) 發議者ナケレバ、議事日程第十右議案ノ審査ヲ付託スベキ
委員ノ選舉ヲ、議題ト致シマス

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託致シタウゴザイマ
ス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ動議議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、御
異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ其通決定致シマス——議事日程第十一明
治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議
案ノ朗讀ヲ省略シマス——芳川內務大臣

第十一 明治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ
關スル法律案(政府提出)

明治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ關スル法律案
明治二十九年法律第六十三號ハ同法第六條ノ期限後ニ於テモ平和克復ノ翌

年未日迄仍其ノ效力ヲ有ス

(內務大臣子爵芳川顯正君登壇)

○內務大臣(子爵芳川顯正君) 本案ヲ要シマスル理由ハ、極メテ簡單デアリマス、抑、六十二號法律ナルモノハ、明治二十九年ノ創設ニ係リタモ、デアリマス、然ルニ二箇年ノ期間ヲ終ヘマシタガ、尙其法律ヲ新領土ニ於キマシテハ、必要致シマスルガタメニ、明治三十二年ニ於テ、更ニ二箇年ノ延期ノ協贊ヲ經テデアリマス、其期間ノ終リマシタルニ、更ニ三十五年ニ於キマシテモ、尙其必要ニ於テ止ミマセヌ就キマシテ、更ニ再度ノ延期ノ協贊ヲ經テデアリマス、今、其再度ノ延期ノ期間モ將ニ盡キントスル時ニ際シマシタノデ、尙時局ニ鑑ミマス、トコロガゴザイマシテ、更ニ其法律ノ有效期間ヲ、或時限ノ間延バシタイト云フノガ、此本案ノ趣意ニゴザイマス、抑、此法律ヲ必要致シマシタル理由ハ、當初ヨリ同一ノコトデ、屢、辯明ヲ致シテゴザイマシタニ依リマシテ、更ニ再ヒ茲ニ演說スル必要ハゴザイマセヌデアリマス、唯、少シク此延期ヲ更ニ請ヒマスニ付イデ、必要ナルコトガ、聊カ違フトコロガアリマス、定メテ諸君ノ御記憶ニ存シテ居ラレマセウト存ジマスルガ、十六議會ニ於テ、延期ノ協贊ヲ求メマシタトキニモ、臺灣總督ハ政府委員トシテ、政府ヲ代表致シマシテ、此處ヘ出テ陳述致シマシタコトガアルデアリマス、此法案ニ付イデハ、衆議院ニ於テハ其存廢ニ關シテ、種々議論ノアツタ當時デアリマス、政府ニ於テモ、此法律ニ付イデハ、延期期間ノ終リニスルトキニハ、更ニ新領土ニ對スル協贊ヲ規定ヲ、設クルノ必要アリト認メマシタニ依リマシテ、此期間ノ終リマスル當時ニ於テハ、更ニ統治ニ適當ナル規定ヲ提供致シマシテ、以テ諸君ノ協贊ヲ求メルコトニ致サント云フコトヲ、總督ハ辯明致シテ置キマシタデアリマス、爾來政府ニ於キマシテ、其規定ノ起草ニ從事ヲ致シマシタデアリマス、御承知ノ如ク總督ハ出征ヲ致サナクチャナラヌト云フ場合ニ、到來致シマシタデアリマス、誠ニ其規定ノ完全ニ終了スルコトノ出來ナカッタノハ、甚ダ遺憾デアリマスル次第デアリマス、就キマシテハ、平和ヲ克復致シマシテ總督ガ歸朝致シマシタナラバ、更ニ起草シテ、アル法案ヲ、完成致シマシテ、以テ新領土ニ於テ協贊ヲ規定ヲ設ケル管デアリマス、然ルニ申述ベタ如ク、唯今出征中デアリガゴザイマセヌニ依テ、更ニ此六十三號ノ法律ヲ、平和ヲ克復ノ翌年マデ有效ナラシムルノ協贊ヲ求メル次第デアリマス、必ヤ歸朝ノ後ハ、更ニ完全ナル規定ヲ設ケテ、以テ諸君ノ協贊ヲ求ムル場合ニ致サウト考ヘテ居リマス、此本案ヲ必要致シマシタノハ、右等ノ理由デゴザイマスルカラ、此條々ヲ……(笑聲起ル)御覽覽下サレマシテ、速ニ協贊ヲ與ヘラレシコトヲ、切ニ希望致シマス

○關連彦君(二百十三番) 內務大臣ニ質問ヲ致シマス、六十二號ノ延期問題ハ、度々此議會ニ於テ、ヤカマシイ問題デアリマス、前二三年以前ニ延期ヲスルト云フトキニハ、政府ハ最早此度限リ延期ヲ求メト云フ、確然タル約束ヲサレテ居ルデ、又此度延期ヲ請求ニナリマシタガ、已ム得ザル必要ナル理由ガアリマスレバ、格別デゴザイマス、併ナガラ唯今承ルトコロニ依レバ、總督ガ留居デカラ、總督ノ歸ルマデ待テト云フデケノ理由シカナイト存ジマスルガ、果シテサウデアリマスカ、果シテ然ラバ政府ニハ兒玉總督ト云フモノガ、臺灣總督ノ專賣權ヲ持テ居ラル、モノデアアルカ、兒玉總督ガ居ラナケレバ、臺灣總督ト云フモノハ、置クコトハ出來ナイノデアアルカ、又兒玉總督ガ居ラナケレバ、臺灣統治ノ法案ヲ拵ヘルコトガ、出來ナイノデアリマス、此點モ伺ヒタイノデアアル、ソレカジ又此施行期限、是マデハ三年ト云フコトデ、段々延バシテ參ラレタガ、今度ノ法律案ニ依リマスルト云フト、平和ヲ克復ノ後末日マデト云フトコトニナジテ居ル、之ハ果シテ兒

玉總督ノ留守中ノ間、延期シテ吳レト云フ御趣意デアリマス、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、少シモ吾々ノ見ルトコロニ依ルト、臺灣ノ事情モ變ラズ、何ノ必要モナイト考ヘルノデアリマスガ、果シテ必要已ムベカラザル理由ガアルト云フトコトノ、モウ少シ詳シイ御説明ヲ得タイノデアリマス

○內務大臣(子爵芳川顯正君) 議長

○議長(松田正久君) 芳川內務大臣

(內務大臣子爵芳川顯正君登壇)

○內務大臣(子爵芳川顯正君) 御答ヲ致シマス、臺灣ノ統治ニ就キマシテ、兒玉總督ガナケレバ統治ハ出來ナイカト云フヤウナ御尋デアリマスガ、臺灣ノアラン限ハ、臺灣ノ統治ヲ廢スルコトハ出來ヌデアリマス、人ノ生命ニハ限ガアル、必シモ兒玉總督ナケレバ、臺灣ノ統治ハ出來ナイト思ハヌデアリマス、唯御承知ノ如ク、兒玉總督ナルモノハ、七八ノ星霜ヲ經ル間、臺灣ニ於テハ統治モ稍、其緒ニ著イタト考ヘルノデアリマス、其功績モ少ナカラヌト思フデアリマス、因ッテ此將來ニ於テ、臺灣ノ統治ヲ圖ルニハ、是等ノ事情ヲ熟知致シタモノニ、差掛ッテ居ルデアリマス、其歸朝ヲ待テ、餘ロニ經營ヲ致シテ宜シト云フ、宜シカラウト云フ考ヲ持テ居ルデアリマス、臺灣ノ統治ガ將來ニ於テ、兒玉總督ガナケレバ出來ヌトハ、政府ハ思ヒマセヌ、唯現在居ル總督ナルモノハ、臺灣ニ於テ統治其功ヲ奏スルコトモ少ナカラヌ、ソレ故ニ總督ノ歸朝ヲ待ッテ、況ヤ出發以前ヨリ議會ニ於テ明言シタルコトニ基イテ、起草致シテ、アツタデアリマス、其完成ヲ待ッテ提供致シタガ、恰當ナルモノガ出來ヤウト、斯ウ云フ考ヘデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、何デゴザイマシタ

○花井卓藏君(二百七番) 議長、三百七番

○議長(松田正久君) 花井卓藏君

○花井卓藏君(二百七番) 一二點御尋ヲ致シテ置キタイノデ、第一ニ御尋ヲ致シタイノハ、憲法上ノ論ヲスルノデハナイ、唯今關君ノ質問ニモゴザイマシタ通、三年々々又三年、前後九年ノ間、之ガ行ハレマシタ、ソレモ私ニハ別ニ論ガゴザイマスガ、議院ニ於テ協贊ヲ與ヘラレタデアリマスカラ、爭ヒハ致シマセヌ、唯私ノ尋ネテ見タイ點ハ、全體此委任立法ナルモノハ、誠ニ已ム得ザル場合、即チ帝國議會ノ開會ヲ待ツノ違モナイト云フヤウナ、事情ヲモ認メテ居ル、若クハ又別段ナル立法ヲ要スルニアラザレバ、統治ノ實ガ擧ゲラレナイト云フ事情ヲ見テ居ル、彼ヤ之ヤヲ參酌シテ、初メ當院ニ容ラレタモノト、本員ハ信ジテ居ル、憲法ノ上カラ論ジテ、之ガ適當アルヤ否ヤト云フ事柄ハ、別論デアアルカラ申シマセヌ、而シテ最早今年アタリハ、立法ノ常道ニ復ルベキ順序ニ相成デ居ルノニ、臺灣總督ノ歸ルマデ延期ヲセヨト云ハル、口吻ヨリ推測シテ見ルト、政府ハ此案ヲ更ニ幾年延バルト云フコトヲ、臺灣總督ニ御協議ニナル御趣意デアアルノアラウカ、若クハ又委任立法ト云フモノハ、全然廢止シテ、而シテ別ニ臺灣ノ立法ト云フモノヲシテ、ソレニ對シテ當院ノ協贊ヲ求メラル、ト云フ、御趣意デアアルノデゴザイマセウカ、之ヲ事實問題トシテ承リタイト存ジマス、ソレカラ第二ニ御尋ヲ致シタイト存ジマスル點ハ、私ノ見ルトコロニ依レバ、臺灣ニ行ハルベキ法律ハ、凡ソ三ツノ種類ガアルヤウニ思ハル、ノデアアル、一ツハ現ニ我内地ニ於テ行ハレテ居ルトコロノ法律ヲ、其儘——其儘律令ノ下ニ準用ヲセラレテ、臺灣島内ニ施行セラレテ居ルトコロノモノガ、其數最モ多キヲ占メテ居ルヤウニ思ハレルノデアアル、其二ハ現ニ臺灣ニ於テ行ハルベキ法律ニ對シテ、其事ノ内地ニ關係係有スルモノトノ聯絡ヲ保ツ必要アルガタメニ、即チ内地臺灣共通ノ法律ノ性質ヲ有スルモノニ向ッテハ、現ニ內務省ヨリ政府委員ガ出ラレテ、吾々ニ

向テ法案ヲ説明セラレテ、確カニ本院ノ協賛ヲ經ラレテ居ルコトヲモテ、其數甚ダ少ナカラヌヲアル、又第三ニハ内務省ノ所管ニ屬シテ居ルコロノ臺灣總督府デアデ、而シテ臺灣總督並ニ民政局長官ノ如キニ至リマシテハ、國務大臣トシテ、若クハ政府委員トシテ、現ニ會議會ニ列シ得ルガクノ機會ト餘地ト云フモノヲ、存シテ居ラル、ノデハアリマセヌカ、委任方法ヲ與ヘタル、何レノ國ノ實例ヲ見マシテモ、或ハ英吉利ノ印度ニ於ケルコトカ、或ハ戰勝後ノ獨逸ノ「アルサス、ロートリンゲン」ニ於ケル如キ例ヲ見マシテモ、政府委員トシテ、國務大臣トシテ、本國ノ議會ニ出席シテ、サウシテ議案ヲ説明シテ、當然ノ立法ノ常軌ニ基イテ、法律ヲ制定スルコトノ出來ナイト云フ場合ニ於テノミ、實際認メラレタル時、乃チ委任立法ニ依リテアリマス、然ルニ現ニ一年一次ノ議會ニ於テハ、臺灣ヨリハ民政長官以下續々トシテ、帝國議會ニ列シテ、各般ノ豫算、若クハ共通ノ法律ニ付イテ、協賛ヲ求メラレテ居ルノデアアリマスカラ、此道ノ履メナイト云フ道理ハ、千萬ナイト信ジテ居ルノデアアリマス、果シテ然ラバ何等ノ必要、何等ノ理由、ト、何等ノ利益ニ依テ、此法案ト云フモノヲ、三年過クレバ又三年、三年ヲ過クレバ、今度ハ無制限、實ニ議院ヲ愚弄ナサルノデアハゴザイマスマイケレドモ、勿論御優遇ナサル趣意デモナイト考ヘマスガ、此關係ヲ詳ニ致シテ置キタイト考ヘマス、而シテ私ハ本案ニ關シマシテ、贊否ヲ決定シタイ、序デゴザイマスルカラシテ、最後ニ尙御尋フシテ置キタイノハ、臺灣ノ理事者ト云フモノハ、種々様々ノ印刷物ト云フモノヲ、配布セラレマシテ、中ニハ傾聴スベキ議論ノ多キヲ占メテ居リマス、私ノ憲法論モ或場合ニ於テハ、一步ヲ讓ラウト存ジテ居リマス、故ニ善意ナル質問デアリマスガ、全體印刷物ニ書イテアルコトハ、臺灣理事者ノ人々ノ語ルトコロヲ承デ見マスルト、頻リニ殖民地ト云フモノニ、内地同様に法律ヲ施行スルコトハ出來ナイト云フコトヲ、根本的ノ原則ノ如クニ立テ、立論セラレテ居ル、此點ニ於ケレマシテハ、列席ノ政府委員諸公ノ全體ニ御尋シタイノデアス、帝國政府ノ方針ト云フモノハ、臺灣ト云フモノヲ、別ニ一部分トシテ御取扱ニナル御趣意デアリマセウカ、若クハ當局者ノ申シマスル如ク、殖民地ノ趣意ニ於テ御取扱ニナル、趣意デゴザイマセウカ、領民政略デアルカ、領土政略デアルカ、或ハ殖民地國殖民政策ヲ御採リニナルノデアリマスガ、甚ダ大切ナル點デアリマスカラ、以上四箇條ニ付イテ、明確ナル御答辯アラシコトヲ望ムノデアリマス、場合ニ依リマシテハ、贊成ヲモ致サウト思ヒマス、尤モ當テハナリマセヌ

○内務大臣(子爵芳川顯正君) 花井君ノ御尋デアリマシタガ、澤山承ッデ、甚ダ殘念ナガラ、老ヒ去ッデ、審ニ皆マデ記憶ヲ致シテ居ルコトハ、ムヅカシウゴザイマシタ、先ヅ此本案第一ニ關スルト思フコトダケヲ、御答致シテ置キマス、此三年、三年又三年、實際限ナク是ヲ積アルカ、但ハ此期間ノ終タトキニ、新シイモノヲ拵ヘテ出スノデアアルカト云フ、斯ウ云フ御尋デアッダヤウニ承リマシタガ、ソレニ相違アリマセヌカ

○花井卓藏君(三百七番) マア大概サウデアリマスガ、少シハ違ヒマス

○内務大臣(子爵芳川顯正君) ソレハ既ニ此法案ニ付イテ辯明ヲ致シマシタ、是ハ未來永劫ニ延期セシメヤウト云フ考デハナイノデアアル、又先刻モ申述ベタ如ク、總督ガ委員會ニ於テ、政府ヲ代表シテ申述ベタ如ク、此法案ガクナッデ、他ニ代ルベキモノガナクテモ、廢シギリテ宜イト云フコトハ、言ッテ居ラヌト思フ、ソレハ此法案ハ廢セラル、トシテモ、將來ニ於テハ島地ニ相當ナルモノヲ拵ヘテ提供致ス、斯ウ總督ガ言明致シタト心得テ居ル、即チ政府ハサウ思ッテ居リマスノデ、平和克復ノ後ニ於キマシテハ、此法案ノ廢セラル、コトハ、覺悟シテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ臺灣統治ニ相當ナル規定

ヲ設ケテ、以テ諸君ノ協賛ヲ求ムルコトニ致サウト云フ、斯ウ云フ考デアリマス、三年三年無限ニ未來永劫マデ、之ヲ續ケヤウト云フ考デアリマス、是ダケ御答ヘシテ置キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 質問ハ委員會ニ於テスルコトニ致シテ、次ノ日程ニ移ランコトヲ希望シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○花井卓藏君(三百七番) 其他ノ答ハドウデス

(「モウ宜イト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 日程第十二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ、議題ト致シマス

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ、審查ヲ付託スベキ委員ノ數ハ十八名、議長ノ指名ニナランコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 本案ハ議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルト云フ、恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ其通決定ヲ致シマス、議事日程第十三裁判斷管轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス

與繁三郎君

第十三 裁判斷管轄區域變更ニ關スル法律 第一讀會(續)(委員長)

(與繁三郎君登壇)

○與繁三郎君(七十七番) 諸君、此裁判斷管轄區域變更ノ問題ハ、極メテ簡單ナ問題デアリマス、然ルニ關係地方ノ諸君カラ、遂ニ地方問題トシテ、大ニ盛ニヤカマシキ問題ニサレタノデアアル、サリナガラ委員會ハ極メテ簡單ナ理窟ヲ以テ、容易ニ決定致シタノデアリマス、其經過ト結果トヲ御報告致シマスガ、質問ハ十分盡シマシタガ、一回ノ討論ニ依リ、二名ニ對スル六名ノ多數ヲ以テ、原案ヲ贊成スルコトニ決定致シタノデアリマス、其理由ハ、第一ニ大阪控訴院ノ管轄ハ、極メテ廣イ、從テ民事刑事トモ其事件數ガ頗ル多イ、他ノ控訴院ニ較ベテ、比較ニナラヌ程多イカラ、從テ其事件ノ落著スル期間ガ、非常ニ延滞致シマシテ、其區域ノ内幾分ヲ割クト云フコトニ贊成ヲ致シ、第二ニハ控訴院ノ區域ガ廣キノミナラズ、其管轄區域内ニ各所ノ裁判所數モ亦多イ、控訴院ハ管内ノ裁判所ヲ監督致シ、竝ニ多クノ裁判官ノ不能ヲ監督致サナクテハナラヌ、ソレニ就イテ不便ガ少ナクナイカラ、從テ其區域内ノ幾分ヲ割イテ他ニ移ス、斯ウ二箇ノ理由ガ主タルノデアリマス、尤モ此二箇ノ理由ヨリ、多數ノ者ガ贊成サレマスニ付イテハ、茲ニ名古屋廣島ノ兩控訴院ハ、長ク存續ヲ致ス、政府ニ於テモ前年一度之ヲ廢サウト考ヘラレ、民間ノ政客中ニ於テモ、兩控訴院ヲ廢止セント欲セラル、方モアル、サリナガラ是ハ是非永久ニ存續致スト云フ見地ヨリシテ、此二箇ノ理由ヲ贊成シ、原案ヲ決定スルコトニナッタノデアリマス、ソレハ此兩控訴院ヲ廢シテモ、漸ク七萬圓以内ノ節減シカ出來ナイデ、一方ヲ願ミマスレバ、其地方ノ訴訟人及刑事被告人ナドニ、不便ト苦痛ヲ感ゼシムルコトガ、實ニ夥シイノデアリマス、七萬圓ノ節減ヨリ人民ノ不便ガ多イカラ、先ヅ廢サナイト云フコトニ考ヘテ、而シテ此兩控訴院ニ區域

ニ割イテ、以テ諸君ノ協賛ヲ求ムルコトニ致サウト云フ、斯ウ云フ考デアリマス、三年三年無限ニ未來永劫マデ、之ヲ續ケヤウト云フ考デアリマス、是ダケ御答ヘシテ置キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 質問ハ委員會ニ於テスルコトニ致シテ、次ノ日程ニ移ランコトヲ希望シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○花井卓藏君(三百七番) 其他ノ答ハドウデス

(「モウ宜イト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 日程第十二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ、議題ト致シマス

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ、審查ヲ付託スベキ委員ノ數ハ十八名、議長ノ指名ニナランコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 本案ハ議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルト云フ、恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ其通決定ヲ致シマス、議事日程第十三裁判斷管轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス

與繁三郎君

第十三 裁判斷管轄區域變更ニ關スル法律 第一讀會(續)(委員長)

(與繁三郎君登壇)

○與繁三郎君(七十七番) 諸君、此裁判斷管轄區域變更ノ問題ハ、極メテ簡單ナ問題デアリマス、然ルニ關係地方ノ諸君カラ、遂ニ地方問題トシテ、大ニ盛ニヤカマシキ問題ニサレタノデアアル、サリナガラ委員會ハ極メテ簡單ナ理窟ヲ以テ、容易ニ決定致シタノデアリマス、其經過ト結果トヲ御報告致シマスガ、質問ハ十分盡シマシタガ、一回ノ討論ニ依リ、二名ニ對スル六名ノ多數ヲ以テ、原案ヲ贊成スルコトニ決定致シタノデアリマス、其理由ハ、第一ニ大阪控訴院ノ管轄ハ、極メテ廣イ、從テ民事刑事トモ其事件數ガ頗ル多イ、他ノ控訴院ニ較ベテ、比較ニナラヌ程多イカラ、從テ其事件ノ落著スル期間ガ、非常ニ延滞致シマシテ、其區域ノ内幾分ヲ割クト云フコトニ贊成ヲ致シ、第二ニハ控訴院ノ區域ガ廣キノミナラズ、其管轄區域内ニ各所ノ裁判所數モ亦多イ、控訴院ハ管内ノ裁判所ヲ監督致シ、竝ニ多クノ裁判官ノ不能ヲ監督致サナクテハナラヌ、ソレニ就イテ不便ガ少ナクナイカラ、從テ其區域内ノ幾分ヲ割イテ他ニ移ス、斯ウ二箇ノ理由ガ主タルノデアリマス、尤モ此二箇ノ理由ヨリ、多數ノ者ガ贊成サレマスニ付イテハ、茲ニ名古屋廣島ノ兩控訴院ハ、長ク存續ヲ致ス、政府ニ於テモ前年一度之ヲ廢サウト考ヘラレ、民間ノ政客中ニ於テモ、兩控訴院ヲ廢止セント欲セラル、方モアル、サリナガラ是ハ是非永久ニ存續致スト云フ見地ヨリシテ、此二箇ノ理由ヲ贊成シ、原案ヲ決定スルコトニナッタノデアリマス、ソレハ此兩控訴院ヲ廢シテモ、漸ク七萬圓以内ノ節減シカ出來ナイデ、一方ヲ願ミマスレバ、其地方ノ訴訟人及刑事被告人ナドニ、不便ト苦痛ヲ感ゼシムルコトガ、實ニ夥シイノデアリマス、七萬圓ノ節減ヨリ人民ノ不便ガ多イカラ、先ヅ廢サナイト云フコトニ考ヘテ、而シテ此兩控訴院ニ區域

ニ割イテ、以テ諸君ノ協賛ヲ求ムルコトニ致サウト云フ、斯ウ云フ考デアリマス、三年三年無限ニ未來永劫マデ、之ヲ續ケヤウト云フ考デアリマス、是ダケ御答ヘシテ置キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 質問ハ委員會ニ於テスルコトニ致シテ、次ノ日程ニ移ランコトヲ希望シマス

(贊成々々「ト呼フ者アリ」)

○花井卓藏君(三百七番) 其他ノ答ハドウデス

(「モウ宜イト呼フ者アリ」)

○議長(松田正久君) 日程第十二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ、議題ト致シマス

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ、審查ヲ付託スベキ委員ノ數ハ十八名、議長ノ指名ニナランコトヲ希望致シマス

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 本案ハ議長指名ノ十八名ノ委員ニ付託スルト云フ、恆松君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ其通決定ヲ致シマス、議事日程第十三裁判斷管轄區域變更ニ關スル法律案、第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス

與繁三郎君

ノ幾分ヲ入レルコトニ、委員會ノ多數ハ決定致シタノデゴザイマスカラ、此要領ノミヲ御報告致シマス、諸君以上申シマシタノガ、委員長トシテ極メテ公平ニ、委員會ノ多數ノ意見ヲ遺憾ナク御報告シタ積アリマス、然ルニソレト同時ニ、私ガ此委員會ノ意見ニ反對スル意見ヲ持テ、諸君ニ御報告ヲ致サナクテハナラヌ、否ナ、諸君ニ報告デハナイ、訴ヘナクテハナラヌデアル、(委員會長ノ報告ハ濟シタノデスカ)ト呼フ者アリ、委員長ノ報告デハアリマセヌ、本員ノ意見デゴザイマス、少數意見デナイノデゴザイマス、本員一個ノ意見デゴザイマス、諸君、凡ソ政治ハ誰ガタメニ致スノデアリマセウ、法律ヲ作り法律ヲ改メノハ、誰ガタメニ致スノデアリマスカ、此國家ニ格別ノ支障ナイ限ハ、利害關係ヲ有スル人民ノタメヲ考ヘナケレバナラヌコトデアラウト信ズルデアリマス、(ヒヤヒヤ)ト呼フ者アリ、此事件ニ就テ關係ノ最モアル彼ノ福井、石川、富山、岡山ナリ鳥取、五縣十箇國ノ人民ハ、如何ナル事ヲ諸君ニ訴ヘテ居リマスカ、吾共ハハデス、彼ノ辯護士會トカ、若クハ商業會議所トカ、市參事會トカ云フ、一局部ノ人ノ言フコトナラバ、格別重キヲ措カヌデアアル、苟モ五縣十箇國ヨリ選出サレタ代議士諸君ハ、摘ヒモ摘デス、是等ノ事ハ極メテ圓滿ニ、極メテ公平ニ、各種各様ノ意見ヲ綜合シテ代表サル、諸君ガ、(ノウ)ト呼フ者アリ、ノウト言ハル、ガ諸君自身ハ公平ナ國民ノ意見ヲ代表シナイデアアルカ、サウデスカ、國民ノ意見ヲ代表シナイモノナラバ格別、苟モ國民ノ意見ヲ代表サル、諸君ハ、此五縣十箇國ノ代議士諸君ノ意見ハ、重ク考ヘナケレバナラナイ、唯總務委員會タル杉田君ト犬養君ダケハ、遠慮シテ署名シナイダケデ、其外ノ人ハ進歩黨ノ人モ、政友會ノ人モ、亦各派ノ人モ、皆連署シテ、吾共ニ如何ナルコトヲ訴ヘルカ、諸君ハ、茲ニ之ヲ見ナイノデアアルカ、(諸君タタ)ト呼フ者アリ、諸君、今政府ハ如何ナルコトヲ言ハレマシタカ、大阪控訴院ノ管轄ハ極メテ廣イ、廣イカラ其管轄區域内ノ訴訟人ナリ被告人ハ困ラアラウ、福井ナリ、石川ナリ、富山ハ、其地方ヨリ大阪ニ出ルヨリハ、名古屋ニ出タ方ガ二十三哩近イ、岡山ハ又廣島ニ往ク方ガ、大阪ヨリハ九哩近イ、近イカラ便利デアアル、故ニ名古屋ト廣島ニ之ヲ割クデアアル、鳥取ハ大阪ニ往クヨリハ廣島ガ遠イ、遠イケレドモ、四縣ノ附合デカラ我慢スルト、斯ウ政府ハ言フデアアル、諸君、是ハ一體「テーブル」論デアアルデアアル、成程北陸三縣ト五箇國ハ、名古屋ニ往クヨリ大阪ガ二十三哩遠イ、遠イガ併シ平生ノ便利ハドウデアアルカ、汽車ノ關係ハドウデアアルカ、北陸三縣ノ名古屋ニ往ク回数ト、大阪ニ往ク回数ハ、大阪ニ往ク回数ガ、米原ヨリ餘程多クアル、倍程ノ回数ガアル、而モ直通列車ガアリマス故ニ、哩數ハ二十三哩遠クナリマシテモ、時間ノ上ニ於テハ、確カニ大阪ヘ參ル方ガ早イノデアアル、若モ岡山カ廣島ニ往クヨリ大阪ニ往クガ九哩遠イカラ、往キニクイト云フナラバ、靜岡縣ノ人ニ問ハシ、靜岡ハ東京ニ向イテ東京ヘ往クガ近イカラ、名古屋ニ往クガ便利デアアルカ、其里程格別ノ相違ナキナレドモ、東京ニ出ルガ便利デアラウト信ズルデアアル、然ルニ靜岡ハ強イテ元ノ東京ニ加ヘテアルデアアル、況ヤ其管内ニ於ケル濱松支部ハドウデアアリマセウ、遠州濱松ガ名古屋ニ參ルノト、東京ニ出ルノト、何レガ距離ガ近イカ遠イカ、殆ド名古屋ニ往クガ半分ノ近キ距離デアアル、然ルニ遠州濱松ハ東京控訴院管内デアアル、是等ヲ名古屋ニ往クコトヲ止メルト云フノハ、何ガタメデアアルカ、諸君、東京ニハ隨分ヤカマシ屋ガアルカラデアラウ、東京ニハヤカマシ人ガアルカラデアラウト思フ(ヒヤ)ト呼フ者アリ、又「京都人ナル故ニ議論立タズ」ト呼フ者アリ、所ガ諸君、斯様ナ故ヲ以テ、北陸五箇國、中國ノ中、五箇國ノ人ハ、ヤハリ大阪ガ便利デアアル、單ニ「テーブル」ノ上ニ於テ哩數距離ヲ考ヘマシテモ、格別ノ相違ナキノミナラズ、汽車ノ回数ヲ考ヘテモ、亦其通デアアル、然ルニ政府ハ其十箇國ノ人民ノ不便ト云フガ、不便ト云フナラバ、今日マデ

殆ド彼ノ上等裁判所ト云ウタ以來、三十年ニ垂ントスル間、何ガタメニ大阪控訴院管内ニシテ置イタルデアアルカ、三十年間此事ヲ顧ミズシテ、今日地方ノ人ガ不便デアアル、區域ガ廣キコトデアアルト云フノハ、折々理由ガ分ラナイデアアル、然ラバ政府ハ何ガタメニ數年前、廣島、名古屋ノ控訴院ヲ廢シテ、大阪ニ合併セント企ツタガアルデアアルカ、故ニ政府ノ論據ト云フモノハ、一時ノモノデ、全ク其時ノモノデアラウ、深ク考ヘテ論據デナカラウト思フノデゴザイマス、況ヤ此五縣十箇國ノ人ハ、單ニ訴訟ノ關係デナク、訴訟ノ多クハ、平生ニ於ケル商取引ノ關係カラ、胚胎スルコトモ多イデアアル、金錢貸借ノ關係カラ起ルコトモ多イデアアル、是等ノ關係ハ氣ノ毒ナガラ、名古屋、廣島ヨリハ、大阪ガ最も繁多ナル關係ヲ持テ居ルデアアル、(ヒヤ)ト呼フ者アリ、況ヤ十箇國ノ人ハ、訴訟事件ノタメニ大阪ニ出ル序デ、親族故舊ノ訪問モスルコトモアル、諸君又序デ本願寺詣リヲスルコトモアル、(笑聲起ル)是等ノ便不便ヲ政府ハ忘レデ、單ニ「テーブル」ノ上デ判斷スルノハ、間違デ居リマス、諸君サリナガラ吾共ハ、單ニ五縣ノ人民ノ利害ノミヲ考ヘマセヌ、五縣以外ノ人民ノ意見ハドウデアアルカ、即チ大阪ヲ始メ京都、滋賀、奈良、岡山邊ノ人ハドウデアアルカ、皆私ヲ代表シテ、此等ノ數縣ノ人民ハ、是非此五縣ト一緒ニ、大阪控訴院管内ニ這入ジテ、事務ヲ淹滞ヲ憂フルコトナク、事件ヲ淹滞ヲ恐レルデハナイト訴ヘテ居ルデアアル、是等關係ノ二府十縣ノ人ハ、何等今日ノ有様ニ於テ、今日ノ狀態ニ於テ、不便ハ感ズナイ、事件ヲ淹滞ハ感ズナイ、諸君ニ訴ヘテ居ルノニ、何ヲ苦シデ此改廢ヲヤルノデゴザイマスカ、諸君等最も大阪控訴院管内ニ、關係ナイ諸君等ガ、寄テ是非斯ウシナケレバナラヌ、ア、シナケレバナラヌト仰シヤリマスガ、現在ノ有様ニ於テ、吾共ハ十分便利ヲ得テ居ルデアアル、政治ノ利益ヲ享受シテ居ルデアアル、然ルニ之ニ變革ヲ加ヘルト云フコトハ、餘計ナ事ニナルマイカト思フデアアル、諸君——「マダ一二點言ハナケレバナラヌコトガアリマスガ、(ヤルベシ)ト呼フ者アリ」政府ハ大阪控訴院管内ハ、事件ガ多イカラ淹滞スル、判事ノ數ガ多イカラ監督ガ行届カナイト云フノガ、主タル理由デアアル、然ルニ是ハ東京ヲ忘レタ議論デアアル、東京ヲ見ナイ議論デアアル、東京控訴院管内ニ地方裁判所區裁判所ノ數ハ隨分ニ多イ、又控訴院自身ニ於キマシテモ、現ニ大阪ノ四十名ニ對シテ、東京ノ控訴院ハ四十五名判事ガ居ルデアアル、尙五名多イデアアル、事件ノ數ハドウデアアルカト云フト、東京ハ一年ニ六千二百二十二、大阪ハ六千五百九十三、二百程多イ、サリナガラ事件ヲ淹滞ノ有様ヲ考ヘテ見マスルト、政府ガ委員會ニ與ヘマシタ統計ニ依リマスレバ、刑事被告ニ對シテ一事件、大阪ハ五十二日費ヤシテ居リマスルガ、東京ハ八十四日費シテ居ルガ、東京ガ三十二日間餘計費ヘテ居ルデアアル、又大阪ハ監獄署ガ狹イカラ、拘留日子ガ多イト云フデアアル、然ルニ一人ニ付イテ拘留平均日數ガ、大阪ハ六十四日デアアルガ、東京ハ八十日費シテ居ルデアアル(花井卓藏君審理ガ鄭重ナラシメト呼フ)隨分中央ニ於テ花井君ノ如キ、ヤカマシキ方ガ居ルニモ關セズ、人權ヲ主張スル論客ガ多イニモ關セズ、大阪ヨリ東京ハ殆ド半數ニモ近イ程、多ク拘留シテ居ルデアアル、諸君、是ニ就イテハ、政府ハ東京ニハ煩雜ナ事件ガ多イトカ、大事件ガ多イトカ云フ答辯ガアリマスナレドモ、現在民刑部ニ於テ、東京ガ一部多イデアアル、大阪ノ六部ニ對シテ、東京ハ七部アルデアアル、判事ノ數ガ五名多イデアアル——事件ノ數ハ大阪ヨリ二百程少ナクシテ而シテ判事ガ多ウテ、事件ヲ淹滞日子ガ東京ガ甚シク、被告人ノ拘留日子ガ東京ガ甚シイデアアル、故ニ全ク政府ノ委員ハ、東京ヲ拔キニシタイトコロノ偏見デアリマス、又大阪ハ監獄署ガ狹イト云フガ、諸君大阪ノ監獄署ハ、一千八百八入レマス、監獄署デアアルレニ二千四百四十名程這入ッテ居ル、如何ニモ四百名程——一割程餘計這入ッテ

居リマスガ、サリナガラデス、今度合併セント欲スル廣島ハドウアルカ、廣島ハ千三百名ヲ入レマス監獄署アル、ソレニ千五百名這入デ居ル——現在唯今サウ這入デ居リマス、二百名餘計這入デ居ル（「日露戦争ノ關係ヲ御存ジナイカ」ト呼フ者アリ）日露戦争ノ關係デ、廣島ニ餘計這入デ居ルナラバ、大阪モ亦日露戦争ノ結果アル（「ヒヤヒヤ」ト呼フ者アリ）此度ノ戦争ノタメ日本ノ種々難多ナ人ガ這入デ居ルノハ、大阪ガ第一アル、ソレヲ御承知ナレバ、ア、云フコトヲ言フノアル（「ヒヤ」ト呼フ者アリ）故ニ大阪廣島ハ被告ノ割合ニ多イト云フノハ、全ク戦争ノ關係デ、一時斯様ナ狂熱ノタメニ、比隣ニ外レタコトヲ來シタノデアデ、之ヲ以テ吾ミハ犯罪ノ材料ニ出來ヌノデア、故ニ是等ノ事柄ハ、徐カニ此時局ノ定マルヲ待テ、行政整理ノ問題ト共ニ、吾ミガ冷靜ナル頭ヲ以テ、解釋シナケレバナラヌコトデアラウト信ズルノデアイマス、（「ヒヤ」ト呼フ者アリ）諸君私ハ名古屋廣島ノ熱心ナル方ニ訴ヘマスガ、吾ミハ現狀維持デ、名古屋廣島ヲ、カルガ故ニ廢スルト云フノデアハ、管轄區域ガ狹イカラ、廢メルト云フノデアハ、ハナイノデア、諸君ハ是ニ安シテ、餘リ熱クナラント、此問題ヲ解釋シテ戴キタイノデア、免モ角モ五縣十箇國ノ人ミガ、其不便ヲ訴ヘテ、吾ミ共ニ告ゲテ居ルニモ關セズ、吾ミハ何ヲ苦シテ、何ノ必要アデ、而モ政府案ノ理由ガ極メテ乏シキニモ關セズ、一部ノ人ガ騒キ立テラガタメニ、共ニ踊ラナケレバナラヌト云フ理由ハ、毫モナイノデア、故ニ此政府案ハ、姑ク廢案ノ名ニ依テ、突延バサレンコトヲ、切ニ希望致ス次第デアリマス

（拍手起ル）

○磯部四郎君（百八十三番） 議長——議長

○議長（松田正久君） 磯部四郎君

○上松安太郎君 議長——質問ガアリマス

○議長（松田正久君） 磯部君ニ發言ヲ許シマシタ

（磯部四郎君登壇）

○磯部四郎君（百八十三番） 私ハ餘リ政府案トシテ感服致シマスノハ、多クゴザリマセマ、此案ダケニハ感服致シマシタ、（笑聲起ル）ソレデ唯今與君カラシテ、餘程反對ノ強キ御議論ガゴザリマシテ、ソレニ付イテハ、僻ミ半分ニ東京ハドウスル、東京ハドウスルト云ッテ、餘程東京ノ御攻撃ガアツタヤウデゴザリマスガ、私ノ考ヘマスルニハ、東京ノ判事ヤ、辯護士ハ、餘リ中央政府ノ監督ヲ受ケル等ノ必要ガナイダラウト思ヒマスカラ、此事ハ論外ニ措カレタ方ガ、然ルベキダラウト私ハ考ヘル、（「ヒヤ」ト呼フ者アリ）ソレデ此先デ唯今與君ノ議論ニ依テ見マスルト、元來此政治ト云フモノハ、何ノタメニスルモノデア、即チ國民ノタメニスルノデアアルカ、何デモ國民ノ欲スル通ニシタラ宜カラウト云フノガ第一、サウシテ其議論ト云フモノハ、即チ今越中、加賀、福井等ノ國ガ、大阪ニ附イテ居ルコトヲ望ンデ居テ、サウシテ名古屋ノ管轄ニ附コトヲイヤガデ居ルト云フコトヲ、斷言セラレタヤウデアリマスガ、私一人ハ標準ニハナリマセマ、私ハ富山ニ生レテ、富山ニ育ッダ人間デゴザリマス、又富山ノ人モ一人ヤ二人ハ知デ居ルノデアイマス、然ルニ今日マデ此管轄問題ニ付イテ、御協議ヲ受ケタコトモナケレバ、ドウシタラ宜カラウト云フ、相談モナイトコロヲ以テ見マスレバ、是ニ依テ考ヘマシテモ、他縣ハ姑ク措イテ、此富山縣ダケハ喜ンデ名古屋ニ附コトヲ、希望シテ居ルト思フノデア、（「ノウ」ト呼フ者アリ）「ヒヤ」ト呼フ者アリ）「ノウ」ト云フ御議論ノ方ハ、後トデユヅリ御議論ヲナスッダ方ガ宜カラウ、又ソレニ付イテ御答スル場合アレバ、御答ヲ致シマスカラ、姑クドウカ靜肅ニ御聽キ取ヲ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツノ問題ハ、人民ガ悉ク好ムカラ、好ムカラト云フ

コトヲ言ハレマシタガ、幸ニシテマダ日本國民ハ、悉ク裁判ヲ受ケテ居ルノデアゴザリマセマカラ、唯今與君ハ即チ淹滞ヲ——訴訟人ガ淹滞ヲ望ムベシイデヤナイカ、大阪ガ淹滞スルト云ツタコロデ、淹滞シナガラ裁判所ニ於テ裁判ヲ受ケルノガ、吾ミハ好ミアルト云フノハ、與君ハ刑事被告人ニナラレタカ、ナラレヌカ存ジマセマ、又與君ハ民事ノ被告人ニナラレタカドウカ知リマセマ、訴訟ノ御取扱ヲナサルカラ、多少ノ御經驗アラレマセマ、私モ未ダ刑事ノ被告人トナデ、自ラ訴訟シタコトハゴザリマセマ、淹滞ト云フモノハ、訴訟當事者ニ如何ナル苦痛ヲ與ヘルカ、存ジマセマ致シタコロデ、併シ多ク被告人トナツタ者ノ言フトコロニ依テ見マスルト、勝敗ハ姑ク措イテ、成ベク訴訟ノ迅速ニ終ルコトヲ望ムト云フノガ、是ガ訴訟當事者一般ノ考、一般ノ望ムヤウ三承テ居リマス、又商業類繁ナル所ニ於テハ、尙以テ訴訟ノ迅速ヲ望ムト云フコトハ、歐米各國ノ學者間ニ異論ノナイトコロデアリマス、（笑聲拍手起ル）然ラバ裁判ノ迅速ト云フコトハ、最モ望ムトコロデアラウト、私ハ信ズルノデアイマス、而シテ民事ニ付イテハ、私ハ未ダ統計ヲ得テ居リマセマ、先程御述べニナツタガ、私ハ大阪ノ平均ハ六十二日開イテ居ル、大阪ノ刑事被告人ノ未決拘留ハ六十二日ガ平均數アル、廣島ノ方ノ未決拘留ノ平均數ハ十七日アル、名古屋ニアル未決拘留ノ平均數ハ二十二日アル、此ニツテ合併致シマスト云フト、ドウ云フコトニナルカト云フト、百十一日ト云フ數ガ出ルノデア、此百十一日ト云フモノヲ三分シマス、三十七日ガ未決拘留ノ平均數ニナルノデアイマス、サウ致シマス、唯今ノ管轄區域ノ變更ニ依テ生ズル結果ハ、大阪モ多クモ四十日ノ平均數デ、（「ドウ」ト云フ者アリ）刑事ノ裁判ガ落著シテ往クデアラウト云フコトヲ、今日ヨリ明言スルコトノ出來ルノ幸福——即チ人民ガ此變更ニ依テ、ソレダケノ幸福ヲ得ルコトヲ見テ、ノデアリマス、又民事ニ於テハ、私ハ統計ハ得マセマケレドモ、恐クハ刑事ニ於テスクリマス以上ハ、民事ニ於テモ亦然リト考ヘマス、サウスレバ管轄區域ノ變更ニ依テ、得ラル、トコロノ便利ハ、學者モ望ミ、訴訟當事者モ望ミ、又辯護士モ恐ラク御望ミデアリマセウガ、免ニ角訴訟ノ迅速ニ終ルト云フ事柄ニ付イテハ、却チ名古屋ノ人民ハ迷惑ヲ感ズルノデア、又廣島控訴院下ノ人民モ、迷惑ヲ感ズルノデア、何故ナラバ、十七日ト云フ代リニ、三十七日ト云フ平均數ニナルノデアイマスカラ、稍二十日程未決拘留ノ期間ガ延ビルハ、國家ノタメ自己ノ利害ヲ犧牲ニシテ、管轄區域ノ擴張ニ廣島管下、名古屋管下ノ人ガ、服從シテ往カル、ト云フハ、國家ノタメニ賀スベキコトト考ヘル、相成ベクハ自己一個ノ利害問題ヲ論ビズ、名古屋管下、廣島管下ノ者ノ如キ考ヲ以テ、國家一般ノ利益ナラバ、之ニ贊成シヤウト云フ考ヲ以テ、協贊ノ任務ヲ盡サレテコソ、立派ナル國會代議士デアルト思ハレルノデア、ソレカラ今一ツノ、反對論トシテハ承ハリマセマシタガ、定メテ反對論トシテ出ラデアラウト思ヒマスカラ、裁判所ノ檢事調書ノ意味ヲ豫メ云ウテ置クガ、斯ウ云フコトヲ云デアラウ、大阪ト云フ所ハ、越中或ハ越前加賀等、大變商業取引ノ頻繁ナル所デア、ソレデアアルカラ、大阪ノ裁判ヲ受ケルトキハ、裁判官モ其事情ニ通シテ居リ、又商業ノ慣習等モ、能ク心得テ居ルカラ、此等ノ人ノ裁判ヲ得テ「モンテスキュー」ノ言ハレル如キ、人民ガ満足スル裁判ヲ得ラレルデアラウ、然ルニ名古屋トカ何トカ、曾テ取引ノナイ所ニ持テ往カレバ、是ハ迷惑千萬デアルト云フ、斯ウ云フ議論モ反對論トシテハ、出マセウガ、若シサウ云フ反對論ガ素人ノ口カラ出レバ、尙忽スベシ、苟モ法律ニ從事スル人カラ出レバ、是ハ誠ニ取ルニ足ラナイ議論デアルト思フ、ドウ云フ譯カト云フト、裁判所ダケハガツトシタ場所ニアル、其中ノ人ハ彼地ニ往ツタリ、此地ニ往ツタリシテ、居リマスカラ、決シテ大阪ノ裁判所ヲ受ケルカラ、大阪ノ慣習ヲ酌シテ與レル、名古屋ノ裁判ヲ受ケルカラ、名古屋ノ慣習ヲ酌シ

ア、吳レト云フヤウナコトハナイ、ソレハ慣習ヲ知ラシメルト、知ラシメヌトハ、辯護士ノ技術ニアルナル、ヘマナ辯護士ナラバ、ドノ位習慣ヲ知テ居ル裁判官ノ前へ出テモ、之ヲ證スルノ途ヲ盡サナケレバ、敗訴スルノアル、裁判官モ申出デザルコトハシ、辯護士ノアル、裁判官ハ始終動イテ居ル、司法大臣ニ御聞キ下スデモ分ル、年々歳々裁判官ガ變テ、私共御聞レ申シテ居ル、司法大臣ニ御聞キ下スデモ分ル、年々歳々裁判官ガ變テ、如何トモ仕方ガナイ、サウストル裁判所ガ大阪デアレバ、慣習ヲ諒知シテ居ル裁判官ノ裁判ヲ受ケル利益ガアルト云フハ、價値ノナシ議論トナリマス、今一ツハ取引ノ多イ所デアルカラ、其他ノ裁判ニ持テ往テ、迷惑デアルト云フコト、是ハ司法大臣カラ御答モゴザイマセウガ、民事ニ於テハ、裁判官ハ自由自在ニ御約束ガ出來ルノデアリマス、大阪ノ控訴院ノ裁判ヲ受ケルコトガ出來ルト云フコトニナル、サウソレバ裁判官ノコトハ自由デアル、又慣習ト云フヤウナ事柄ハ、是ハ其土地ニ居ル辯護士ガ立證シテ往ク仕事デ、其事ハ民事訴訟法ニ書イテアル、立證ノナキ慣習ハ裁判官ガ採ラナイノデアリカラ、是ハ裁判所ガ許スノデアリカラ、自分々々慣習ニ依テ、訴訟スルコトガ出來ナイト云フ御案ハハナイカラ、御安心ナスデ然レバ思フ、其外ニ考ヘテ見マスルト、何がナニ唯吾共ハ動クノハイヤダト云フヤウナ考カラ、ダ、御述べニナル議論トシカ、奥君ノ議論ハ取ラヌノデアリマス、裁判ノ管轄區域ガ變更ニテ、裁判ノ迅速ニ落著スルコトハ、一家ニ取テモ、一個人ニ取テモ、訴訟人ニ取テモ、國家ニ取テモ、外國ニ聽テモ、希望スベキコトデゴザイマスカラ、私ハ管轄區域變更ノ如キ、政府案ノ出タノハ、當年ノ司法省中ノ大出來事ハ、此事ト考ヘマスカラ、兩手ヲ擧ゲテ贊成スル次第デアリマス、何卒御協賛アラント願ヒマス

(討論終結)ノ聲起ル

(守屋此助君登壇)

○守屋此助君(百九十二番) 満場ノ諸君子、名譽アル紳士ナル磯部君ノ後トニ出マシテ、私ガ諸君ノ暫ク清聴ヲ煩ハス榮幸ヲ擧ゲタト云フ事柄ハ、謹シテ諸君ニ第一ニ茲ニ敬意ヲ表シテ置キマス、又隨分討論終結ト云フ議論ガ、一部分ニアルニ拘ハラズ、私ニ暫ク時間ヲ御假シ下スデ、此重大ノ問題ヲ、公平ニ御判斷サレコトハ、第二ニ謹シテ敬意ヲ表シテ置キマス、ソレデ本案ニ就キマシテハ、茲ニ私ガ第一ニ申スハ、此議會ハ抑、ドウ云フ議會デアルカト云フト、振古未曾有ノ國難ヲ控ヘテ議會デアッテ、此議會ニ地方ノ人心ヲ動搖セシメ、地方ノ人心ヲ激昂セシムル如キ議案ヲ出サナケレバ、此國難ヲ處理スルコトガ出來ナイト云フ場合デアルナラバ、私ハ免モ角モ本案其モノニ付イテ、政府ノ出ス時ト云フコトニ付イテ、當ヲ得タモノト考ヘマス、然ル處ガ此國難ヲ控ヘテ居ル時、地方ノ人心ヲ激昂セシメ、地方ノ反抗ヲ來ス如キ議案ヲ出サナケレバ、此軍國議會ト云フモノヲ處理スルニ、何ノ差支ガアルノデアリカラ、斯ヲ考ヘテ見レバ、左様ニ——左様ニデスナ、此五縣十箇國ノ人民ニ反抗サセテマデモ、之ヲ貫カナケレバナラヌト云フ時デナイノデアリ、其時ニ斯ノ如キ議案ヲ出タト云フ事柄ハ、第一私ハ帝國ノためニ悲シムノデアリマス、外ニ大難ヲ構ヘテ居ル其時ニ司法省ハ何ヲ考ヘテ出サレタノデアリカラ、之ヲ第一ニ帝國ノためニ悲シムノデアリ、ソレカラ磯部君ハ、政治ハ何モサウ國民ノためニ悲シムノデアリ、政治家ノためニ悲シムノデアリ(ノウト)呼フモノ者アリト云フヤウニ云ハレタガ——ノウト云フケレドモ、政府ハ反抗ニ頓著スルニ及バヌト、斯ウ云ウタナラウ、管轄區域ノ變更ヲスルニ付イテ、直接ニ利害ノ關係ヲ受ケルハ、何デアル、五縣十箇國ノ人民デアル、五縣十箇國ノモノガ、舉ゲテ反對ヲシテ居ルノデアリ、磯部君ハ拙者ハ富山縣出生ノ一人、斯ノ云フコトハ、反對ノ例外ノ極端ナコトヲ、辯スル暇ヲ私ハ持タズガ、先ツ大體ニ地方ヲ代表スルモノハ何デアル、地方ノ商業會議所、府縣會、地方新聞ノ云フトコロ、若クハ諸君ト吾共ノ如キ地方カラ出デ居ル代議士

士——國家ノ代議士デハアルガ、其人ガ地方ノコトハ一番能ク知テ居ル、第一ニ地方ノ各商業會議所——五縣十箇國ノ商業會議所ガ、一ツデモ、政府案ニ贊成シテ居ルモノハナイデハナイカ、私ノ見聞ハ狹イガ、贊成シテ居ルモノハ一ツモ存シマセヌ、ソレカラ代議士諸君モ、五縣十箇國ノ人ハ一名デモ贊成ハアリマス、是亦ナイデハアリマセヌカ、地方議會——五縣十箇國ノ地方議會一ツデモ殺イデ貫フト云フコトヲ今日唯今——以前ニ於テ一ツモ其聲ヲ聞カナイデハアリマセヌカ、地方ニ幾千百ノ新聞ガアル、一々私ハ存シテハ居ラスガ、私ノ見タトコロ聞イタトコロニ依ルト、地方ノ新聞ハ一切反對シテ居ル——管轄ノ變更ヲ受ケル地方ガ、反對シテ居ルノデアリ、先ツ此位總テノ機關ガ反對シテ居ル以上ハ皆反對シテ居ル見テ宜カラウ、政治ハ是ヲ受ケルモノ、如何ニ依テ、ソレ——取捨採擇ヲスベキモノガ、代議政體ノ大體ハ根本デアル、是ヲ與君ガ云フ、磯部君ハ左様ノコトハ頓著スルニ及バナイト云フ、是ハ代議政體ヲ根本ヨリ壞ス政治ノヤリ方ニナルノデアリ、私ノ考ヘテハ、代議政體ハ一片ノ理想政治デハナイ、民ヲ心服セシメ、政治ニ信賴ヲスルコト云フコトヲシナイノハ、代議政體ヲ壞スト云フモノデアル、一片ノ空理空論ヲ持出シテ、机上デ良イト考ヘタ學者先生ノ考ヘタ政治ガ良イト云フナラバ、代議政體ハ要ラヌノデアリ、サウデナイコトハ、諸君ト吾共ガ夙ニ承知シテ居ル、地方ノ議會ガ如何ニ考ヘ、地方ノ新聞ガ如何ニ云ウテ居ルカ、ソレナコトハ最モ注意シテ、考フ及ボシテ往クト云フハ、諸般ノ政治ニ重キヲ置カナケレバナラヌ點デアリノデアリ、ソレカラ此裁判スル上ニ於テ、日數ノ上ニ磯部君カライロノノ論ガアッタガ、之ニ就イテハ何處ガ一番多イ日數デアルカト云ヘバ、東京控訴院デアリ、是ハ殆ド比ベモノナラヌ程、淹滞日數ガ民事刑事事ニアルノデアリ、然レニ里程カラ云ウテモ、靜岡ノ如キハ、名古屋ニ往クガ近イニ拘ラス、サウナッテ居ラスデハナイカ、大阪ノ控訴院ノ區域ガ廣イト云ウテモ、九ツノ地方裁判所シカナイ、然レニ東京ハ十一アル、靜岡ハ名古屋ヘ付ケルト近イニ、之ヲモ打捨テ、東京ノ方ハ、無頓著デ置クト云フハ、之ハ如何ナル慘酷ノ仕方デアルカ、事件ヲ早クスルノガ眼目デアルナラバ、日本全國ノ平均ヲ見テ、總テソレニ從フト云フナラ、公平ナ、法案デアルケレドモ、東京ハ十一ノ地方裁判所ガアルニ大阪ハ九ツノ裁判所デアリ、之ヲ多過ギルト云フデ、殺クト云フニ十一ノ方ハ打捨テ置クト云フハ、何事デアルカ、事件カラ云ヘバ、東京ガ最モ淹滞シテ居ル、民刑平均デ八十日掛ル、大阪ハ六十四日デアリ、此六十四日ガ多過ギルカラト云ウテ、殺グ一方ニ、八十日ノ東京ハ打捨テ、置ク、サウシテ地方ノ激昂ヲ願ミズシテヤル、北陸ヨリ名古屋ニ往クコトハスルガ、靜岡カラ名古屋ニ往クコトハ出來ヌト云フ、斯様ナ杜撰ノモノガドウシテ出來ルモノデアラウカ、左様ナ譯デアルカラ、私ノ考ヘテハ、内容ニ這入ッテ、先ヅ調ベル前ニ、東京ノ事柄ヲ抛ッテ、大阪ヲ眼中ニシテ居ル此案デアルカラ、餘程之ハ慎重ニ考ヘナケレバナラヌト思フ、ソレカラ次ニ前申ス如ク、此軍國議會ニ斯様ナ地方ノ人心ヲ動亂スル案ヲ、國法者ハ何ノ必要アッテ出シタノデアリカラ、商業會議所ナリ今日ハ國債證券ヲ募集スルコト云フトキニ當ッテ、之ヲ激昂セシムル法律ヲ出シタト云フコトハ、實ニ譯ノ分ラヌコトデアリ、此一事實モ私ハ反對シナケレバナラヌ、ソレデ最後ニ申シテ置クハ、磯部君ノ論ハ、根柢ニ於テ立憲代議政體ノ精神ト兩々容レヌ議論デ、地方ガ如何ニ反抗シテモ構ハヌ、理想デ、何デモ、「モンテスキュー」ガドウダトカ「オーグステン」ガドウダトカ云ウテ、ソレ等ノ云ウタ言ヲ直グト、此ノ國ニ持テ來ヤウト云フコトハ、諸般ノ政治ニ於テ往カヌコトデアリ、故ニドウシテモ先ヅ何カ外ニ政府ガ重大ナル必要ガアッテ出サレタト云フナラバ、軍國議會デナケレバ、ソリヤ議會シテモ宜イト思フガ、政府ハ常ノ時デモ議ス必要ノナイ、甚ダ惡ルイ案ヲ、而モ此軍國議會ニ出サレト云フハ、殆ド困難ヲ控ヘテ居ルノニ、人心ヲ激昂スルヤウナ案ヲ出サレト云フハ、甚ダ政治ノ仕方ヲ誤ッテ居ルト思フ、諄ク申シマス、却テ私ノ申方ノ下手ナタメニ、御贊同ヲ減ラスコトナリテ

ハ濟ミマセヌカラ、ソコテ議シテ最後ニ申シマスハ、以上ノ次第アルカラ、免ニ角ドウカ
私ガ哀願スルノハ、之ニ反對シテ戴キタイト云フノデアリマス

○議長(松田正久君) 討論終結ニ賛成ナシト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガアレバ決ヲ採リマス、討論終結ニ賛成ノ方ハ起立ヲ
願ヒマス

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 討論終結ノ勸諭ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガアレバ決ヲ採リマス、討論終結ニ賛成ノ方ハ起立ヲ
願ヒマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマス、討論終結ニナリマシタ 本案ニ付イテ第
二議會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマスガ、議長ニ於テハ必要ト認メマスカラ、衆議院規則

第二百一十七條ニ依リ、無記名投票ヲ以テ採決致シマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ拍手起ル

○議長(松田正久君) 念ノタメニ尙申上ケテ置キマスルガ、委員長ノ報告、即チ原案
ヲ賛成スル御方ハ、白イ球ヲ御入レナサイ、之ニ反對シテ委員長ノ報告、即チ原案ニ反對
スル御方ハ黒イ球ヲ御入レナサイ、而シテ名刺ヲ御持參アリタイ

〔政府案ガ黒デスカ〕又ハ白 又ハモウ一遍 大キイ聲デト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 大キイ聲デ言フテ居リマス、分リマシタカ

〔分リマシタ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 閉鎖、尙申シテ置キマスルガ、名刺ヲ必ズ御忘レナイヤウニ望ミ
マス 點呼ヲ始メマス

〔書記氏名ヲ點呼ス〕

○議長(松田正久君) 投票漏ハアリマセヌカ 投票漏ガナイト認メマス、開匣致シ
マス 開鎖

〔書記官投票及名刺ノ數ヲ計算ス〕

○議長(松田正久君) 投票ノ結果ヲ報告致シマス

〔林田書記官朗讀〕

球數總計 二百一

白球 二百十六

拍手起ル

黒球 八十五

○議長(松田正久君) 投票ノ結果、本案ハ第二議會ヲ開クコトニ決定致シマシ

○議長(松田正久君) 直チニ第二議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 直チニ第二議會ヲ開ク 恆松君ノ勸諭ニ、御異議ハアリマセヌ
カ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ直チニ第二議會ヲ開キマス、全部ヲ議題ニ
供シマス

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

第二議會

○恆松隆慶君(百五十九番) 討論ヲ須井ズ、採決セラレンコトヲ望ミマス
〔賛成々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ、第二議會ハ茲ニ終了シマスルガ……
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、第二議會ハ了リタルモノト認メマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ第三議會ヲ開カレテ、確定セラレンコトヲ望ミマ
ス

〔賛成々々〕ノ聲起ル

○議長(松田正久君) 直チニ第三議會ヲ開ク勸諭ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、直チニ第三議會ヲ開キマス

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

第三議會

○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ第三議會ヲ了リ、本案ハ確定シタルモノト認メ
マス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 本案ハ可決確定致シマシタ 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、
會計法中改正法律案委員長ヨリ暫ク退席致シテ、委員會ヲ開キタイト云フノ請求ガ
アリマス、許シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ許可スルコトニ致シマス、尙登錄稅法中改正法律案ノ
委員長ヨリ、直チニ委員會ヲ開キタイト云フノ請求ガアリマス、許シテ御異議ハアリマセ
ヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、尙家祿賞典祿ノ委員
會ヲ直チニ開キタイト云フ請求ガアリマスガ、許シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ是モ許スコトニ致シマス、尙御諮リヲシマス
ガ、裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案ノ委員會ヲ、今ヨリ開キタイト云フ請求ガアリ
マス、許シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ許スコトニ致シマス、議事日程第十四耕地整
理法中改正法律案ノ第一議會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス 植場平君

第十四 耕地整理法中改正法律案(政府 第一議會ノ續(委員長報告))

提出

○植場平君(百三十八番) 甚ダ簡單ナ問題デゴザイマスカラ、當席ヨリ御報告ヲ致シ
マス

〔登壇シ給ヘ〕ト呼フ者アリ

〔植場平君登壇〕

○植場平君(百三十八番) 耕地整理法改正案ノ委員會ノ經過結果ヲ、御報告致
シマス、本案ハ極メテ簡單ナ問題デゴザイマシタガ、委員會ヲ開キマシテ、委員中ニハ種々
此施行法ニ付イテ、質疑ガアツデアリマス、此質疑ニ對シマシタハ、政府ノ最モ詳密
ナル答辯ヲ得マシテ、質疑者ハ皆満足ヲ致シマシタ、全部此修正案ハ貴族院ヨリ回付
ニナリマシタ通、即チ政府提出案ノ通、可決致スベキコトニ決議ヲ致シマシテゴザイマス、
御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ最モ必要ナ案デ異論モナイモノデアリマスカラ、

讀會ノ順序ヲ略シテ、直チニ確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ讀會省略ノ勸諭ニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(松田正久君) 然ラバ讀會ヲ省略シマス、全部ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通リ御異議アリマセヌカ

耕地整理法中改正法律案

確定議

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ委員長ノ報告通確定可決致シマス、議事日程第十五明治三十年法律第十三號中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス

明治三十年法律第十三號中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔古賀庸藏君登壇〕

○古賀庸藏君(百五十九番) 諸君、明治三十年法律第十三號中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ報告致シマス、本案ハ諸君御承知ノ如ク、極メテ簡單ナ改正案ニシマシテ、現今陸軍ニ於テハ、在郷軍人召集諸費ノ支出方ニ關スル現金前渡ト云フ規定ガアル、然ルニ海軍ニ於テハ此規定ガナイ、故ニ事實差支ル點モアルト云フ點ヨリシテ、海軍ニモ陸軍同様ニ、法律ノ改正ガ致シタイト云フ趣意ヲアツテ、委員會ニ極メテ相當ナル改正案ヲ認メマシテ、全會一致ヲ以テ、原案通確定致シテ次第、右御報告致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ極ク簡單ナ案デゴザイマスカラ、ドウゾ讀會ノ順序ヲ略シテ、直チニ確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ讀會省略ノ勸諭ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ讀會ヲ省略シテ、全部ヲ議題ニ供シマス

明治三十年法律第十三號中改正法律案

確定議

○恆松隆慶君(百五十九番) 委員長報告通異議ナシ

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通テ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ委員長報告通確定可決シマス、議事日程第十六第十七、同一委員ニ付託サレテアリマスカラ、同時ニ同一委員長ヨリ報告ヲ致サレマス

船舶法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十七 提出、貴族院送付

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔宮崎榮治君登壇〕

○宮崎榮治君(四十七番) 船舶法中改正法律案、及船舶職員法中改正法律案ハ、東ネテ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、船舶法中改正法律案ハ、現行法ノ不備ヲ補ヒマスルモノデゴザイマシテ、政府委員ノ説明ヲ承リマシテゴザイマスカ、至極相當ナ改正案ト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決スベキモノト決シマシタ、船舶職員法中ノ改正案ニ於キマシテハ、政府委員ノ説明ヲ承リマシタ末ニ、別表中ニ於テ小形船舶ノ所有者ガ、其責任ガ重クナルト云フ點ヨリ致シマシテ、是ニ修正ヲ加ヘマスル、意見ガ出マシタデゴザイマス、即チ沿海航路中ノ百噸未満ノモノヲ、百五十噸未満ト修正シ、又ニ二百噸未満ノモノヲ、三百五十噸未満ト修正スル方ガ、相當アルト云フ意見ガ出マシタケレドモ、是ニハ贊成者ガ少數デゴザイマシテ、總テ原案ヲ可決スベキモノト決定致シマシタ、此段ヲ御報告致シマス

○議長(松田正久君) 先ツ第十六船舶法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シテ討議ニ付シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ讀會ヲ略シテ確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ讀會省略ノ勸諭ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ讀會ヲ省略シテ、全部ヲ議題ニ供シマス

船舶法中改正法律案

確定議

○恆松隆慶君(百五十九番) 委員長報告通、異議ナシ

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ハアリマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通確定致シマス、議事日程第十七船舶職員法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ讀會ヲ省略シテ確定セラレシコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恆松君ノ讀會省略ノ勸諭ニ、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、讀會ヲ省略シテ、全部ヲ議題ニ供シマス

船舶職員法中改正法律案

確定議

○恆松隆慶君(百五十九番) 委員長報告通、異議ナシ

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ委員長報告通、可決確定致シマス、議事日程十八佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格審査ノ件ヲ討議ニ附シマス、委員長大岡育造君

第十八 佐竹作太郎君根津嘉一郎君ノ議員資格(委員長報告)

〔大岡育造君登壇〕

○大岡育造君(百六十四番) 議員萩野左門君ヨリ、佐竹作太郎及根津嘉一郎兩君ノ資格ニ對シテ異議ノ申立ガゴザイマシタ、其審査委員トナリマシタ、其審査ノ經過及結果ヲ、御報告申シマス、萩野君ヨリ申立テラレマシタ異議ノ要點ハ、既ニ御承知ノ如ク、佐竹作太郎君及根津嘉一郎君ハ、現衆議院議員當選ノ當時ヨリ、東京電燈株式會社ノ取締役デアル、而モ佐竹作太郎君ハ、其社長デアル、然ルニ本院ハ去ル十二月二十八日、會議ニ於テ、議長ハ大審院長ヨリ、白勢春三對凡山嵯峨一郎、此兩君間ノ衆議院議員當選無効ノ上告事件判決ヲ受領セラレタ、此報告ノ大審院判決ハ、白勢春三君ハ衆議院議員當選當時、新潟ノ電燈株式會社ノ監査役デアルカラ、衆議院議員選舉法第十三條第二項ニ該當シテ、衆議院議員ノ被選舉權ヲ有セザルモノト云フアル、既ニ裁判ノ手續キラシタル當選訴訟ハ、議院法第十九條ノ制裁ガアツテ、本院ハ白勢春三君ノ被選舉權ヲ有セザルコトヲ承諾致シタ、以上同一ノ性質ヲ有スルトコロノ前ノ二名、即チ佐竹、根津此兩君ハ當然衆議院議員ノ資格ヲ失フタモノデアル、是ガ異議ノ要點デアリマス、然シテ被告佐竹及根津此兩名ノ答辯ハ、

議院法ノ第七十九條ノ裁判所ニ於テ、當選訴訟ノ裁判ノ手續ヲシタルモノハ、衆議院ニ於テ同一事件ニ付テ審査スルコトヲ得ズ、ト云フ規定ガアルニ依テ、裁判手續ヲシタル件其ノモノニ付テハ、其判決ノ效果ヲ否認スルヲ得ズト雖モ、他ノ議員資格問題ニ關シテハ、衆議院ハ何等ノ羈束ヲ受ケベキモノデハナイト信スルハ、是ガ一項デアリマス、又モウ一ツノ要點ハ、東京電燈會社ノ取締役、佐竹及根津兩氏ハアルガ、該會社ハ政府ノタメニ請負スルモノデハナイ、但該會社ハ公衆一般ニ、電氣ヲ供給シ、一定ノ對價ヲ以テ、營業ヲ目的トスルモノデアラガ故ニ、此供給ヲ求ムモノハ、個人タルト法人タルト、將タ政府タルト問ハズ、是ガ需要ニ應ズルニ過ギヌ、蓋シ電氣ヲ供給シ其消費ニ對シテ、一定ノ對價ヲ受クルハ、民法ノ請負ニアラザルハ勿論、元來選舉法ノ第十三條二項ノ規定タル政府ノ請負ヲ爲スヲ以テ、常業ノ目的トスルモノハナイカラ、本會社ノ如キハ、一般公衆ノ需用供給ヲ目的トスルモノデアリニ依テ、該法文ニハ適當セザルモノト認ムルコト云フコトデアリマス、兩方ノ趣意ハ、先ヅ此通りデアリマス、之ヲ擯擯シテ申シマスレバ、白勢君ガ此議員ヲ去ラナケレバナナイ、已ムヲ得ザル理由ハ、大審院ノ判決ニ依ルノデアル、大審院ノ判決ノ理由ハ、電燈會社ノ役員アルニ依テ、被選舉權ヲ有セザルモノトセラレタモノデアル、コレト同ジノ根津及佐竹此兩氏ハ、本議院ニ議席ヲ有セベキ資格ヲ有セザルモノト申立テアルノデ、之ニ對シテハ、大審院ノ判決ハ其訴訟ノ關係者ニハ及ブケレドモ、其結果ガ本院ニマデハ及ボサレマイト云フ申開キデアル、而シテ又今ノ東京電燈會社ナルモノハ、一般公衆ニ電燈ヲ供給スル目的ノ營業ヲシテ、其一部分ヲ政府ニ分ツノデアラ、議院法ニ所謂政府ノタメニ請負ヲ爲スモノト云フモノト違フ、斯ウ云フ答辯デアリマス、吾々審査委員ハ、先ヅ事件ノ實體ヲ盡クシテ、大審院ニ照會ヲシテ、一切ノ事件書類ヲ取寄セテ、之ヲ審査致シマシタ、而シテ尙出來ル限リノ注意ヲ用シテ、討論審議致シタルデアリマス、大審院ハ、司法上ノ高等法院デアリマスカラ、其判決ニ對シテ、相當ノ敬意ヲ表スルモノデアリマス、併ナガラ、其判決ハ直ニ訴訟ヲセザルコトコソ本院ノ議員ヲ、拘束スル力ノナイコトハ勿論デアルト思ヒマスガ、萩野君カラ申立テマシタル如クニ、東京電燈會社ノ役員デアラガ故ニ、選舉法ニ所謂議員ヲシタルモノデアラヤ否ヤ、佐竹及根津ノ兩君此點ニ就テ審議ヲ致シタル結果、右ノ兩君ハ資格ニ於テ缺クルトコナキモノト決定ヲ致シタルデアリマス、其理由ハ、茲ニ之ヲ朗讀ヲ致シマス

本件ニ於テハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス法人トアルハ民法第六百三十二條ニ規定セル請負ト同意義ナルヤ將タ民法規定以外ノ意義ヲ有スルモノナリヤヲ審究スルヲ緊要ナリトス

一 凡ソ公法中特ニ公法ノ語トシテ特有ノ意義ヲ示サシテ私法中ノ語ヲ引用シタルトハ其ノ意義ハ私法中ニ用井タルモノト同一ナリト認ムルヲ當然ナリトス

一 請負ナル法語ハ法律上一定ノ意義ヲ有シ即チ民法第六百三十二條中ニ掲ケタル定義ノ通ニシテ他ニ公法中別段ノ定義ヲ有セシメタル例ナリトス

一 衆議院議員選舉法ヲ通覽スルニ民法刑法商法及破産法ノ法語ヲ用井タル場合少カラス殊ニ第二章選舉人被選舉人ノ資格ニ關スル規定ニ於テ然リトス然ルニ此ノ數多ノ法語ハ孰レモ其ノ關係私法ノ定義ナルニ特リ請負ナル法語ノミ民法商法ノ定義ト異ナル意義ヲ有スルモノト解釋スルハ失當ナリ

一 商法第二百六十四條ニ商行爲ヲ列舉シタル第三ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トアリ其ノ第五ニ作業又ハ勞務ノ請負トアリテ電氣ノ供給ハ請負ナル法律行爲ト明カニ區別セラル

右ノ諸點ヲ綜合スルニ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ請負ナル法語ハ民法及商法ニ規定スル所ト同一意義ヲ有スルモノト斷定セサルヲ得ス

本件東京電燈株式會社ノ營業ハ電燈ヲ供給スルモノニシテ民法ノ所謂或仕事ノ完テ成ル約シ其ノ仕事ノ結果ニ對シ報酬ヲ受クルモノニ非ス況ヤ該株式會社ハ其電燈ヲ

公衆一般ニ供給スルヲ以テ目的トスルモノニシテ偶々政府ノ需要ニ應スルニ過キサレハ衆議院議員選舉法第十三條第二項ノ政府ノ爲請負ヲ爲ス者ニ非サルオヤ

依テ東京電燈株式會社ノ重役タル被告議員佐竹伸太郎根津嘉一郎ハ政府ノ爲請負ヲ爲ス會社ノ重役ニ非サルヲ以テ衆議院議員ノ資格ニ於テ缺クル所ナキモノト斷定スル所以ナリ

(拍手起ル)

右ノ如ク御報告ヲ申シマス、成ベク此儘御承認アラシコトヲ希望致シマス

○丸山睦峨一郎君(百十五番) 委員長ニ質問致シマスガ、唯今ノ御報告ニ依テ、大體ノ趣意ハ明瞭致シマシタガ、初メカラ第三項マデハ、大審院ノ判決ヲ引イテ、直接ニ本件ニ向テ解釋ヲ與ヘタノハ下ノ二箇條デアリマスケレドモ、商法ノ二百六十四條ニ、電氣ノ供給ハ請負トシテ、或一種ノ法律行爲トシテアル、其次ニハ獨リ政府ノ事業ノミヲ請負モノデナイ、故ニ之ハ選舉法ノ上ニ於ケル請負ト云フコトハ出來ナイト云フ、此二ツノ點ニ歸著スルヤウニ思ハレマス、是ニ依テ本員ハ報告ノ上カラハ、半面ノ理由ヲ知ルコトガ出來マスケレドモ、尙院議ヲ重シズル同時ニ、私ハ半面ナル一面ノ完全ナル理由ヲ思フデアリマスカラ、質問ヲ致スノデアリマスガ、此根津及佐竹兩君ノ電燈會社ニ重役トシテ居リマスル其事實ハ、確定致シテ居リマスガ、其仕事ハ法律ノ上ニ於テ、何等ノ法律行爲ニ屬スルカ、其説明ガナイノデアリマス唯判決ノ批評及請負デナイト、斯ウ云フ理由ヲ聞クコトヲ得マシテ、請負デナイガ、是ハ何等ノ法律行爲デアラカシテ、請負デナイト云フコトヲ、聞クコトヲ得マセヌ、已ムヲ得ザレバ、無名契約モ何デモ宜シイ、理由ヲ附シテ報告ヲ願ヒタイデアリマスガ、委員長ニ伺ヒマスガ、一面ノ理由——法律行爲ハ何ニ屬スルカト云フコトヲ點ハ、質問致シタルデアリマス

○大岡育造君(百六十四番) 吾々が委託ヲ受ケタ點ハ、根津、佐竹兩君ノ行爲ガ、議院法ノ所謂政府ノタメニ請負ト云フニ當ルヤ否ヤヲ詮議スルニアッタデアリマス、故ニツレニアラズト云フ判決ヲスレバ、足ルト思ヒマスガ、更ニ詳シク言ヘト云ヘバ、此第四ニ掲ケテ置キマシタルコト此行爲ハ、商法ニ於テモ列舉シタル通、其二三電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲トアッテ、作業又ハ勞務ノ請負ト云フモノトハ、別ニ法律ガ見テ居ルモノニ屬スルコト云フ……尙契約ノ種類ヲ言ヘト云ヘバ、學問ニ涉ルカモ知レマセヌガ、序ナガラ、無名契約ニ屬スルデアラウト存シテ居リマス、是ガ御答申シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、本案ニ付テ採決致サスルガ、議院法第八十條ニ依リ佐竹、根津兩君ガ出席ナレバ、御退席ヲ望ミマス(「居リマセヌ」ト呼フ者アリ)本案ノ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告通、議員佐竹伸太郎、根津嘉一郎ノ衆議院議員資格ニ缺クルトコナキモノトスト云フ報告ニ付テ、御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、兩氏ノ議員資格ハ缺クル所ナキモノト決定致シマス——(拍手起ル)議事日程第十九及第二十八委員長ヨリ報告延期ヲ請求ニナッテ居リマスルガ、其請求ニ應ジテ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、右兩案ハ延期ニ決シマス、第二十一土地收用法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致サレマス——長晴登君

第二十一

土地收用法中改正法律案(竹 越與三郎君外二名提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(長晴登君登壇) 本案ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、本案ハ簡單ナモノデ、極ク此短イ報告デ宜シイノデ、此壇ニ登ル必要ハゴザイマセヌ位ノモノデゴザイマシタ

○政府委員(山縣伊三郎君) 唯今ノ御尋ネニ對シテ、御答致シマスルガ、水利組合條例ニ不備ノ點ガアルト云フコトハ、政府ニ於テモ認メテ居リマスル、是ハ早晚改正スル積デ、目下取調中デアリマスルガ、今度ノ議會、又ハ來期ニ提出スルト云フコトハ、唯今此處デ御約束ハ出來マセヌ、ツレカラ此唯今委員長ヨリモ、御報告ニナツテ居リマスル土地收用法第十五條ヲ修正スルト云フコトヲ、政府ガ反對致シマシタノハ、單ニ此水利上ノ復舊工事ニ關シテノミヲ、此十五條ニ入レルト云フコトハ、第二條ニ列擧シテアルトコロノ他ノ事業ニ對シテモ、權衡ヲ得ナイ、ツレカラ一ツニ、提案者ノ主張シテ居ラルトコロノ目的ニ副フコトハ出來マイカ、斯ウ云フ疑ヲ有ツテ居ルノデゴザイマス、重モナル點ハ、他ノ事業ニ對シテ權衡ヲ得ナイカス、之ニ反對スルト、斯ウ云フノデアリマスガ、水利組合條例中ニ斯ウ云フコトヲ、未ダ入レテ良イカ惡ルイカト云フコトハ、今日未ダ研究シテ居リマセヌカラ、其邊ノ事ハ申上ゲルコトモ出來マセヌガ、イザモ此水利組合條例ノ改正ニ方ツテハ其邊モ十分研究スル積デゴザイマス

○竹越與三郎君(八十四番) 唯今問題ニナツテ居リマスルトコロノ案ハ、私ノ提出ニ付イデ、修正デアリマス、私ハ委員長ノ報告ニ至極満足シテ居ルモノデアリマス、之ニ依ツテ私ノ望ムトコロハ遂ゲラル、ト思ヒマスカラ、滿堂ノ諸君ニ御贊成ヲ願ヒタイモノデアリマス

○議長(松田正久君)發議者ナケレバ、本案ニ付イデ一讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス、本會ノ二讀會ヲ開クベシトスル、諸君ノ起立ヲ望ミマス

土地收用法中改正法律案 確定議 農會法改正法律案 第一讀會 一五五

起立者 多數

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ讀會ヲ開キニ讀會ヲ略シテ確定アラシコトヲ望ミマス

○議長 松田正久君 恆松君ノ讀書省略ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ
〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 然ラバ讀會ヲ省略シテ全部ヲ議題ニ供シマス、委員長報告通
リ御異議アリマセヌカ

「委員長報告通異議ナシ」ト呼フ者アリ」

土地收用法中改正法律案

〔一異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ委員長長ノ報告通確定シマス、議事日程第二十二農會法改正法律案第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省略致シマス

第二十二 農會法改正法律案(藤金作君外二十三名
提出) 第一讀會

農會法改正法律案

農會法

第一條 農會ハ農事ノ改良發達ヲ計ル爲ニ設立スルモノトス
第二條 農會ハ之ヲ法人トス

農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス
第三條 農會ハ左ノ三種トス

一、市町村農
二、郡農會

三、道又ハ府縣農會
本法ニ依リテ設立シタル農會ニ非サレハ前項ニ掲ケタル名稱ヲ附スルコ

トヲ得ス
 第四條 市町村農會ハ當該市町村ニ於テ耕地牧場山林又ハ原野ヲ所有スル

者及農業ヲ營ム者ヲ以テ之ヲ組織ス
郡農會ハ其ノ區域内ニ在ル町村農會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條 農會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ會員トナルヘキ者二分ノ一以上

ニ在リテハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 地方長官ハ必要ト認ムルトキハ市町村ニ對シ市町村農會ノ設立ヲ命シ又ハ町村農會ニ對シ郡農會ノ設立ヲ命スルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ郡農會又ハ市農會ニ對シ道又ハ府縣農會ノ設立ヲ命スルコトヲ得

前二項ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ適用ス
本條ノ命令ニ依リ農會ヲ設立シタルトキハ直ニ命令ヲ爲シタル官廳ニ申
告スヘシ

第七條 第四條ニ依リ農會ヲ組織スヘキ者ハ農會設立ノ認可アリタル日又ハ前條ノ申告ヲ爲シタル日ヨリ會員トシテ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

前項ノ經費ヲ納付セサル者アルトキハ農會ハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ道又ハ府縣農會並郡農會ノ經費ハ北海道地方稅又ハ府縣稅ニ準シ市町村農會ノ經費ハ市町村稅ニ準シ當該官吏又ハ吏員ハ農會ノ請求ニ依リ代リテ之ヲ徵收スヘシ

第九條 農商務大臣ハ其ノ定ムル所ノ條件ヲ具備スル農會ニ補助金ヲ交付スルコトヲ得

農會補助ノ爲國庫ヨリ支出スル金額ハ一箇年十五萬圓ヲ超ユルコトヲ得

第十條 市町村ハ必要ト認ムルトキハ市町村會ノ決議ヲ經テ市町村農會ニ補助スルコトヲ得

第十一條 農會ハ其ノ組織スル上級農會ノ指揮ニ從フノ外道又ハ府縣農會ニ在リテハ農商務大臣、郡及市農會ニ在リテハ地方長官、町村農會ニ在リテハ地方長官及郡長ノ監督ヲ受ク

第十二條 監督官廳ハ農會ノ行爲カ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ農會ニ對シ會則ノ變更、役員ノ改選決議ノ取消、事業ノ停止ヲ命ジ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ處分ハ道又ハ府縣農會ニ對シテハ農商務大臣其ノ他ノ農會ニ對シテハ地方長官之ヲ行フ

第十三條 町村農會ハ特別ノ事由アル場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ二以上ノ郡ノ區域ニ互リテ一ノ郡農會ヲ組織シ若ハ他ノ郡農會ニ加入シ又ハ他ノ町村農會ト合併スルコトヲ得

町村農會ノ會員トナルヘキ者ハ特別ノ事由アル場合ニ限り命令ノ定ムル所ニ依リ二以上ノ町村ノ區域ニ互リ一ノ町村農會ヲ組織シ又ハ他ノ町村農會ニ加入スルコトヲ得

市農會ノ會員トナルヘキ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ町村農會ニ加入スルコトヲ得

第十四條 北海道、沖繩縣、小笠原島及伊豆七島ノ農會ニ付テハ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第十五條 本法ニ規定スルモノノ外農會ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則 本法ハ明治三十八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ設立セラレタル農會ハ本法ニ依リ本法施行ノ日ニ於テ設立セラレタルモノト看做ス

○恒松隆慶君(百五十九番) 私モ此提出者ノ一人デゴザイマシテ、極ク簡單ニ申述ベマスルガ、此現行農會法律案ハ、僅カニ四條、其不備ヲ補フト云フノ趣意カラシテ、茲ニ改正案ヲ出シタルアル、デ改正案ノ最モ必要トスルところハ、第八條、第十條デゴザイマスガ、是等ノ事ハ總テ委員會デ、總テ細カニ申述バルト致シマシテ、九名ノ委員ニ議長指名デ付託セラレンコトヲ、併セテ望ンデ置キマス

(贊成者アリ) (呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 本案ヲ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコト云フ、恒松君ノ勸諭ニ、御異議ナシアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシ) (呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ナシレバ、委員ニ付託スルコトニ決シマス、日程第二十、三市街宅地地價修正ニ關スル建議案ヲ討論ニ付シマス、朗讀ハ省略致シマス——根

本正君

第二十三 市街宅地地價修正ニ關スル建議案(根本正君外十二名提出)

市街宅地地價修正ニ關スル建議案

租稅ハ公平ナラサルヘカラス然ルニ地租改正以來全國各市街宅地地價ノ變動甚シク之ヲ地券面ノ地價ニ比スレハ實ニ非常ノ相違アルヲ以テ此ノ法定地價ヲ標準トシテ地租ヲ各市街宅地ニ賦課スルハ不公平ノ最大ナルモノトス故ニ政府ハ速ニ市街宅地ノ地價ヲ修正シ三十九年度ヨリ之カ實施ヲ期セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(根本正君登壇)

○根本正君(百七十六番) 市街宅地地價修正ニ關スル建議案ヲ出シマシタガ、本問題ハ誠ニ重大ノ件デアリマスケレドモ、建議ノ文字ガ誠ニ簡單デアリマスルカラシテ、チヨット讀ンテ、諸君ノ御記憶ヲ願ヒタイト思ヒマス。租稅ハ公平ナラサル可カラス然ルニ地租改正以來全國各市街宅地地價ノ變動甚シク之ヲ地券面ノ地價ニ比スレハ實ニ非常ノ相違アルヲ以テ此ノ法定地價ヲ標準トシテ地租ヲ各市街宅地ニ賦課スルハ不公平ノ最大ナルモノトス故ニ政府ハ速ニ市街宅地ノ地價ヲ修正シ三十九年度ヨリ之カ實施ヲ期セラレムコトヲ望ム(拍手スル者アリ)デ是ハ唯今讀上ゲマシタ通ノ案デアリマシテ、此立憲政治ノ最モ貴重トスルところハ、租稅ヲ公平ニ取ルト云フコトガ、第一ノ事デアリマス。然ルニ此地價ノ定タト云フモノハ、二十年以前ノコトデアリマシテ、一ツノ市ニ所ガ、今日ニシテモヤハリ一圓ニナッテ居リマス、然ルニ此片ノ方ニ於キマシテハ、百四十八圓マデ上テ居ル所モアリマス、又廉クナッテ居ル所モアリマス、然ルニ今日此地價ニ依テ、同ジ稅率ヲ當メルト云フコトハ、實ニ不公平ノ極デコトデアリマス。故ニ、之ハ是非改正ヲシテ相當ノ所謂租稅ヲ取立タルコトガ、誠ニ國民ニ對シテノ爲スベキ義務ト思ヒマス。故ニ、此法案ヲ提出シタ譯デアリマス、然ルニ此事ニ就キマシテハ、諸君モ既ニ御研究ニナッタコトデアリマスルカラシテ、茲ニ其調査ヲ斯ノ如ク數十枚アリマス。ケレドモ、之ハ申上ゲマセヌデアリマス、此本議會モ既ニ最早切迫致シマシタコトデアリマスルカラ、幸ニ今日ハ大藏大臣モ出席サレテ居リマスルカラシテ、政府ハ速ニ此法案ニ同意サレテ、贊成ラシテ、即チ此大問題ナルところノ不公平ヲ取ルコトヲ——租稅ヲ公平ニ取テ、即チ幸福ヲ萬民ニ及ボスト云フヤウニ致シタイト思ヒマス、故ニ若モ政府ガ之ニ贊成ラシテ、同意ラスルコトヲ諸君ガ御聞キニナッテラバ、即座ニ御可決アラランコトヲ望ミマス、萬一政府ガ之ニ反對ラシテ、何處マデモ不公平ヲ主トスル譯デアツランラバ、更ニ二十八名ノ委員ヲ選ンデ大ニセンケレバナリマセヌケレドモ、必ズ政府——大藏大臣ハ先見モアル方デアリマセウ、デアリマスルカラ、必ズ贊成セラル、コト、思ヒマス、ドウカ諸君滿場一致ヲ以テ、此大臣ノ意見ニ依テ尙此御贊成アラランコトヲ望ミマス

(大藏大臣男爵曾根荒助君登壇)

○大藏大臣(男爵曾根荒助君) 唯今根本正君カラ建議案ノ理由ト共ニ、私ニ斷然ト御答ラシテ、斯ウ云フコトデスカラ、御答ヲ致シマス、政府モ宅地租ノ修正ニ就キマシテハ、最早必要ヲウツ云フ考ヲ持ッテ居リマスルカラ、今日ニ於キマシテモ、調ベ致シテ居リマス、併シ此議會ハ出スヤウナ運ビニハ參リマセヌ故ニ、先達ノ租稅ノ増徴ノ時ニモ出シ兼ネタルデアリマス、十分勉強シテ此事ハ早クヤリタイト考ヘテ居リマス(ヒヤノノト呼フ者アリ)フレダケノ時ニナリマシタラ、今日ノ御熱心ヲ必ズ御持チ下スツ、御贊成アラランコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 此案ハ政府モ速ニ同情ヲ表セラレテ、吾モ満足致シマシタ、直ニ即決ヲ可決セラレンコトヲ望ミマス

○多田作兵衛君(百三十二番) チョット御尋シマスガ、一日モ速ニト云フコトニ、政府モ御同意下サル以上ハ、此次ノ議會ニハ必ズ改正ノ目的ヲ達スルモノト信ジマスルガ、宜シウザイマス

(大藏大臣男爵會禰荒助君登壇)

○大藏大臣(男爵會禰荒助君) 御存ジノ通ニアレ法案ガ要リマスノデスカラ……

(此次ニ御出シナル「カト呼フ者アリ」)

○大藏大臣(男爵會禰荒助君) 出ス心得テ居リマス、調ベテ居リマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 即決ヲ願ヒマス

○七里清介君(三百七十七番) 議長 議長

(「即決」又ハ「質問無用」ト呼フ者アリ)

○恆松隆慶君(百五十九番) 討論ヲ要セズ、即決セラレンコトヲ望ミマス

○七里清介君(三百七十七番) 極ク簡單ニ述ベマス

○議長(松田正久君) 何ヲ御述ベナリマスガ、賛成デスカ、反對デスカ

○七里清介君(三百七十七番) 委員ニ付託シタイト云フ所以ヲ述ベタイ

(「即決」又ハ「質問無用」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 委員付託ノ説ナラ御述ベナサイ

○七里清介君(三百七十七番) 段々諸君ノ御説ヲ伺ヒマス、委員付託ニシナイ

ア、直ニ是ヲ可決シヤウト云フコトデアリマスケレドモ、此問題ハ提出者ノ御一人ガ御

述ベナク、最モ重大ナ問題デアル、ソレヲ直ニ決スルコト云フコトハ、(即決

ト呼フ者多シ)ソレハ此地價ノ修正ハ、大問題デアデ、隨分經濟上ニモ大ナル

影響ガアル、ソレヲ直ニ決スルコト云フコトハ、甚ダ不當ダラウト思ヒマスガ、審査

委員ヲ選シテ、其上デ可決スルコトニシタイ、唯今會禰大藏大臣ハ、本案ハ此議

會ニ出セナイガ、次ノ議會ナラバ出セル、ソレマデ十分調査スル心得アルト云フコト

アリマシタカラ、吾モ十分ニ審議討論ノ上デ……(即決)ト聲起ル)ドウカ本案ハ委

員ニ付託セラレンコトヲ希望シマス

○議長(松田正久君) 三百七十七番ノ委員付託説ニ賛成ガアリマスガ

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 賛成者ガアルニ依ッテ、先決問題トシテ、二百七十七番ヨリ

提出セラレタ委員付託ノ説ニ付イテ採決シマス、委員付託説ニ同意者ハ起立ヲ願ヒ

マス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマス、本案ノ採否ヲ決シマス、本案ヲ採用スベシト

スル諸君ノ起立ヲ望ミマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デアリマスカラ、本案採用サレマシタ、日程第二十四在

韓邦人利權ノ發達ニ關スル建議案ヲ討論ニ付シマス、委員長ヨリ報告ヲ致シマス――

福井三郎君

第二十四

(在韓邦人利權ノ發達ニ關スル建議案 (委員長報告))

○福井三郎君(三百十二番) 御付託ニナリマシタ、在韓邦人利權ノ發達ニ關スル

官報號外

明治三十八年二月十七日

衆議院議事速記録第十七號

在韓邦人利權ノ發達ニ關スル建議案

二五七

建議案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、此案ハ簡單ナリト申シマスレバ、其名ノ如ク、是デ御シマヒヨウナ、極ク簡單ナモノデアリマスガ、若シ其意義ヲ云ヒ盡サントスレバ、廣イ意義ヲ持テ居ル案デアリマス、ソレデモ大分諸君ガ、御草臥ニナッテ居ルヤデアリマスカラシテ、隨分長イ委員會デアリマスガ、經過ヲ餘リ詳シク御話シタナラバ、御退屈デアラウト思ヒマスガ、殊ニ提出者カラ豫テ詳シク説明モアッタ後トデアリマスガ、唯大要デケテ摘擧シテ御話シテ置キマス、此案ノ大要ハ詰リ朝鮮國ニ對シテ、日本ノ人が往テ居ル、ソレハ溢レル程ニナッテ居ルカラ、之ガ利權ノ發達ヲシナケレバナラヌガ、其方法ハ第一ニ居留地ノ發達トシテ、或程度マデノ人口ヲ持ッテ居ル居留地ニ、町村自治ノ制度デモ設ケテ、サウシテ法人ノ資格ヲ與ヘタナラバ宜カラウ、又領事裁判制度ノ如キモノガ、今日マデアッタノデ、是ガ利權ノ發達ヲ妨ケテ居ルカラ、コシナモノハ廢シテ、特別裁判ノ制度ヲ設ケタナラバ宜カラウ、其他人口ノ澤山アル所ハ大抵ノ位ノ程度ト云フ、程度ヲ設ケテ、水道ヲ敷設スルカ、乃至病院ヲ設立スルカ、或ハ立派ナ醫者ヲ招イテ、彼ノ國ニ在留シテ居ル者ノ用ニ供スルカ云フ方法ヲ設ケテヤラ宜カラウ、第二、在韓邦人子弟ノ教育ニ付イテハ、移住者ガ澤山アルト共ニ、子供モ澤山出來テ居ルノニ、然ルニ此教育ノ方法ト云フモノハ、一向發達シテ居ラヌガ故ニ、是等ノモノヲ助ケルタメニ、學齡兒童ノ數ニ應ジテ、小學校ヲ補助シテ、朝鮮ニ設ケル、又其教師ニ從事シテ居ル者ニハ、特別ノ待遇ヲスルカ、或ハ内地ノ高等學校ノ如キ、男女ノ高等學校ヲ設ケル設備方法ヲ立テルカ、第三ノ產業保護獎勵ニ付イテハ、農事試驗所、農林學校、養蠶試驗所、精米試驗所、水産試驗所ヲ指ヘルカ、其他イロ／＼澤山ノ箇條ガ舉ゲテゴザイマス、數ヘ來ルト日モ亦足ラズ、澤山臆列シテアリマスガ、要ハ唯在韓邦人ニ便利ヲ與ヘテ、發達ヲ期スルコト云フ案デアリマス、故ニ委員ニ於テハ調査シタガ、案ガ斯ウ云フ案デアリマスガ、一人ノ反對者モアル筈ハナイ、政府モ大層機嫌克ク賛成セラレテ、兩手ヲ舉ゲテ悦ンデ賛成ト云フコトデアリマス、故ニ註文ノモノハ、明日ノ日カラモ、直グ著々實行シタイガ、唯經費トノ相談デアリマスガ、經費ノ容サリモノハ、サウ急ニヤル譯ニ往カヌガ、經費ノ容サリモノハ、著々順序ヨク運シテ往クコトデアリマス、ソコテ朝鮮ノ狀態ハ、御承知ノ通、仁川、釜山、京城ノ二三ニ專管居留地ガアリマス、是ガ二十六六年マデハ――今日ハ多クアリマセウガ、二万居ルデアラウ、之ヲ詳シク申上ゲテ云フト澤山開港場、開市場ガアリマスガ、引括シテ朝鮮ノ各開港場、專管居留地等ノ雜居地ニハ、二万五千人バカリ居ッタノガ狀態デアッタ、然ルニ今日ハ日露戰爭ノ結果デ、大ニ趣ヲ異ニスル、今マデハ二万五千以上居リマシタガ、此度モ二万五千人――元ノ二万五千ニナルト云フコトハナカラウ、五万人七万人ニモ、殖ヘテ往タトコロガ、減ルコトハナカラウト思ヒマス、スルト詰リ此案ノ如キハ最も必要デアルト云フノデ、委員會ハ此案ニ賛成セラル、コトヲ、希望スルノデアリマス、前申上ゲタ通、政府委員モ悦ンデ賛成セラレ、委員會全般、政府委員モ併セテ同意デアリマスガ、此段御報告致シテ置キマス

○望月小太郎君(二百九十五番) ドウカ御賛成ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 本案ノ採否ヲ決シマス、本案採用ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ委員長ノ報告通、本案ハ採用スルコトニ決定致シマス――次ハ日程第二十五清韓醫事衛生ニ關スル建議案、委員長ヨリ報告ヲ致シマス――山田省三郎君

第二十五

清韓醫事衛生ニ關スル建議案(山根正 委員長報告)

(山田省三郎君登壇)

○山田省三郎君(三百四十番) 清韓醫事衛生ニ關スル建議案ニ付イテ、委員會ノ經過ヲ御報告シマス、委員會ニ於キマシテハ、二ツノ質疑ガ起リマシタ、此建議案ニアルトコロノ同仁會ナルモノハ、如何ナル性質ノモノナル、又未文ニ助成保護ト云フ文字ガアル、此建議案ガ成立シタ以上ハ、政府ヘ幾分ノ助成金デモ請求スル目的ナルカドウカト云フ、委員會ガ質疑ガゴザイマシタ、其時ニ提出者ガ詳シク答辯ガゴザイマシタガ、第一ニ同仁會ナルモノハ、即チ博愛仁ヲ以テ國家ガ自ラヤラス所ノ仕事ヲ、有志團體ヲ以テ世話シテ、清韓地方ヘ醫事衛生ヲ普及致シテ、醫術ヲ以テ向フノ人ヲ、成タケ誘導シ、文明ノ域ニ達セシメルヤウニシタイト云フノガ希望ナル、今日マデ既ニ二十八名程派遣シテ居ル様ナ次第ナル、尙續々註文モアルヤウナ次第ナル、又此際國事多端ノ折柄、此建議案ガ成立シタトテ、政府ニ金ヲ強請スルト云フヤウナ次第ナル、決シテナイノデアル、ドウカ公使ナリ領事ナリガ、此上共便利便益ヲ助ヘルヤウニ、助力ヲシテ貫ヒタイト云フ精神ニ外ナラヌ次第ナル、斯ウ云フ答辯デゴザイマシタカラ、故ニ委員會ニ於テハ、實ニ此時局ニ對シテ、適切ナル問題デアラウト云フコトデ、滿場一致ヲ以テ決議シタ次第デゴザイマシマス、ドウカ願クハ諸君モ、速ニ可決アラントヲ望ミマ

ス ○恆松隆慶君(百五十九番) 本案モ賛成致シマス、直チニ確定セラレンコトヲ望ミマ

ス ○議長(松田正久君) 本案ヲ討論ニ付シマス——委員長ノ報告通決定シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長ノ報告通本建議案ヲ採用スルコトニ決定致シマス、日程第二十六、國本培養ニ關スル建議案ノ議事ハ、委員長ヨリ延期ヲ求メテアリマシマスガ、延期スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ本案ノ議事ハ延期スルコトニ致シマス、諸般ノ報告ヲシマス

(書記朗讀)

議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

新瀨築港調査ニ關スル建議案

提出者 丸山嵯峨一郎君

山口 達太郎君

山本 悌二郎君

竹村 良貞君

商法中改正法律案

提出者 神崎 東藏君

鳩山 和夫君

關 直彦君

提出者大畑純次郎君ヨリ所得稅法中改正法律案ヲ撤回スル旨申出ラレタリ
委員ヲ指定スル左ノ如シ

北海道拓殖銀行法中改正法律案

改野 耕三君

服部 小十郎君

井上 要君

日本勸業銀行法中改正法律案

伊藤 德太郎君

大野 龜三郎君

齋藤 良輔君

外國ニ於ケル銀行事業ニ關スル法律案

原 敬君

森本 駿君

小澤 愛次郎君

岡田 治衛武君

武富 時敏君

高橋 勝七君

國稅徵收法中改正法律案

古井 由之君

大戸 復三郎君

木村 半兵衛君

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法案

宮崎 榮治君

大野 龜三郎君

神輿 知常君

明治二十九年法律第六十三號ノ有効期間ニ關スル法律案

大岡 育造君

奥野 市次郎君

恆松 隆慶君

横山 一平君

青地 雄太郎君

花井 卓藏君

農會法改正法律案

湯山 壽介君

井上 與一郎君

伊夫伎 資弼君

○議長(松田正久君) 次會ノ議事日程ハ、公報ヲ以テ御通知ニ及ヒマス、今日ハ是

ニテ散會シマス

午後四時二十五分散會

衆議院議事速記録第十六號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
二二五	下	三四	置イテ	置カナイデ	二二六	上	二八	地點ヨリ	此點ヨリ
同	同	四〇	七八ノ	七八ノ					